TM-C3400-LT
詳細取扱説明書

概要と基本操作

製品の特徴および基本操作について説明します。

セット アップ

製品および周辺機器の設置・設定作業について
説明します。

OS のプレ インスト ール情報

本製品のプリインストール情報とリカバリー方法
について説明します。

ユーティ リティー

本製品のユーティリティーについて説明します。

プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーの設定について説明します。

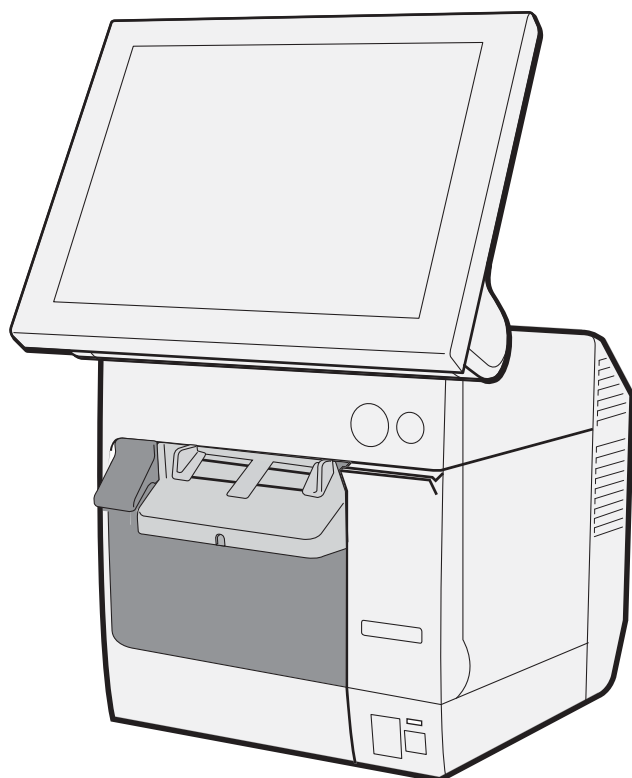
アプリケーショ ン開発情報

アプリケーションを開発する際に必要な情報
について説明します。

メ ンテ ナンス

本製品の取り扱い方について説明しています。

付録

M00052501
Rev.B

商標

- EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

著作権について

本製品には著作権を有するフォントデータが含まれています。フォントデータを使用して企業のロゴマークや商号を商標登録することはできません。

本製品に起因する付属的損害について

万一、本製品（内蔵のソフトウェアなども含みます）によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付属的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上でご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

記号	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、次のような被害が想定される内容を示しています。 • 人が傷害を負う可能性 • 物的損害を起こす可能性 • データなどの情報損失を起こす可能性
注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

設置上のご注意

記号	内容
警告	**本製品の通風孔をふさがないでください。** 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。また、マニュアルで指示された設置スペースを確保してください。
	• **不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。** 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。 • **水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 • **本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。** 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。 • **本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。** 他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

電源に関するご注意

- AC100V 以外の電源は使用しないでください。
  感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
  感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは、刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
  感電・火災のおそれがあります。
- 電源コードは付属のものを使用し、接地を確実に実施してください。また、電源コードを他の機器に使用しないでください。
  感電・火災のおそれがあります。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
  感電・火災のおそれがあります。電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
  * 電源コードを加工しない
  * 電源コードに重いものを載せない
  * 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  * 熱器具の近くに配線しない
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電のおそれがあります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。
  発熱して火災になるおそれがあります。
- 電源コードをコネクターやコンセントと接着剤などで固定しないでください。
  火災のおそれがあります。
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
  電源プラグを長時間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
  コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

- 電源は、必ず電源コンセントから直接取ってください。
- 本製品は必ずコンセントの近くに設置し、異常が起きたときはすぐに電源プラグを抜けるようにしてください。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

- アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
  感電・火災のおそれがあります。
- 煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
  感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
- 異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
  感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
- マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
- お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。
- 可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
  引火による火災のおそれがあります。
- 開口部から内部に、金属類や燃えやすい物を差し込んだり、落としたりしないでください。
  感電・火災のおそれがあります。
- 液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
  万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。
  * 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
  * 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
  * 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

- 本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
  倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。
- 各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
  火災やけがのおそれがあります。マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。
- 本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
  コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。
- 本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
  インクが漏れるおそれがあります。
- 本製品内蔵の電池の交換は、販売店またはエプソンの修理窓口にご依頼ください。
  間違ったタイプの電池と交換すると、爆発するおそれがあります。
- オートカッターの固定刃に直接指で触れないでください。
  けがのおそれがあります。
- インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。
  * 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
  * 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。
  * 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
- インクカートリッジを分解しないでください。
  分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
- インクカートリッジは強く振らないでください。
  強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 印刷用紙の端を手でこすらないでください。
  用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

本書について

本書の目的

本書は、システムの開発、設計、設置、またはプリンターアプリケーションの開発、設計に必要なすべての情報を開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

もくじ

アプリケーション開発情報......111

メンテナンス......125

付録......165

概要と基本操作

特徴

本製品は、Windows ベースの制御機能とタッチパネル付き LCD を搭載した、3 色カラーインクジェットラベル発券機です。

耐環境性能

- 空調設備が完備していない場所でも設置・使用ができる温度保証 (0 ℃～ 40 ℃)
- 土埃・水滴の付いた手でもタッチパネル操作ができる防滴性 (IPX2 相当)
- 顔料インクによる、対光性、耐水性に優れたカラーラベル作成
- 印刷していないときにプリンターの電源をオフして待機電力を軽減
(お客様が開発されたアプリケーションからも制御できます。)

高生産性

- 最高 92mm/s の高速印刷（印刷幅 56mm、360dpi × 180dpi 利用時）
- 用紙交換頻度を低減する大容量ファンフォールド紙対応
- プリンター前面部の操作だけでロール紙交換、インクカートリッジ交換が可能
- ロール紙を投げ込むだけで簡単に紙セットが可能
- 自動ノズルチェックシステムを搭載し、ドット抜け印刷の発生しにくい高信頼性システム
- 再印刷機能により、紙なしや紙ジャムエラーの解消後に、印刷できなかったページから印刷可能
- オートカッターにより、ラベルを 1 枚ずつカット可能

使い勝手

- 画面の角度や輝度を調整可能
- 業界最小クラスの省スペース性（300 mm(W) x 312 mm(D) x 345 mm(H)）
（※突起部を除く、リアカバーを含む）
- 排紙トレイに印刷物を複数枚保持できます。ロール紙の場合、複数枚保持できません。

ソフト ウェ ア開発

- Windows POS Ready 2009 を採用し、250GB の HDD を搭載しています。
- プリンタードライバーを搭載。市販のラベルアプリケーションからも印刷可能。
- プリンタードライバーには、バーコード、2 次元シンボル生成機能を搭載しています。
- .NET 環境から印刷可能です。
- アプリケーションから本製品を制御するために、プリンターと LCD 輝度設定などの API を用意しています。また、プリンターの状態を取得・通知する機能があります。
- 再印刷機能があります。エラー復帰後に再度印刷するシーケンスが不要です。
- プリンタードライバーを使った印刷用サンプルプログラム (言語 : C++、C#、VB6.0、VB.NET)

印刷

- 高速印刷
  * 92 mm/s (印刷幅 56 mm、360 dpi × 180 dpi、双方向印刷)
  * 47 mm/s (印刷幅 56 mm、360 dpi × 360 dpi、双方向印刷)

参考	印刷速度は、解像度、印刷幅によって変わります。

- カラー印刷
  * CMY 3 色インクカラー印刷
  * 解像度：普通紙 360 dpi × 180 dpi、360 dpi × 360 dpi
    ：その他 360 dpi × 360 dpi、720 dpi × 360 dpi
    (dpi：25.4 mm あたりのドット数 (dots per inch))
  * 各ドット 4 階調表現
- 多種多様な用紙に対応
  * ロール紙、ファンフォールド紙
  * レシート、ブラックマークレシート、全面ラベル、ダイカットラベル、
    ブラックマークダイカットラベル（ラベルギャップ、ブラックマーク位置検出に対応）
  * 普通紙、普通紙ラベル、ファイン紙、ファイン紙ラベル、PET フィルム、合成紙ラベルに対応
  * リストバンド (オプションのリストバンド専用アタッチメントが必要です。)
- ダイカットラベルの台紙などの印字領域外に、インクが付着しにくいシステム
- ドット抜けによる誤読、誤色の印刷物が発生しにくいシステム

アクセサリ

同梱品

- 本製品 (TM-C3400-LT)
- ラベルロール紙 (初期動作確認用)
- インクカートリッジ (型番：SJIC15P)
- 排紙トレイ
- 紙送りガイド（ファンフォールド紙用：ファンフォールド紙カバー裏に取り付け）
- AC ケーブル
- リカバリーディスク
- 開梱と設置作業を行われる方へ (インストラクションシート)
- ユーザーズマニュアル (本体用)
- 保証書

オプション

- リストバンド専用アタッチメント (OT-WA34)
  リストバンド (WB-S1/WB-M1/WB-L1) 使用時に使用します。

機能

本製品には、以下の機能があります。

カテゴリー	機能	方法 推奨	
制御部	電源オン	電源スイッチを押す。	
	電源オフ	電源スイッチを押す。	
		Windows をシャットダウンする。	
	パスワード設定	BIOS で設定する。	
		Windows で設定する。	
	輝度変更	○	専用ユーティリティーで設定。
			お客様のアプリケーションに組み込み可能。（専用 API を用意）
	タッチパネルのキャリブレーション	専用ユーティリティーで操作。	
	タッチパネルタッチ時のブザー音	専用ユーティリティーで設定。	
	スピーカー音量調整	Windows で設定。	
	ブートドライブ切り替え	BIOS で DVD ドライブなどに切り替え。	
プリンター	電源オン / オフ	○	電源スイッチを押す。
		○	専用ユーティリティーで操作。
			お客様のアプリケーションに組み込み可能。（専用 API を用意）
	印刷アプリケーション	市販のラベル印刷アプリケーション使用可能。	
		お客様が開発されたラベル印刷アプリケーション使用可能。	
	印刷制御	○	プリンタードライバーで設定。
			お客様のアプリケーションに組み込み可能。（専用 API を用意）
	バーコード、二次元シンボル印刷	○	プリンタードライバーで設定。
			画像ファイルをアプリケーションから印刷。

カテゴリー	機能	方法	
		推奨	
プリンター	プリンター状態表示	○	専用ユーティリティーで表示。 (機器の状態変化時に起動)
			EPSON プリンタウィンドウ !3 で印刷時に表示。(プリンタードライバーの機能)
			致命的なエラーの通知設定画面で表示。 (エラー時に EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用していない場合に表示) (プリンタードライバーの機能)
	用紙切り替え* (ロール紙⇔ファンフォールド紙)	○	専用ユーティリティーで操作。
			お客様のアプリケーションに組み込み可能。 (専用 API を用意)
	オートカット	○	プリンタードライバーで設定。
			カットボタンを押す。
			お客様のアプリケーションに組み込み可能。 (専用 API を用意)
	用紙の紙送り	○	プリンタードライバーで設定。
			FEED ボタンを押す。
			お客様のアプリケーションに組み込み可能。 (専用 API を用意)
	印刷動作モードの設定		プリンタードライバーで設定。
	エラー後の再印刷		プリンタードライバーで設定。
	ヘッドクリーニング	○	プリンタードライバーの印刷動作モードで事前に設定。
			プリンタードライバーで操作。
	用紙位置検出	○	プリンタードライバーで設定。
			お客様のアプリケーションに組み込み可能。 (専用 API を用意)
	その他のプリンターの設定		プリンタードライバーで設定。

＊プリンターと、プリンタードライバーへの設定が必要です。

印刷動作モード

本製品は自動ノズルチェックシステムでドット抜けを定期的に監視し、ドット抜けが発生するとオートヘッドクリーニングを行います。6つのモードがありますので、必要とされる印刷品質と動作の中から選択してください。

これはプリンタードライバーの [プリンタユーティリティ] - [印刷動作モードの設定] で設定します。

きわめて高い信頼性、安全性が要求される場合、プリンタードライバーの設定と併用して、アプリケーションからもドット抜けを検出してください。詳細は 124 ページ「きわめて高い信頼性、安全性が要求される場合」を参照してください。プリンターの印刷動作モードは、セルフテストで確認できます。詳細は 150 ページ「セルフテスト」を参照してください。

- 高信頼性モード（無効（Void）画像印刷）
  各ページ印刷終了後にドット抜けチェックを行い、直前のページにドット抜けがないことを確認します。ドット抜けが検出された場合には、直前のページ下部に無効（Void）印刷を行います。またオートヘッドクリーニングをしてドット抜け解消後に、該当のページから再印刷を実施します。
  無効印刷の初期値は黒ベタ印刷ですが、別の画像ファイルを登録することも可能です。無効印刷された印刷物はドット抜けが発生しているので、破棄などしてください。

- 高信頼性モード（再印刷実行選択）
  各ページ印刷終了後にドット抜けチェックを行い、直前のページにドット抜けがないことを確認します。
  ドット抜けが検出された場合、以下のEPSONプリンタウィンドウ!3が表示され、次の動作をお客様が選択します。選択できる動作は、[印刷再開](次のデータを印刷) と [再印刷](オートヘッドクリーニングしてドット抜け解消後に再印刷) です。

- エコノミーモード（無効 (Void) 画像印刷）
  定期的に行うクリーニングを廃止し、各ページ印刷終了後にドット抜けチェックを行います。
  隣接２ドット以上の抜けが検出された場合、直前のページ下部に無効（Void）印刷を行います。また、オートヘッドクリーニングをしてドット抜け解消後に、該当のページから再印刷を実施します。
  デフォルトの無効印刷は黒ベタ印刷ですが、別の画像ファイルを登録することも可能です。

- エコノミーモード（再印刷実行選択）
  定期的に行うクリーニングを廃止し、各ページ印刷終了後にドット抜けチェックを行います。
  隣接２ドット以上の抜けが検出された場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 が表示され、次の動作をお客様が選択します。選択できる動作は、[印刷再開]（次のデータを印刷）と [再印刷]（オートヘッドクリーニングしてドット抜け解消後に再印刷）です。
  なお、この印刷動作モードを選択する場合、[ドライバユーティリティ] タブの [ドライバの動作設定] - [EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] をチェックする必要があります。

- 誤読なしモード
  各ページ印刷終了後のドット抜けチェックは行いませんが、プリンター休止時にドット抜けチェックを行います。

- 誤色なしモード
  各ページ印刷終了後のドット抜けチェックは行いませんが、プリンター休止時にドット抜けチェックを行います。
  上下に隣接した２ドット抜け、または全ノズルのうち３ドット抜けがない状態にして、ドット抜けによる誤色を防止します。つまり、隣接しない２ドットまでのドット抜けは、ヘッドクリーニングを行いません。

参考	高信頼性モードまたはエコノミーモードは、各ページ印刷終了後にドット抜けチェックするため、印刷完了に時間がかかります。

注意

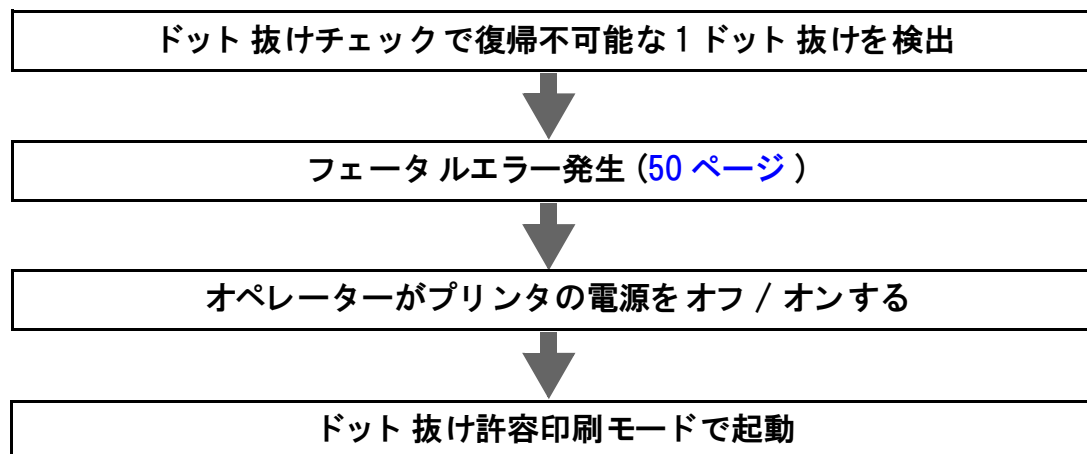
- 本機能は、100%ドット抜け防止を保証するものではありません。
- ノズル詰まり検出に微量のインクを使います。
- ノズル詰まり検知後にオートヘッドクリーニングが実行されます。クリーニング実行時には、インクが消費されます。
- ノズル詰まり検出は無効にできません。
- [高信頼性モード(再印刷実行選択)]または[エコノミーモード(再印刷実行選択)]を選択する場合、[ドライバユーティリティ]タブの[ドライバの動作設定]-[EPSON プリンタウィンドウ!3を使用する]のチェックを外さないでください。

復帰不可能なドット抜けが発生した場合、各モードごとにプリンターの動作が異なります。以下のとおりです。

プリンター状態表示	メンテナンスエラー		フェータルエラー
印刷動作モード	• 高信頼性モード • エコノミーモード • 誤読なしモード	誤色なしモード	• 高信頼性モード • エコノミーモード • 誤読なしモード
ドット抜け数	2ドット以上	• 隣接2ドット • 3ドット以上	1ドット
プリンター使用の可否	×(修理が必要)		○ (ドット抜け許容印刷モード*)

*:ドット抜け許容印刷モードについての詳細は 15ページ「復帰不可能なドット抜けが発生した場合」を参照してください。

復帰不可能なドット抜けが発生した場合

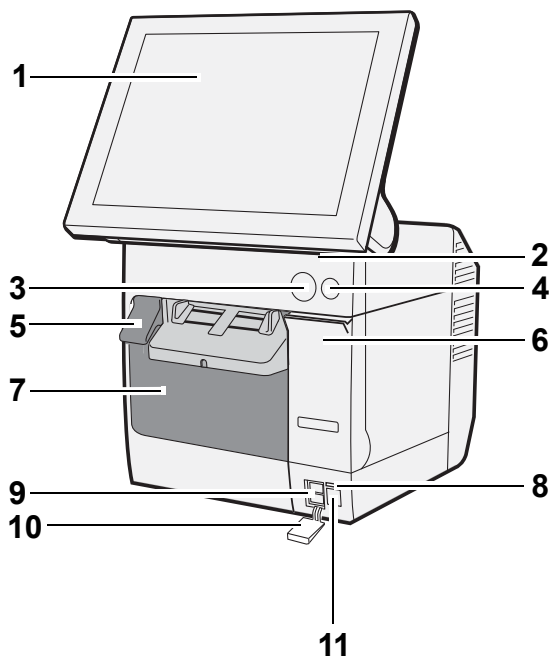
プリンタードライバーの印刷動作モードの設定が、高信頼性モード / エコノミーモード / 誤読なしモードで、復帰不可能なドット抜けを 1 ドット検出した場合、プリンターはフェータルエラーの状態になります。プリンターの電源をオフ / オンし、ドット抜け許容印刷モードに変更すると、印刷を継続できます。

ドット抜け許容印刷モードは、各ページの印刷終了後にドット抜けチェックをするため、印刷完了に時間がかかります。ドット抜けが解消されない限り、以下の EPSON プリンタウインドウ !3 が印刷の度に表示されます。

参考

- ドット抜け許容印刷モード時の EPSON プリンタウインドウ !3 の表示は、[ドライバユーティリティ] タブの [ドライバの動作設定] - [EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] のチェックが外れていた場合でも表示されます。
- ドット抜け許容印刷モードで復帰不可能なドット抜けを 2 ドット以上検出した場合、メンテナンスエラーになり、プリンタの修理が必要です。

各部の名称と働き

ここでは、本製品の各部名称と機能について説明します。

本体前面

1	タッチパネル

メニューやメッセージが表示されます。画面をタッチして本製品を操作できます。

2	スピーカー

設定によって、タッチパネルのボタン操作時やエラー発生時、印刷終了時に音が鳴ります。

3	カットボタン

押すと、用紙がカットされます。

4	紙送りボタン

押すと、用紙が送り出されます。

5	リリースレバー

引くと、ロール紙カバーが開きます。

6	インクカートリッジカバー

インクカートリッジの取り付け / 交換時に開けます。

7	ロール紙カバー

用紙のセット / 交換時に開けます。

8	電源ランプ

本製品の電源がオンのときは緑色に点灯します。
オフのときは消灯します。

9	USB コネクター（2 個）

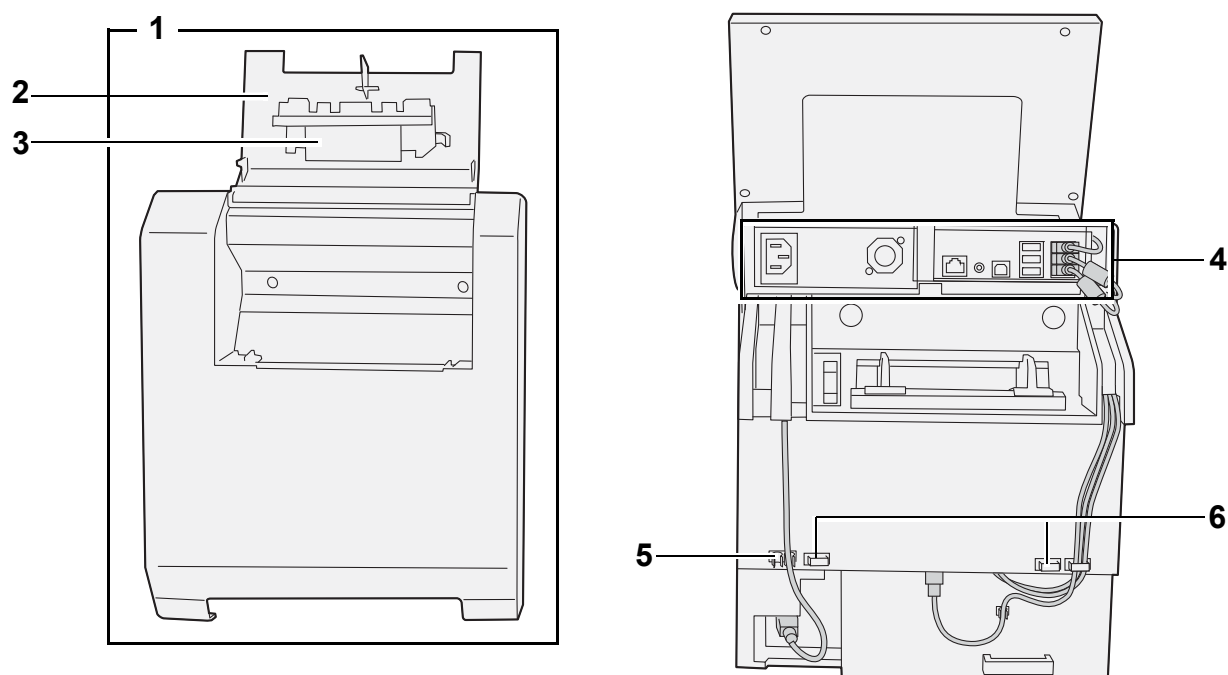
USB メモリー、キーボード、マウスを接続します。

10	USB カバー

USB コネクターを使用しないとき取り付けます。

11	電源ボタン

本製品の電源をオン / オフにします。

本体背面

1	背面カバー

各コネクターに接続するときに取り外します。

2	ファンフォールド紙カバー

ファンフォールド紙を挿入するときに開けます。

3	紙送りガイド

ファンフォールド紙を使用するときに取り付けます。

4	コネクター部

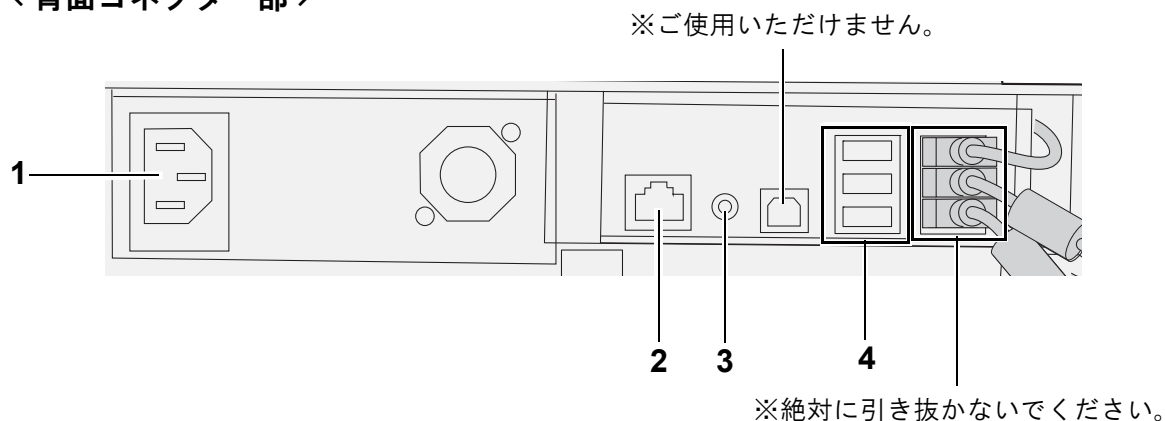
各ケーブルを接続します。詳細は、18 ページ「< 背面コネクター部 >」を参照してください。

5	電源コードフック

電源コードが他のケーブルと重なるのを防ぎます。必ず本フックに電源コードを通してください。

6	ケーブルホルダー

ケーブル同士が重なるのを防ぎます。LAN ケーブル、USB ケーブル、オーディオケーブルを接続するときは、必ず本ホルダーにケーブルを通してください。

＜背面コネクター部＞

注意	本製品に最初から接続されている、右側の USB コネクター（3 個）のケーブルは、絶対に引き抜かないでください。

1	**電源コネクター**

電源コードを接続します。

2	**LAN コネクター**

有線 LAN でネットワーク接続するときに LAN ケーブルを接続します。

3	**スピーカー出力コネクター**

スピーカーを接続します。

4	**USB コネクター（3 個）**

バーコードリーダーなどを接続します。

参考	本体背面のコネクターに接続するには、背面カバーを取り外す必要があります。取り外し方法は、31 ページ「ケーブルの接続」を参照してください。

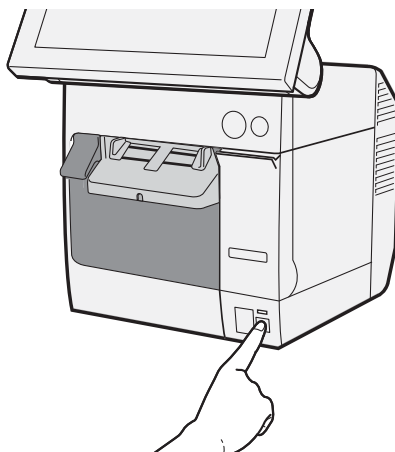
基本操作

ここでは、オペレーターの方がお使いになる本製品の基本的な操作方法と、本製品の大まかな動作について説明します。

電源オン / オフ

電源オン

電源オンの操作をすると、電源ランプが点灯し、Windows が起動して画面が表示され、プリンターの電源がオンします。

❏ 電源ボタンを押します。

電源オフ

電源オフの操作をすると、プリンターの電源オフシーケンスを実行し、Windows をシャットダウンし、電源がオフします。

❏ 電源ボタンを押します。

❏ Windows をシャットダウンします。

参考

- 誤操作防止のため、電源ボタンでは電源をオフできないように設定することができます。
  [スタート]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細設定]の[電源ボタン]で設定できます。
- 商用電源のブレーカーで電源をオフしないでください。プリンターの電源オフシーケンスが実行されないと、インク詰まりなどを起こすことがあります。
- 停電などで電源が遮断された場合は、電源の復旧後に、本製品の電源のオン / オフを行ってください。

プリンターの電源オン / オフ

本製品のプリンターだけの電源を制御することができます。本製品の稼働中に印刷時だけプリンターの電源をオン / オフすることで、待機電力を抑えることができます。

プリンターの電源状態は、「プリンター電源 オン／オフ」ユーティリティーで確認できます。

> **参考**
> - お客様のアプリケーションからプリンターの電源をオン / オフできるように、APIを用意しています。(118 ページ「TM-C3400-LT ライブラリーリファレンス」参照)
> - プリンター部だけの電源状態を示すランプはありません。

プリンターの電源オン

プリンターの電源をオンすると、プリンターの電源オンシーケンスが実行され、ファンが数秒動作して、印刷可能な状態になります。

❏ 電源ボタンを押すと、本体と一緒にプリンターも電源がオンになります。(初期設定)

❏ Windows が起動している場合、「プリンター電源 オン／オフ」ユーティリティーでオンします。

デスクトップの TMC34LT_POWER をダブルクリックします。

オンボタンを押します。プリンターの電源がオンになると、電源ボタンが緑になります。

プリンターの電源オフ

プリンターの電源をオフすると、プリンターの電源オフシーケンスが実行され、ファンが数秒動作して、電源がオフします。

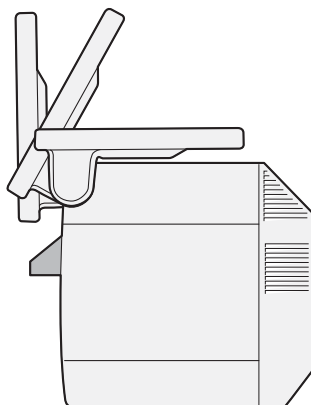
❏「プリンター電源 オン／オフ」ユーティリティーのオフボタンを押します。
電源ボタンがグレーになります。

タッチパネルの操作

注意

- タッチパネルの上に絶対に重いものを置かないでください。タッチパネルにはガラスが使用されているため、破損するおそれがあります。
- タッチパネルを強く押したり、こすったりしないでください。また、先のとがった物で押したりしないでください。
- 下記タッチパネル保護シートのご使用をお勧めします。
  ＊ サンワサプライ LCD-121
  ＊ エレコム EF-FL121

角度の調整

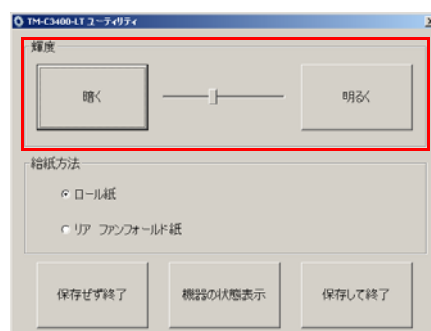
操作しやすいように調整できます。

輝度の調整

タッチパネルの輝度は、TM-C3400LT ユーティリティーで調整します。

参考

詳細は、48 ページ「TM-C3400LT ユーティリティ」を参照してください。

1 デスクトップの TM-C3400LT_UTIL をダブルクリックします。

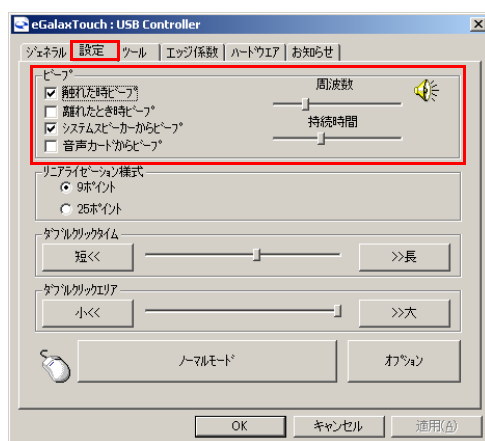
2 輝度を調整します。

ビープ音の調整

ビープ音は、タッチパネルのユーティリティーで調整します。

参考

詳細は、54 ページ「タッチパネルのユーティリティー」を参照してください。

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[eGalax Touch]-[Configure Utility] を選択します。

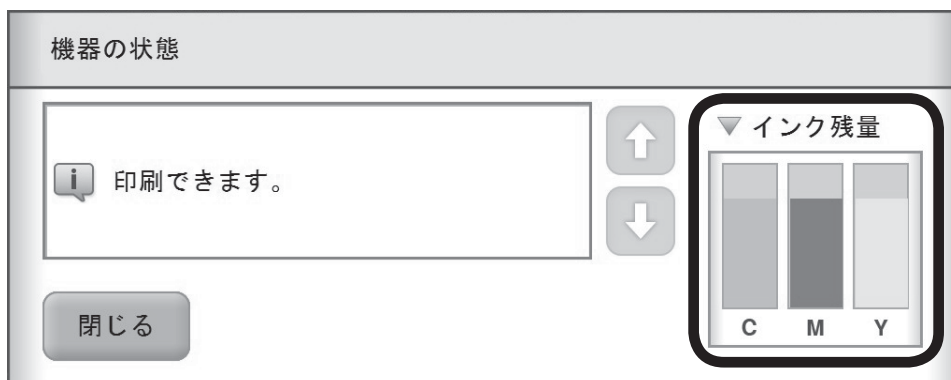
2 [設定] タブの [ビープ] でビープ音を調整します。

プリンターの状態表示

機器の状態表示ユーティリティーでは、プリンターの状態を監視し、エラーや警告する状況が発生すると、画面に表示します。確認後、［閉じる］ボタンを押すと画面が終了します。

プリンターが正常な状態の場合、「機器の状態表示」は非表示状態になっています。

参考	デスクトップの TM-C3400LT ユーティリティー（48 ページ）からも機器の状態表示ユーティリティーを表示できます。

インク残量の確認

インク残量は、機器の状態表示ユーティリティーで確認できます。

インクの残量が少なくなり、インクカートリッジの交換時期が近づくと、画面にメッセージが表示されます。新しいカートリッジを準備してください。

インクカートリッジの交換時期になると、画面にメッセージが表示され、印刷は停止します。新しいカートリッジがセットされるまで印刷できません。

参考

- 同梱のインクカートリッジは初期充てん用です。初めてインクカートリッジを取り付けたとき（セットアップ時）は、充てんによりインクが消費されますので、交換時期が通常より早くなります。
- インクの消費量は、本製品の使用環境および使用状況により異なります。
- プリントヘッドの品質を維持するため、カートリッジ内のインクが完全になくなる前にインクカートリッジの交換時期となります。
- インクカートリッジは 3 色のインクで構成されています。特定の色を指定して印刷を行った場合でも、印刷動作、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で 3 色すべてのインクを使用します。1 色でもインク残量値が限界に達すると、本製品は印字を停止します。

インクカートリッジの交換手順

40 ページ「インクカートリッジの取り付け」を参照してください。同様の手順で交換できます。使用済みのインクカートリッジは、手前に引き抜いて取り外してください。

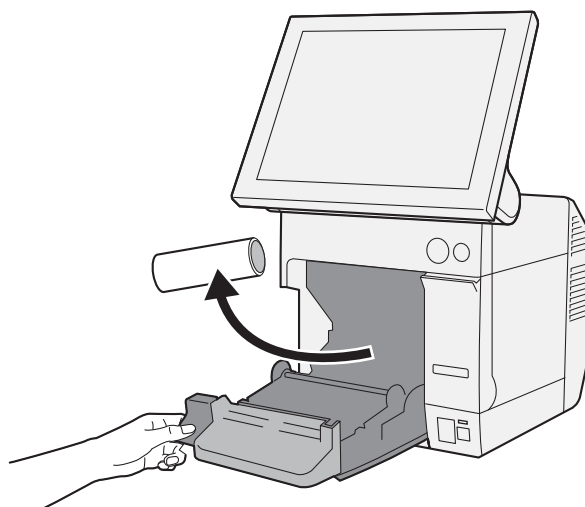
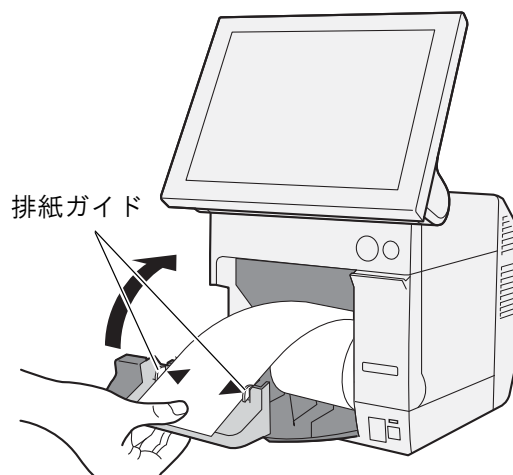
インクカートリッジの型番は、195 ページ「インクカートリッジ」を参照してください。

用紙の交換

ここでは、用紙を使い終わって、今までと同じ用紙に交換する方法を説明します。

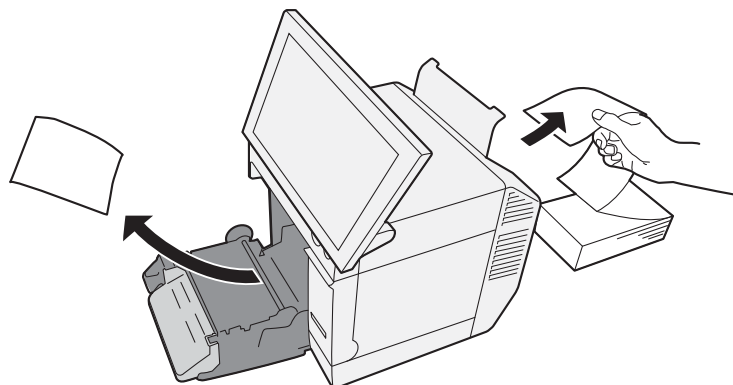
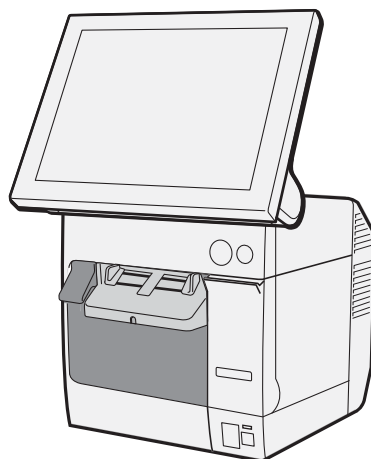
> **参考**　用紙の交換の詳細は、125 ページ「用紙の交換」を参照してください。

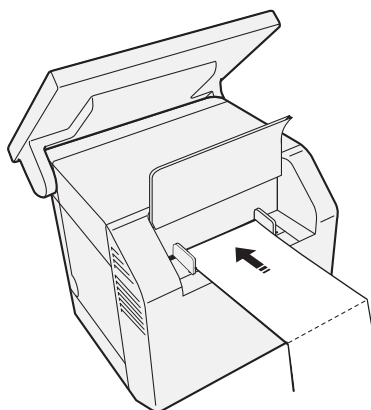
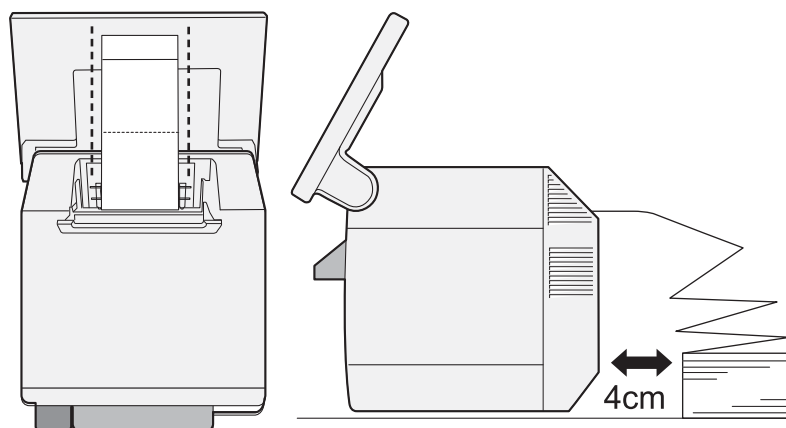
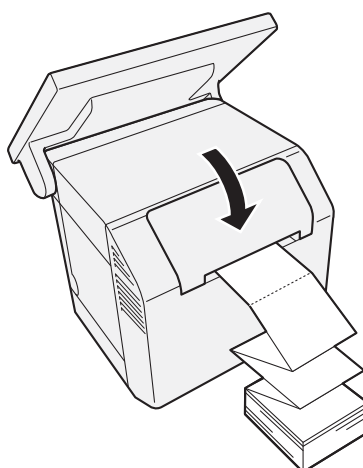
ロール紙

1　リリースレバーを手前に引いてロール紙カバーを開け、ロール芯を取り除きます。

2　ロール紙を奥まで挿入し、排紙ガイドに合わせながら、ロール紙カバーを閉めます。

自動的にロール紙が送られます。

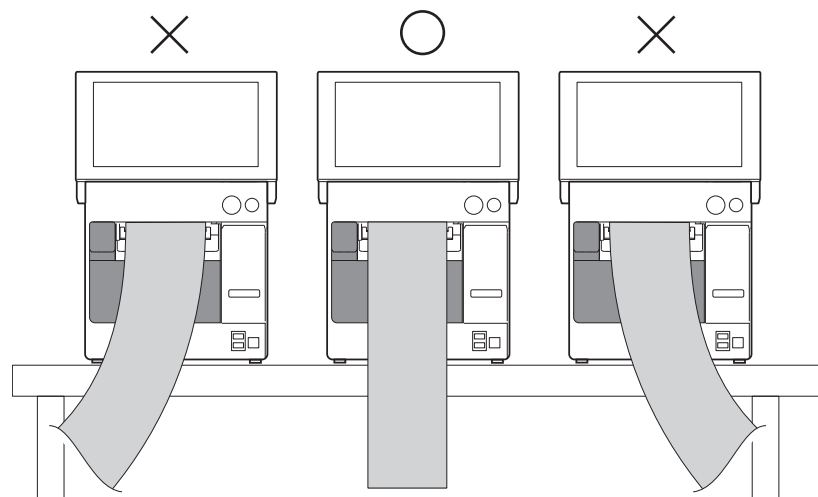
以上で用紙の交換は終わりです。

ファンフォールド紙

1 ロール紙カバーとファンフォールド紙カバーを開けて、紙を取り除きます。

2 ロール紙カバーを閉めます。

3 印刷面を上にして、引き込まれるまで（約 10cm）用紙を挿入します。

自動的に用紙が送られます。

4 本製品背面から 4cm 以上離して、用紙をまっすぐに置きます。

5 ファンフォールド紙カバーを閉めます。

以上で用紙の交換は終わりです。

印刷物の排出経路

印刷時は、下図のように排紙ガイドに沿ってまっすぐに紙を排出させてください。
障害物などにより、紙がまっすぐに排出されていない場合、印刷が乱れる可能性があります。

プリンターのボタン

紙送りボタン

❏ プリンターの用紙位置検出設定が「位置検出なし」の場合、連続して用紙を送ります。
- ボタンを 1 度押すと、用紙が約 15 mm 送られます。
- ボタンを押し続けると、ボタンを離すまで用紙が送られます。（最大約 6 秒）

❏ プリンターの用紙位置検出設定が「ブラックマーク検出 / ラベル間ギャップ検出」の場合、用紙の頭出し動作を行います。

カット ボタン

❏ プリンターの用紙位置検出設定が「位置検出なし」の場合、次ページ先頭のオートカット位置まで用紙を送ってカットします。

❏ プリンターの用紙位置検出設定が「ブラックマーク検出 / ラベル間ギャップ検出」の場合、ブラックマーク、またはラベル間ギャップのオートカット位置まで用紙を送ってカットします。

参考　プリンターの用紙位置検出設定は、プリンタードライバーで設定します。詳細は 98 ページ「用紙位置検出」を参照してください。

セット アップ

セット アップの流れ

本章は、本製品および周辺機器のセットアップの流れに沿って、次のような構成となっています。

プリンターの設置

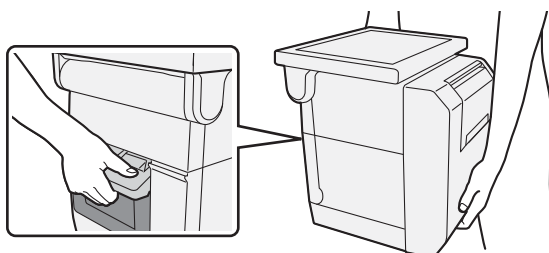
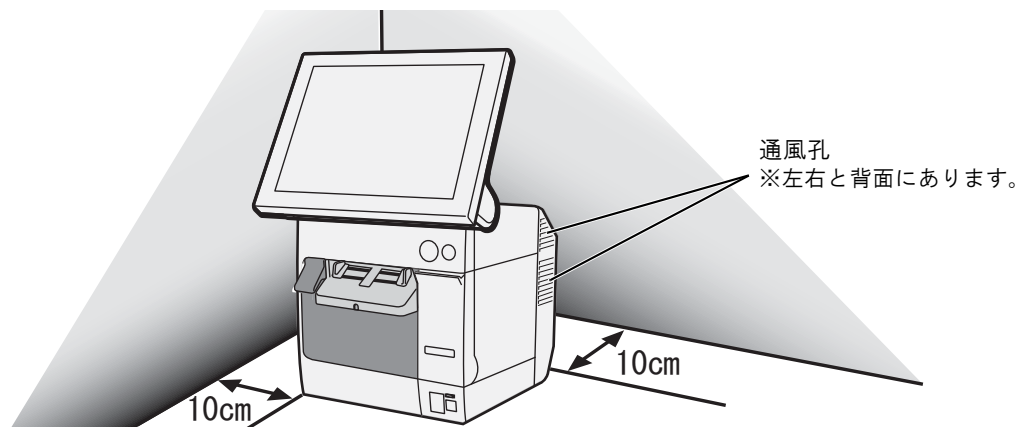
設置に適した場所に作業しやすいように十分なスペースを確保して設置してください。
壁際に設置する場合は、本体背面および左右の壁から約 10cm 以上離してください。

警告

プリンターの通風孔はふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。

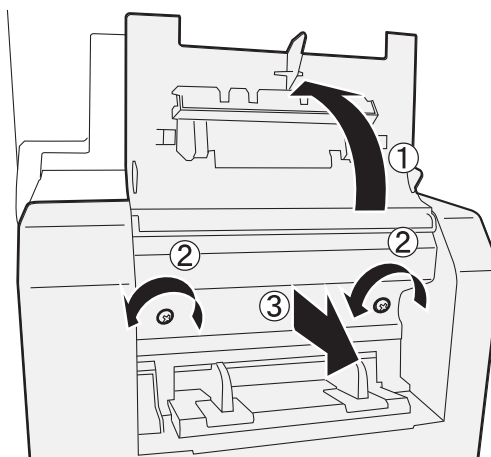
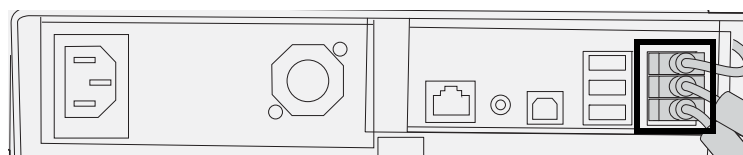
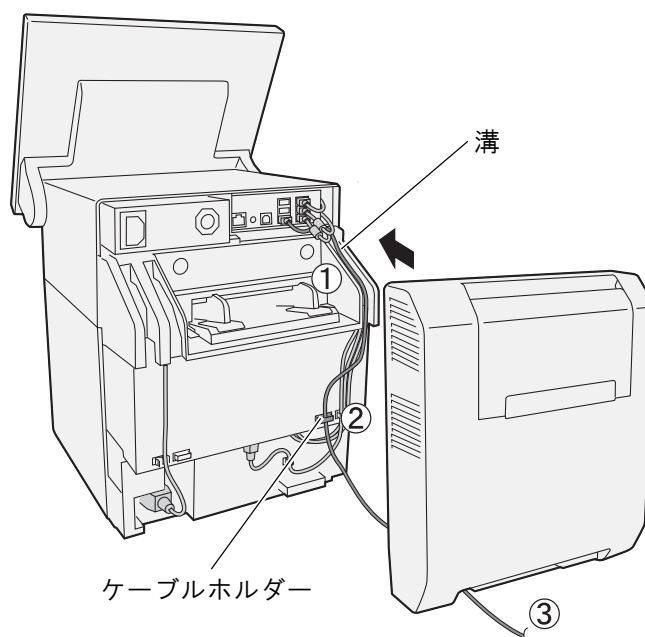
- **プリンターは、振動のない安定した平面に水平に設置してください。**
  水平でない場所に設置すると、ロール紙カバーの動作が正常に行われず、指を挟むおそれがあります。
- **ロール紙カバーを開けた状態でプリンターを傾けないでください。**
  意図せずにロール紙カバーが閉まり、指を挟んだりするおそれがあります。

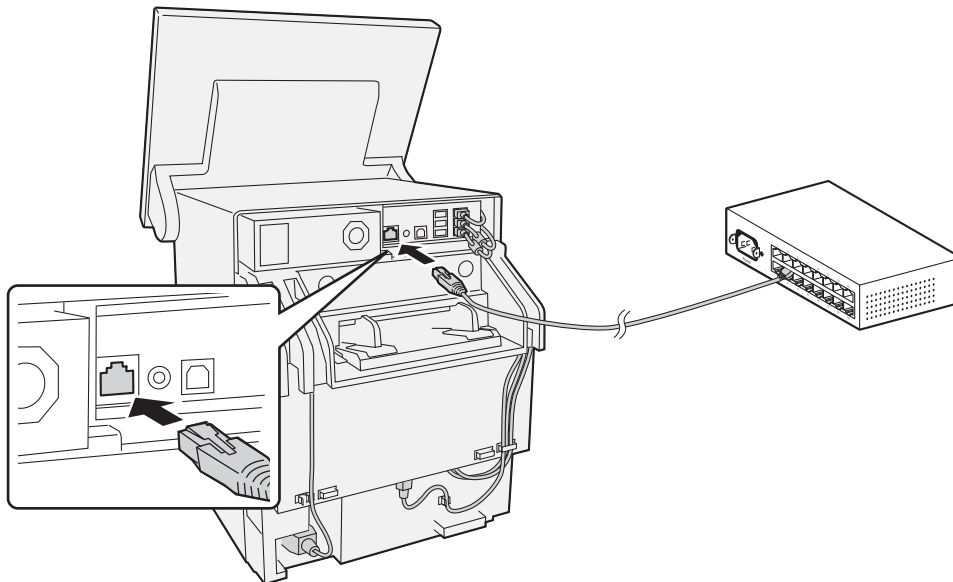
注意

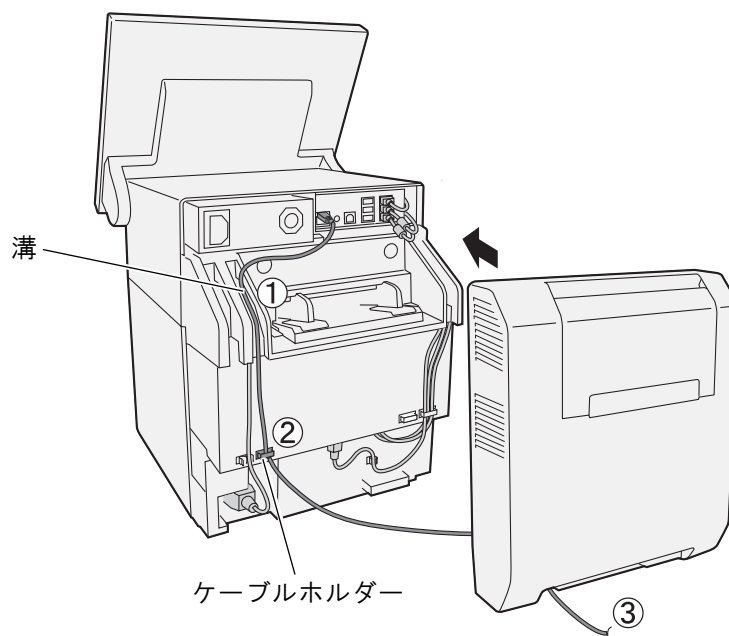
本製品を持ち上げる際は、必ず下図で示す部分を持ってください。

設置

- ロール紙カバー、インクカートリッジカバー、ファンフォールド紙カバーを開けるのに十分なスペースを確保してください。
- 操作時に強い衝撃をプリンターに与えないでください。印字不良を起こす可能性があります。
- プリンター底面に、コードや異物などを挟みこまないように注意してください。

ケーブルの接続

本製品背面のコネクターにケーブルを接続するには、背面カバーを取り外す必要があります。背面カバーは、ファンフォールド紙カバーを開け（下図①）、ネジを緩める（下図②）と、取り外せます。（下図③）ケーブルを接続したら、必ず背面カバーを元通りに取り付けてください。

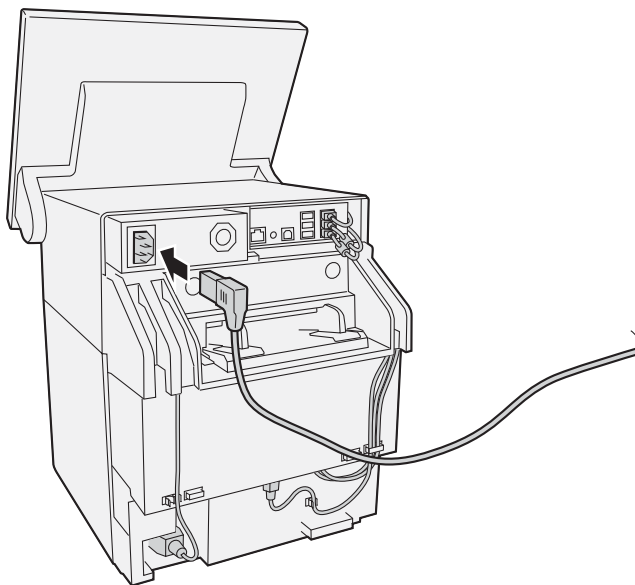
注意

- 本製品に最初から接続されているUSBコネクター(3個)のケーブルは、絶対に引き抜かないでください。

- USBコネクターに外部機器を接続するときは、必ずケーブルを溝に通し（下図①)、ケーブルホルダーに掛け（下図②）、背面カバーの下から引き出し（下図③）てから、背面カバーを取り付けてください。
  ケーブルホルダーは、ケーブル同士が重なるのを防ぎます。電源コードや他のケーブルが重なると、背面カバーを取り付けることができません。

LANケーブルの接続

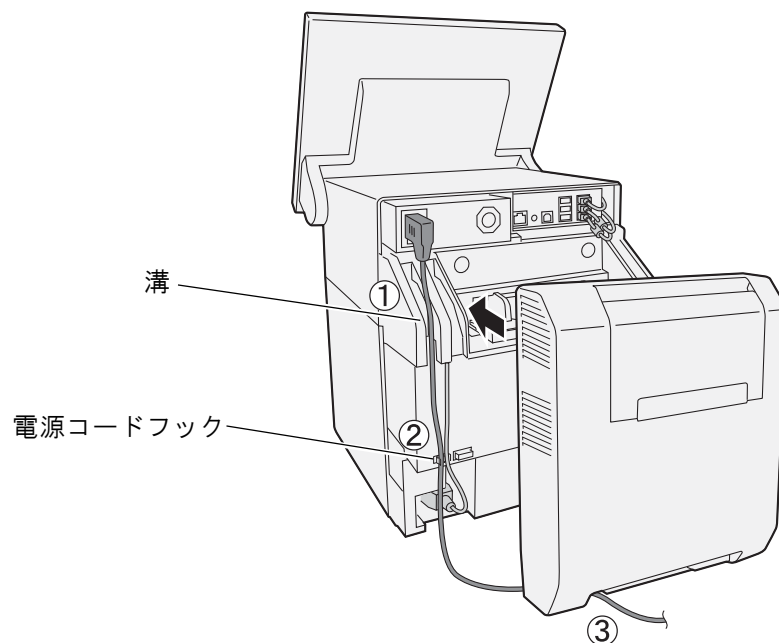
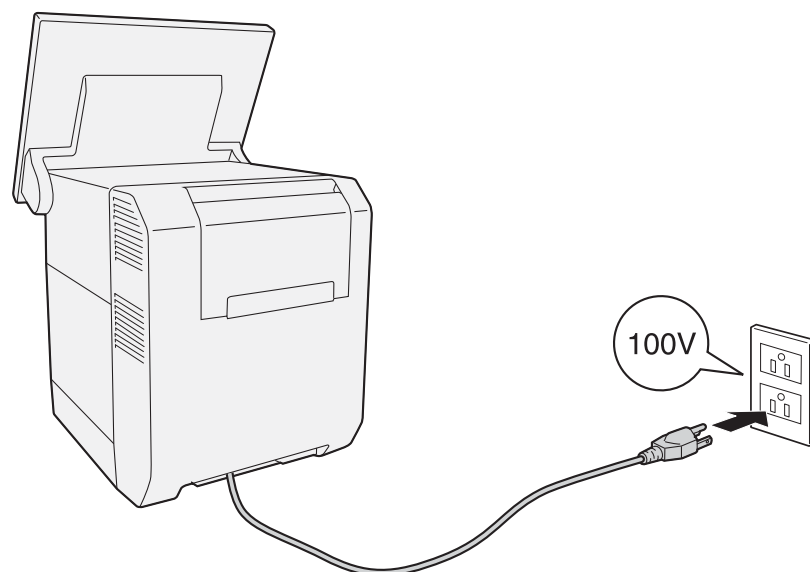
本製品をネットワークに接続して使用する場合は、LANケーブルを接続します。
本製品を単体で使用する場合は、LANケーブルの接続は不要です。

注意

LANケーブルは、必ず溝に通し（下図①)、ケーブルホルダーに掛け（下図②)、背面カバーの下から引き出し（下図③）てから、背面カバーを取り付けてください。
ケーブルホルダーは、ケーブル同士が重なるのを防ぎます。電源コードや他のケーブルが重なると、背面カバーを取り付けることができません。

電源コードの接続

以下の手順で、本製品を電源と接続します。

警告
- 電源コードは本製品に付属のものを使用し、必ず接地して使用してください。
- AC100V の電源以外は使用しないでください。

1 電源コードを本製品背面の電源コネクターに接続します。

注意

電源コードは、必ず溝に通し（下図①）、フックに掛け（下図②）、背面カバーの下から引き出し（下図③）てから、背面カバーを取り付けてください。
電源コードフックは、ケーブル同士が重なるのを防ぎます。電源コードや他のケーブルが重なると、背面カバーを取り付けることができません。

2 電源プラグをコンセントに直接接続します。

注意	用紙のセット（35 ページ「用紙のセット」参照）が終わるまで、電源はオンにしないでください。

バーコードリーダーの接続

バーコードリーダーを使用する場合は、本製品背面のUSBコネクターに接続します。

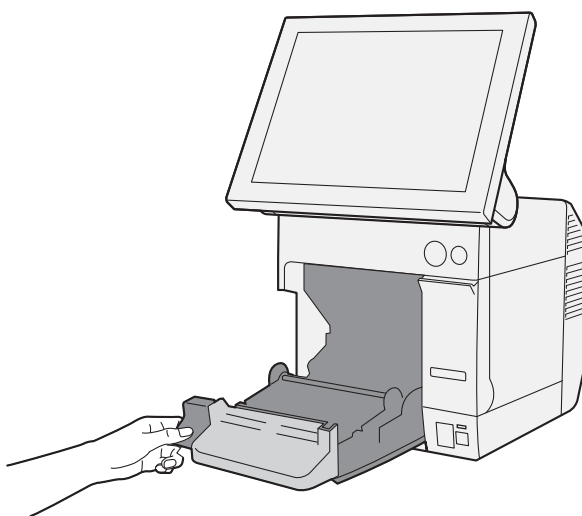
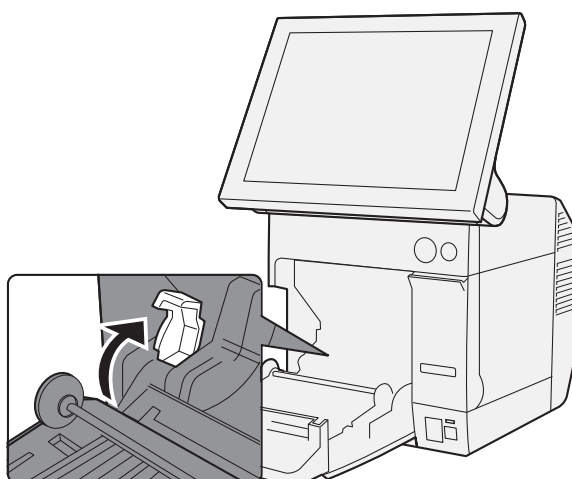
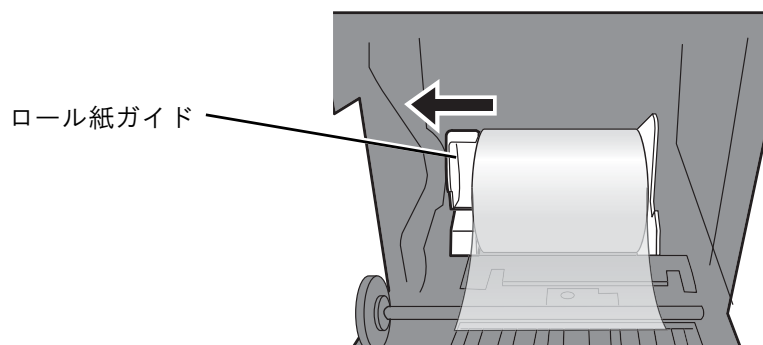
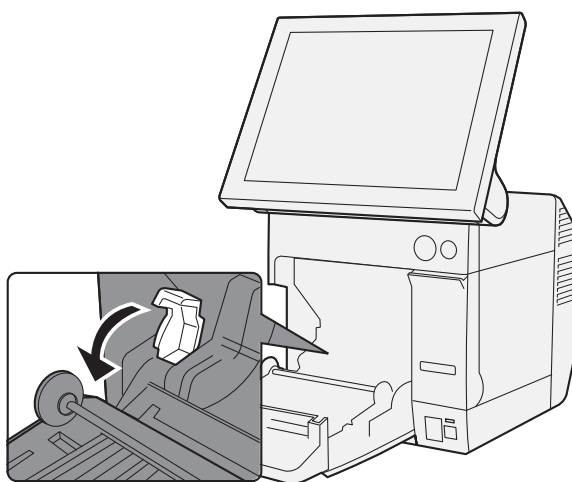
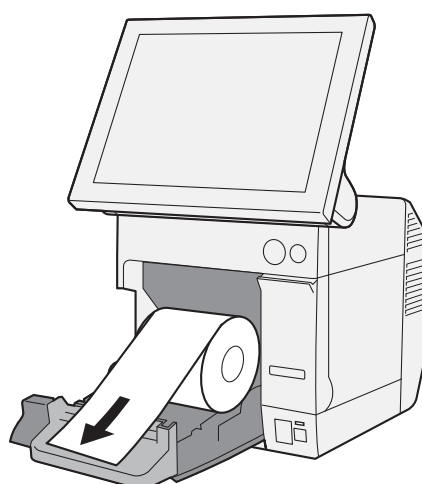
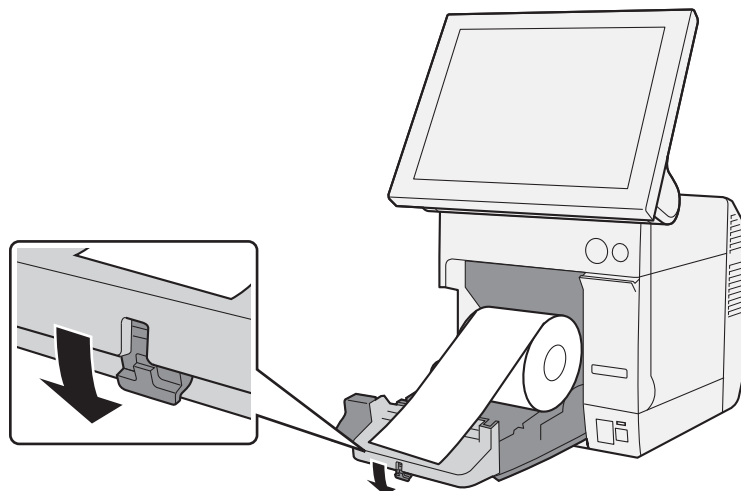
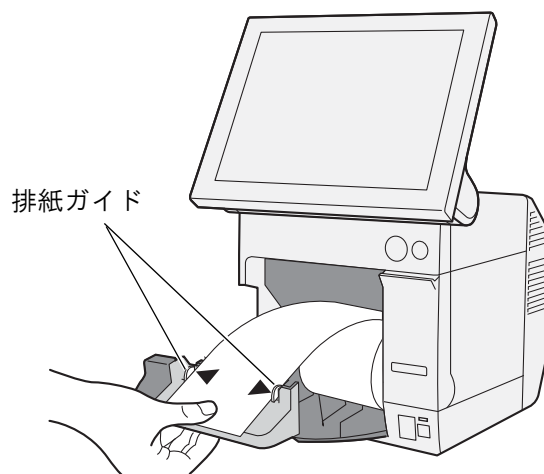
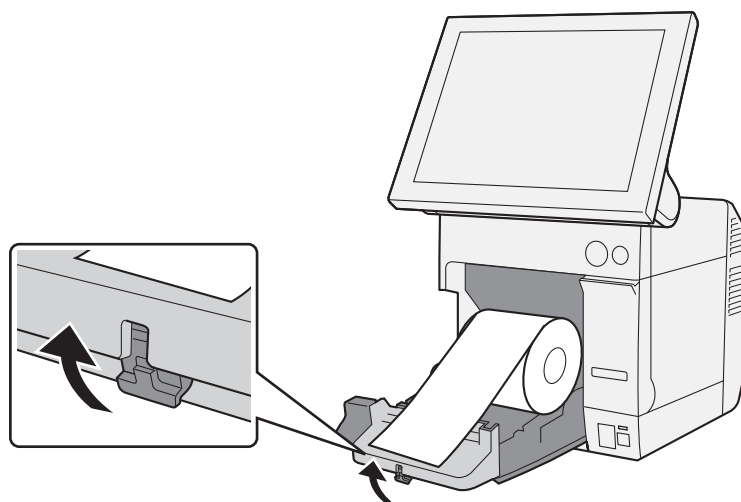
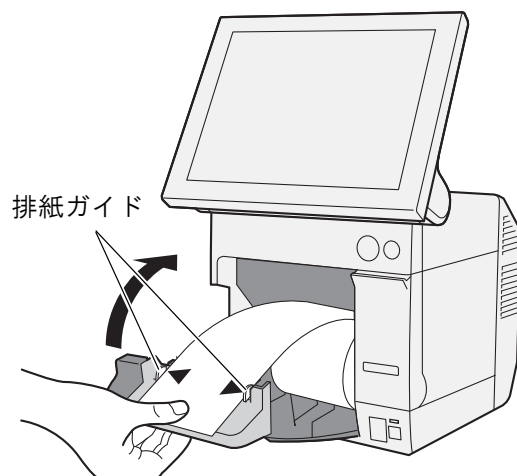
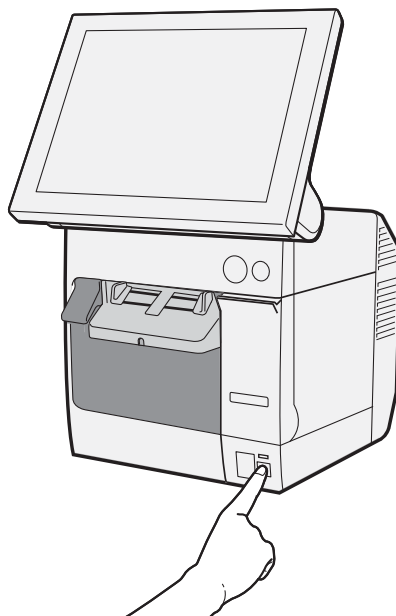
注意	バーコードリーダーは、必ず下記のものをご使用ください。 • CINO F460

用紙のセット

ここでは、初めて用紙をセットするときの手順を説明します。

日常のご使用の中で用紙を交換する手順は、125 ページ「用紙の交換」を参照してください。

> **注意**
>
> 本製品は、工場出荷時の状態で、同梱のラベルロール紙を使用するよう設定されています。
> 初めて用紙をセットするとき（セットアップ時）は、必ず同梱のラベルロール紙をセットし、インクの充てん（40 ページ「インクカートリッジの取り付け」参照）を行ってください。同梱のラベルロール紙以外の用紙をセットした状態では、インクの充てんが行えません。
> 初期設定（39 ページ「初期設定」参照）まで終わったら、他の用紙に交換できます。交換方法は、125 ページ「用紙の交換」を参照してください。

1 リリースレバーを引いて、ロール紙カバーを開けます。

2 ロール紙ガイドのロックを解除します。

3 左側のロール紙ガイドを矢印方向に押し広げ、印刷面を上にして同梱のラベルロール紙を投入します。

4 紙幅を調節して、ロール紙ガイドをロックします。

5 印刷面が上になるように少し引き出して、ロール紙を奥まで挿入します。

6 排紙ガイドのロックを解除します。

7 排紙ガイドをロール紙の幅に合わせます。

8 排紙ガイドをロックします。

9 ロール紙を排紙ガイドに合わせながら、ロール紙カバーを閉めます。

10 電源ボタンを押して、電源をオンにします。

用紙のセットが終わったら、本製品の初期設定を行ってください。（39 ページ「初期設定」参照）

初期設定

ここでは、初めて本製品の電源をオンにするときの OS の設定の手順を説明します。

1 本製品を初めて電源オンすると、Windows XP Setup 画面がしばらく表示されます。

2 ″License Agreement″ 画面が表示されます。内容を確認し、[I accept this agreement] を選択します。[次へ] ボタンをクリックします。

3 ネットワークドライバーなど、Windows の設定が自動的に行われます。
本製品の IP アドレスなどのネットワーク設定は、後でセットアップ後に行ってください。

4 本体が自動的に再起動します。

5 再起動後、[スタート]-[コントロールパネル]-[日付と時刻] を選択し、″日付と時刻のプロパティ″ を表示します。日付と時刻、タイムゾーンを設定します。

初期設定が終わったら、インクカートリッジを取り付けてインクの充てんを行ってください。（40 ページ「インクカートリッジの取り付け」参照）

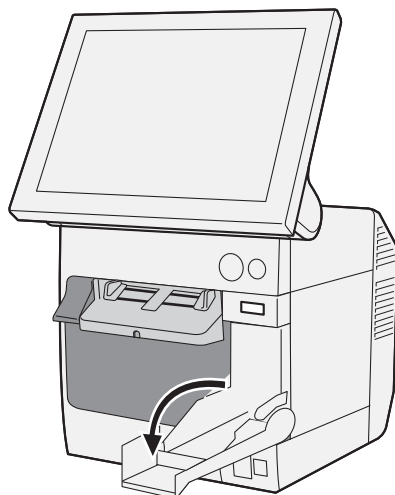
インクカートリッジの取り付け

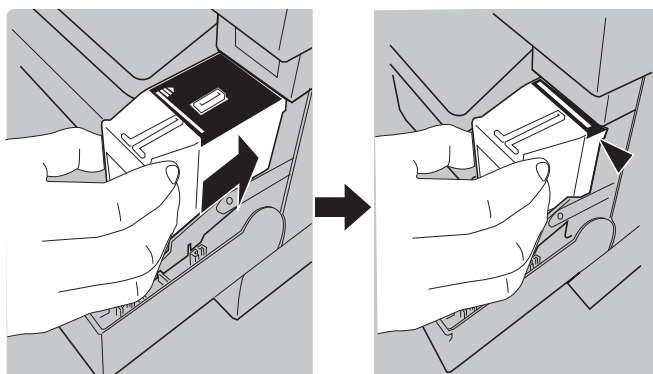
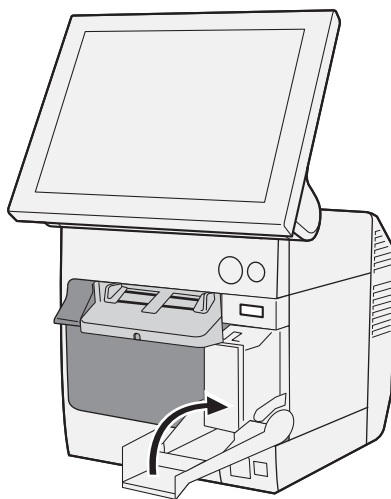
ここでは、初めてインクカートリッジを取り付けてインクを充てんするときの手順を説明します。

注意

- 初めてインクカートリッジを取り付ける場合は、必ず同梱のラベルロール紙をセットしてから、インクカートリッジの取り付けを行ってください。（35 ページ「用紙のセット」参照）
- インクカートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は 6ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクカートリッジの緑色の基板には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジ（型番:SJIC15P）を使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本製品を保存、または輸送するときは、本製品からインクカートリッジを取り外さないでください。

1. 電源がオンになっていること（電源ランプが点灯していること）、同梱のラベルロール紙がセットされていることを確認します。

2. インクカートリッジカバーを手前に引いて開けます。

3 インクカートリッジを４～５回振ってから、袋から取り出します。

4 インクカートリッジを、下図のように静かに押し込みます。

5 インクカートリッジカバーを閉めます。

インクの充てんが始まります。本製品に初めてインクカートリッジを取り付けたときは、インクの充てんに約８分かかります。

注意	・インクの充てん中は、電源をオフにしたり、ロール紙カバーやインクカートリッジカバーを開けたりしないでください。 ・初期充てんに必要なインクカートリッジやロール紙がセットされていないと、「プリンター状態表示」ユーティリティーに工場出荷状態のメッセージが表示されます。 （51 ページ「工場出荷状態」参照）
参考	同梱のインクカートリッジは初期充てん用です。初めてインクカートリッジを取り付けたときは、本製品を印刷可能な状態にするため（インクの充てん）にインクが消費されます。

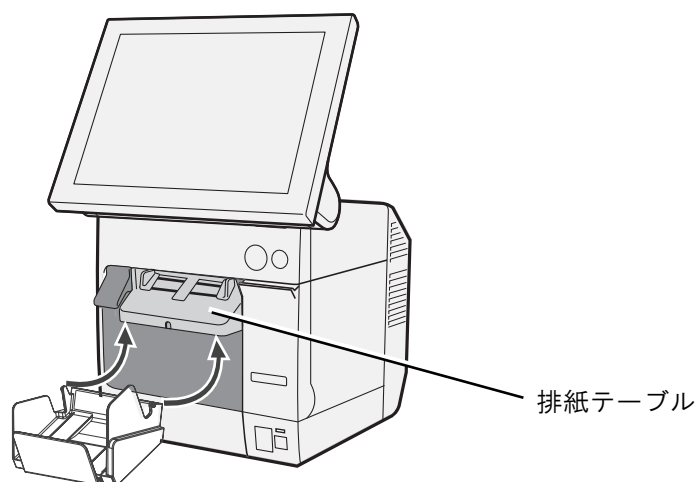
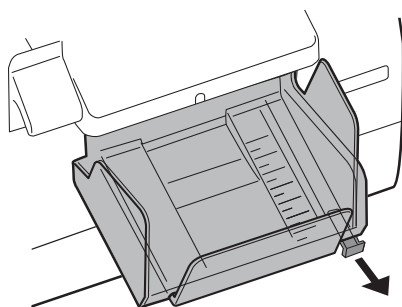
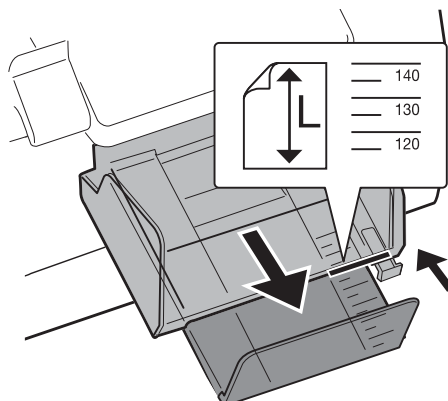
インクカートリッジの取り付けが終わったら、本製品の排紙トレイの取り付け / 調整を行ってください。（42 ページ「排紙トレイの取り付け / 調整」参照）

排紙トレイの取り付け / 調整

排紙トレイを取り付けると、印刷された用紙を排紙トレイに一時的にためておくことができます。

注意	用紙のカール、長さによっては、排紙トレイから用紙が落ちる場合があります。
参考	排紙トレイへの排紙可能枚数は、194 ページ「排紙トレイ」を参照してください。

排紙トレイを取り付けて使用する場合は、以下の手順で取り付けと調整を行ってください。

1 排紙テーブル下側のフックに、排紙トレイを取り付けます。

2 排紙トレイ右下のレバーを引き下げて、ロックを解除します。

3 下側の排紙トレイを用紙の長さに合わせ、排紙トレイをロックします。

OS のプレインストール情報

プリインストール情報

項目	内容	
ハードディスクフォーマット		
	ファイルシステム	NTFS
	ボリュームラベル	TM-C3400-LT
プリインストールされているソフトウェア		
	OS	Windows Embedded POS Ready 2009
	Additional Packages	.NET Framework 3.5 SP1
	ドライバー	Intel inf ソフトウェア
		Intel チップセットソフトウェアユーティリティ
		Intel ビデオドライバー
		Broadcom ネットワークドライバー
		Conexant サウンドドライバー
		eGalax タッチパネルドライバー
		TM-C3400 プリンタドライバー
		LCD 輝度調整用ドライバー
		TM-C3400 電源制御用ドライバー
		TM-C3400 電源 ON プログラム
		TM-C3400 状態表示プログラム
	ツール	TM-C3400-LT Utility
		プリンター電源 オン / オフ
		EPSON Net SDK
		TM-C3400-LT Tool
		TM-C3400-LT Tool 用モジュール
初期情報		
	ユーザー	Administrator
	ユーザーパスワード	TM-C3400-LT

3

HDD のバージョン

HDD のバージョンを確認する場合は、起動ドライブのルートにある HDVER.TAG を参照してください。
このファイルはテキストフォーマットになっており、メモ帳などで確認することができます。HDVER.TAG の内容は、以下の通りです。

```
[HD Information]
MODEL=Egis-LT 009
OS=POSReady2009
LANG=Japanese
VER=1.00.0
```

リカバリー

ここでは、本製品のリカバリーの方法について説明します。

事前の確認

リカバリーを行う前に、以下のことを確認してください。

❏ 以下をご用意ください。
- リカバリーディスク (同梱品)
- USB 接続の DVD ドライブ
- USB キーボード

❏ リカバリー作業を行うと、すべてのデータが消去されます。必要なデータはあらかじめバックアップしてください。

手順

以下の手順でリカバリーを行ってください。

参考	リカバリーの所要時間は 30 ～ 45 分です。

1. 本製品の電源をオフにします。
2. 本製品の USB コネクターに、DVD ドライブと USB キーボードを接続します。
3. 本製品の電源をオンにし、BIOS を起動します。
4. BIOS のメニュー、[Boot]-[Boot Option #1] に、接続した DVD ドライブが表示されていることを確認します。
5. リカバリーディスクを DVD ドライブに挿入し、BIOS を終了します。
6. システムが再起動します。リカバリーディスクで起動し、メッセージ「Do you recovery? (Y/N)」が表示されたら、″y″ キー +″Enter″ キーを押します。
7. リカバリーが実行されます。メッセージ「Please wait for while . . . 」が表示されます。

8 リカバリーが終了すると、メッセージ「*** INSTALL COMPLETED ***」が表示されます。その後、メッセージ「Press any key to continue . . . 」が表示されます。任意のキーを押します。

9 メッセージ「Shutdown . . .」が表示され、シャットダウンされます。

10 本製品の USB コネクターから DVD ドライブを取り外します。

11 本製品の電源をオンにします。Windows XP Setup 画面がしばらく表示されます。

12 ″License Agreement″ 画面が表示されます。内容を確認し、[I accept this agreement] を選択します。[次へ] ボタンをクリックします。

13 ネットワークドライバーなど、Windows の設定が自動的に行われます。
本製品の IP アドレスなどのネットワーク設定は、後でセットアップ後に行ってください。

14 本体が自動的に再起動します。

15 再起動後、[スタート]-[コントロールパネル]-[日付と時刻]を選択し、″日付と時刻のプロパティ″ を表示します。日付と時刻、タイムゾーンを設定します。

16 [スタート]-[すべてのプログラム]-[eGalaxTouch]-[ConfigurateUtility]でタッチパネルのユーティリティーを起動します。

17 [ツール] タブの [4 ポイント CAL] を押し、タッチパネルのキャリブレーションを画面に沿って実行します。

これでリカバリーは終了です。

ユーティリティー

プリンター電源オン / オフ

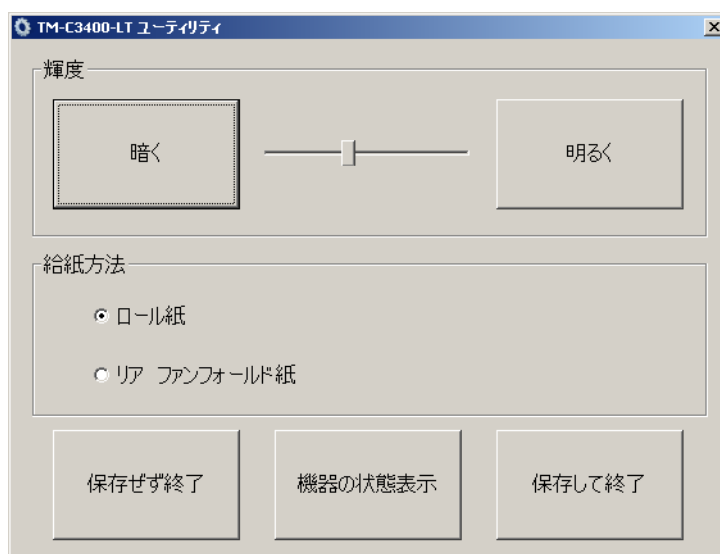
プリンターの電源を管理します。

参考	このユーティリティーのショートカットはデスクトップに作成されています。 実行ファイルの保存先 :C:¥Program Files¥EPSON¥TM-C3400-LT TOOL¥TMC34LT_POWER.exe

ボタン	説明
オン	プリンターの電源をオンします。
オフ	プリンターの電源をオフします。
プリンターの電源状態	プリンターの電源状態を表示します。 緑 :　プリンターの電源が入っている。 グレー :プリンターの電源が入っていない。
閉じる	[プリンター電源オン / オフ] を終了します。

TM-C3400LT ユーティリティ

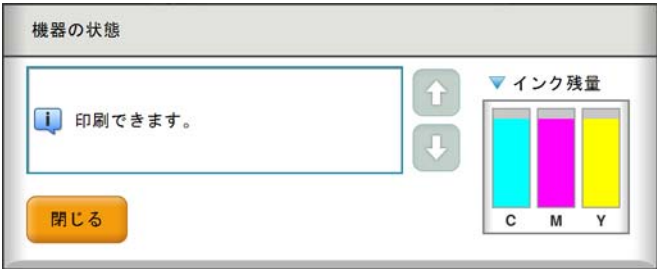
タッチパネルの輝度設定および給紙方法の設定、プリンターの状態確認を行います。

注意	本ユーティリティーはプリンターの電源が入っていない場合起動できません。 プリンターの電源がオフの場合、[プリンター電源オン / オフ] を使用してプリンターの電源を ON してからユーティリティーを起動してください。
参考	このユーティリティーのショートカットはデスクトップに作成されています。 実行ファイルの保存先 :C:¥Program Files¥EPSON¥TM-C3400-LT TOOL¥TMC34LT_UTIL.exe

項目	説明
輝度	ディスプレイの輝度を調整します。 調整した値は、TMC34LT_UTL.ini に保存されます。
給紙方法	給紙方法を設定します。以下の項目から選択します。 • ロール紙 • リアファンホールド紙
機器の状態表示	プリンタの状態を表示します。 (詳細は 49 ページ「プリンター状態表示」を参照してください)
保存せず終了	設定、変更した値を保存しないでユーティリティーを終了します。
保存して終了	設定、変更した値を保存してユーティリティーを終了します。

参考	給紙方法の変更は、用紙無しの状態でロール紙カバーが閉じられ、かつプリンターがアイドル状態のときのみ変更できます。

プリンター状態表示

プリンターの状態を表示します。
プリンターが正常な状態の場合、プログラムは非表示状態になっています。
エラー発生時にウインドウが自動表示されますが、TM-C3400LT ユーティリティからも、プリンターの状態を確認できます。

参考	このユーティリティーはスタートアップに登録されています。 実行ファイルの保存先 :C:¥Program Files¥EPSON¥TM-C3400-LT TOOL¥TMC34LT_Mon.exe

項目	説明
メッセージ	プリンターの状態が表示されます。 右のスクロールボタンでメッセージをスクロールできます。
インク残量	インク残量が表示されます。
閉じる	[機器の状態表示] ウィンドウを閉じます。 別の通知すべき状態が発生するまで、画面を非表示にします。

メッセージ一覧

種別	状態	メッセージ
情報	電源オフの途中	電源オフ処理中です。 しばらくお待ちください。
	印刷準備中など	動作中です。 しばらくお待ちください。
	ドット抜け無効画像印刷中	ドット抜けが発生しました。 無効画像を印刷中です。
	ノズルチェックパターン印刷中	ノズルチェックパターンの印刷中です。 しばらくお待ちください。
	ヘッドクリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中です。 しばらくお待ちください。
	印刷中	印刷中です。 しばらくお待ちください。
	プリンター内部の部品調整時期間近	プリンター内部の部品調整時期が近づきました。 お買い上げの販売店、またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
	インク交換時期間近	インクカートリッジの交換時期が近づきました。 新しいインクカートリッジをご準備ください。 純正品の用意をお勧めします。
	印刷可能状態	印刷できます。
エラー	メンテナンスエラー	プリンター内部の部品調整が必要です。 お買い上げの販売店、またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
		回復できないプリントヘッドのノズル詰まりを検出しました。 電源をオフにしてください。 お買い上げの販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
		プリンターとの通信ができません。 電源を入れ直してください。 状態が改善されない場合、お買い上げの販売店、またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
	フェータルエラー	プリンターでエラーが発生しました。(xx) 電源をオフにしてください。 その後、プリンター内部に輸送用の保護具などの異物が残っている場合は取り除き、電源を入れ直してください。 ※ xx には Fatal Error Code が設定されます。

種別	状態	メッセージ
エラー	低温エラー	低温エラーが発生しました。 使用環境の温度が低すぎます。 温度を 0℃以上４０℃以下にし、電源を入れ直してください。
	高温エラー	高温エラーが発生しました。 使用環境の温度が高すぎます。 温度を 0℃以上４０℃以下にし、電源を入れ直してください。
	ロール紙カバーオープン	ロール紙カバーが開いています。 ロール紙カバーを閉じてください。
	インクカートリッジカバーオープン	インクカートリッジカバーが開いています。 インクカートリッジカバーを閉じてください。
	用紙ジャム（ロール紙）	用紙が詰まりました。 ロール紙カバーを開け、詰まった用紙を取り除いたのち、ロール紙カバーを閉じてください。
	用紙ジャム（ファンフォールド紙）	用紙が詰まりました。 ロール紙カバーを開け、詰まった用紙を取り除いてください。 ロール紙カバーを閉じてから、ファンフォールド紙を入れ直してください。
	工場出荷状態	製品に同梱されている初期充填用のインクカートリッジと、セットアップ用のラベルロール紙を入れてください。
	インクカートリッジ交換時期	インクカートリッジを交換してください。 純正品のご使用をお勧めします。
	インク無し	インクカートリッジが交換時期となったか、正しく認識できません。 インクカートリッジを交換してください。
	用紙取り外し待ちエラー	用紙を取り除く前に新しい用紙が入れられました。 新しく入れた用紙を一旦取り除いてください。 その後、本体内部に残っている用紙を取り除いてから、再度、新しい用紙を入れてください。
	用紙無し（ロール紙）	用紙がありません。 用紙を入れてください。
	用紙無し（ファンフォールド紙）	用紙がありません。 用紙が本体内部に残っている場合は、取り除いてから用紙を入れてください。
	用紙位置検出エラー	用紙と設定が合っていません。 正しい用紙をセットし直すか、用紙レイアウト、または用紙位置検出設定を見直してください。
	用紙サイズエラー	ドライバで設定した用紙サイズが、セットした用紙と異なります。 プリンタにセットされている用紙サイズに合せて、プリンタドライバの設定を変更してください。

種別	状態	メッセージ
エラー	給紙経路エラー	給紙方法が異なっています。 正しい給紙方法を設定してください。
警告	ノズル詰まり	回復できないプリントヘッドのノズル詰まりを検出しました。 印刷結果に影響が現れる可能性があります。 印刷結果の信頼性を確保するため、ノズルチェック動作を変更しました。 各ページ印刷終了後にノズル詰まりの検出をしているため、印刷時間が長くなることがあります。 印刷は継続できますが、できるだけ速やかにお買い上げの販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。

プリンター電源、輝度管理

本ツールはスタートアップに登録して使用するツールです。
コンピューターのログイン時 (初期状態では Administrator での自動ログイン) に以下が実行されます。
また、コンピューターのシャットダウン時にプリンターの電源をオフします。

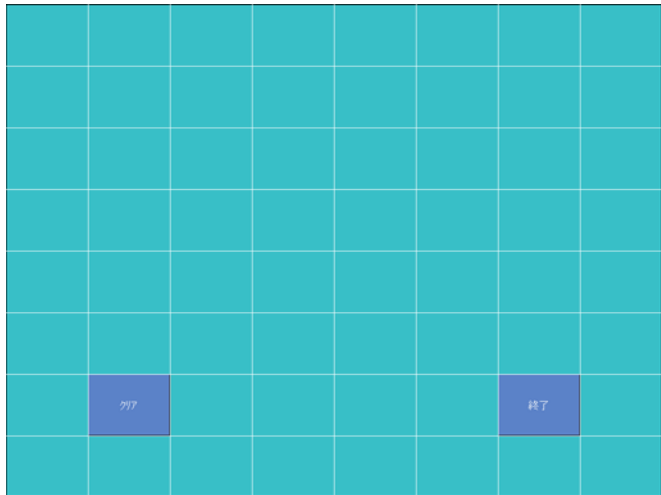
- プリンターの電源をオンします。
- TM-C3400LT ユーティリティで設定した輝度値を読み取り、ディスプレイの輝度に反映します。

参考	このユーティリティーはスタートアップに登録されています。 実行ファイルの保存先 :C:¥Program Files¥EPSON¥TM-C3400-LT TOOL¥TMC34LT_INIT.exe

タッチパネルのユーティリティー

タッチパネルやビープ音の設定、およびキャリブレーションを行うツールです。

設定

タッチパネルに関する設定を行います。

項目	説明
ビープ	• 触れたときビープ タッチパネルに触れたときビープ音を鳴らします。 • 離れたときビープ タッチパネルから指を離したときにビープ音を鳴らします。 • システムスピーカーからビープ ビープ音をシステムスピーカーから鳴らします。 • 音声カードからビープ ビープ音を音声カードから鳴らします。 • 周波数 ビープ音の周波数を設定します。 • 持続時間 ビープ音の鳴動時間を設定します。
リニアライゼーション様式	タッチパネルの位置補正の基準点を設定します。以下の値から選択できます。 • 9 ポイント • 25 ポイント
ダブルクリックタイム	ダブルクリックとして認識するタッチの間隔時間を設定します。
ダブルクリックエリア	ダブルクリックとして認識するタッチの範囲を設定します。
モードの選択	タッチの設定を行います。以下から選択してください。 [ノーマルモード]、[触れたときクリック]、[離れたときクリック]、[触れたときクリック、カーソル停止]、[デスクトップモード]

項目	説明
オプション	• コンスタントタッチ可能 コンスタントタッチを有効にします。 • オート右クリック可能 オート右クリックを有効にします。 • タッチ可能 タッチを有効にします。 • カーソル安定化可能 カーソル安定化を有効にします。 • コンスタントタッチエリア コンスタントタッチエリアの範囲を指定します。 • オート右クリック時間 オート右クリックとして認識するタッチ時間を指定します。

キャリブレーション

タッチパネルのキャリブレーションを行います。

項目	説明
リニアライゼーション曲線	現在設定されているリニアライゼーション曲線が表示されます。
4 ポイント CAL	4 ポイントの基準点を元にキャリブレーションを行います。 リニアライゼーションパラメーターは維持されます。
クリアしてキャリブレーションしてください。	リニアライゼーションパラメーターをクリアして 4 ポイントキャリブレーションを行います。
リニアライゼーション	タッチパネルの直線性向上のため、設定タブで設定した基準点でリニアライゼーションを行います。
ドローテスト	ドローテストを行い、タッチパネルの精度を検証します。 クリア；テスト内容を消去します。 終了 : ドローテストを終了します。

プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーの使い方

プリンタードライバーでは、印刷設定のほかに、プリンターの設定やプリントヘッドのクリーニングなど、各種ユーティリティの機能も利用できます。

プリンタードライバーの表示方法

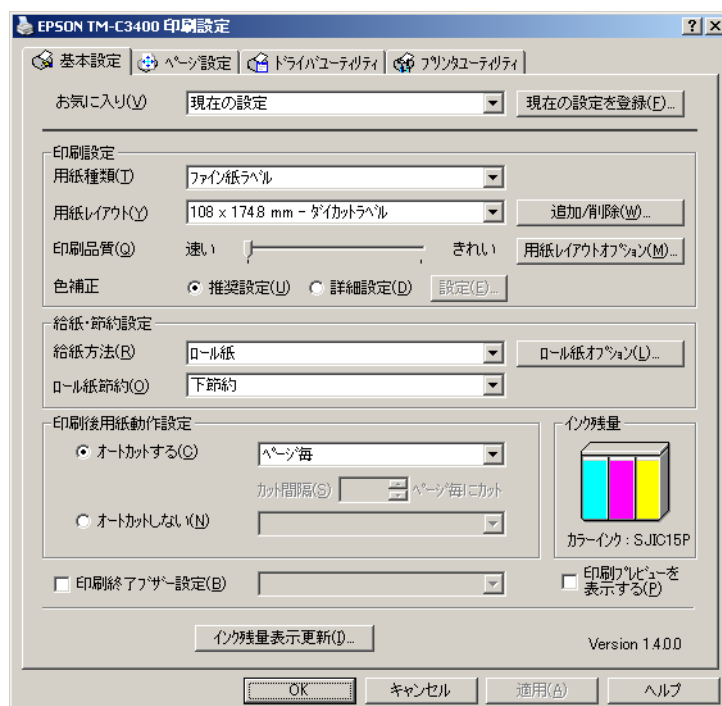
1 ［プリンタと FAX］を開きます。

［スタート］メニューの［プリンタと FAX］をクリックします。

2 ［EPSON TM-C3400］を右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

プリンタードライバーが表示されます。

参考	プリンターの登録名が［EPSON TM-C3400］の場合の表示です。

5

ユーザー定義用紙の登録

「用紙レイアウト」に使用する用紙サイズが登録されていない場合、ユーザー定義用紙を登録します。
登録したレイアウトは、「お気に入り」に登録して、お客様のアプリケーションから使用できます。

参考	リスト バンド（WB-S1/WB-M1/WB-L1）を使用する場合、110 ページ「リスト バンドを使用する場合の設定」を参照してください。

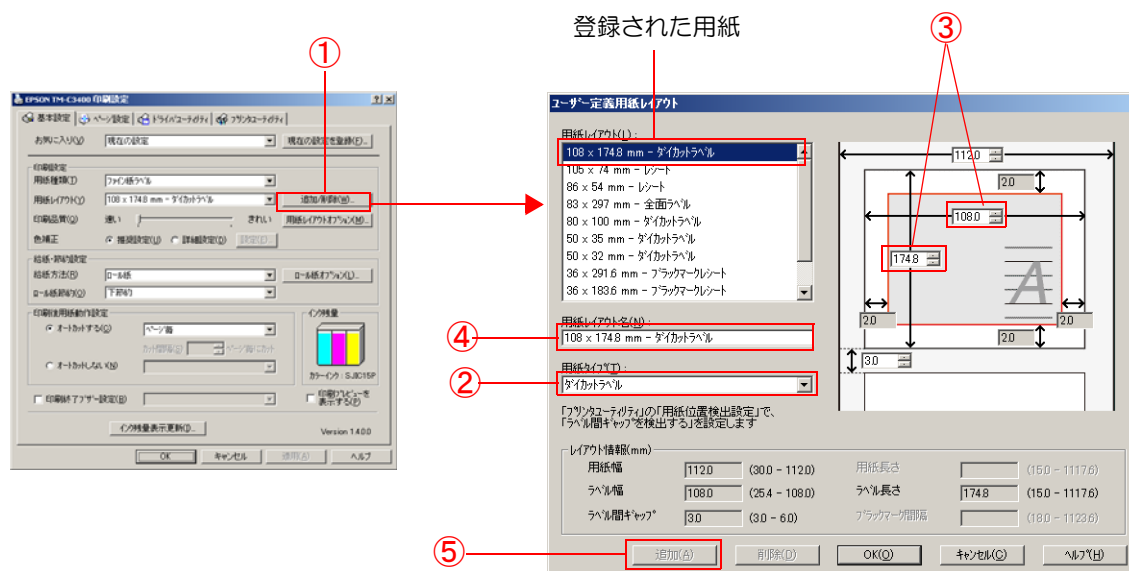
ユーザー定義用紙の登録

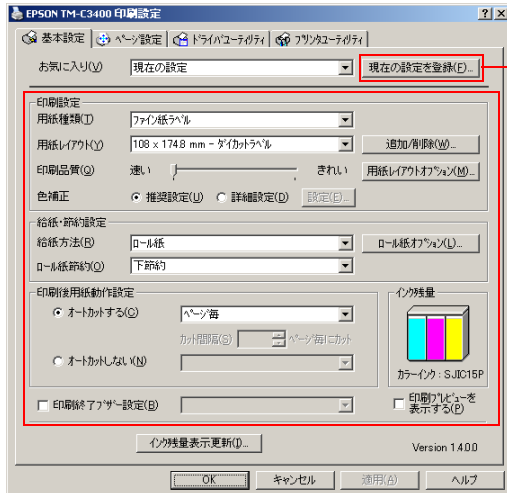
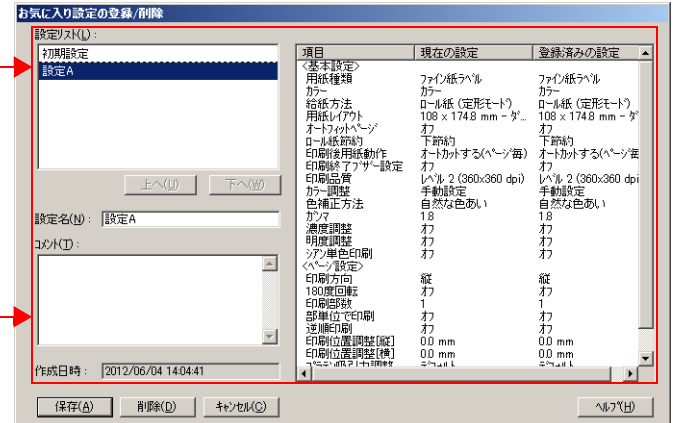
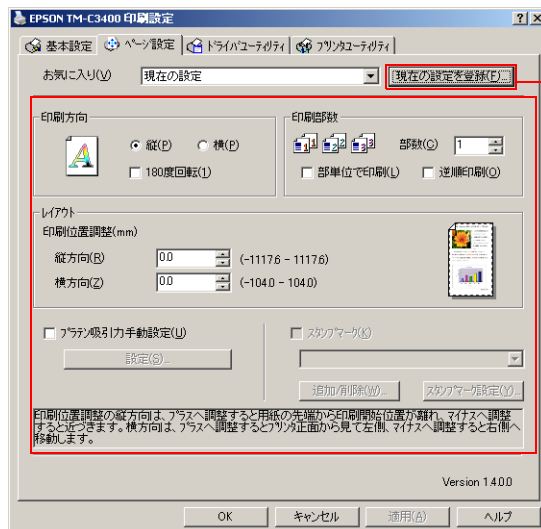
1 [基本設定] 用紙レイアウトの[追加/削除]をクリックすると､「ユーザー定義用紙レイアウト」画面が表示されます。

2 「用紙タイプ」を選択します。

3 用紙のサイズ (単位 :mm) を入力します。

4 「用紙レイアウト名」を入力します。
これがユーザー定義用紙名です。

5 [追加] ボタンをクリックします。ユーザー定義用紙が登録され､「用紙レイアウト」リストに表示されます。

お気に入り

「お気に入り」とは、プリンタードライバーの印刷設定を 1 まとめにして管理できる機能です。
印刷設定は、[基本設定] タブと [ページ設定] タブの内容です。用紙の種類、用紙レイアウト (ユーザー定義用紙を含む) などがあります。

特徴

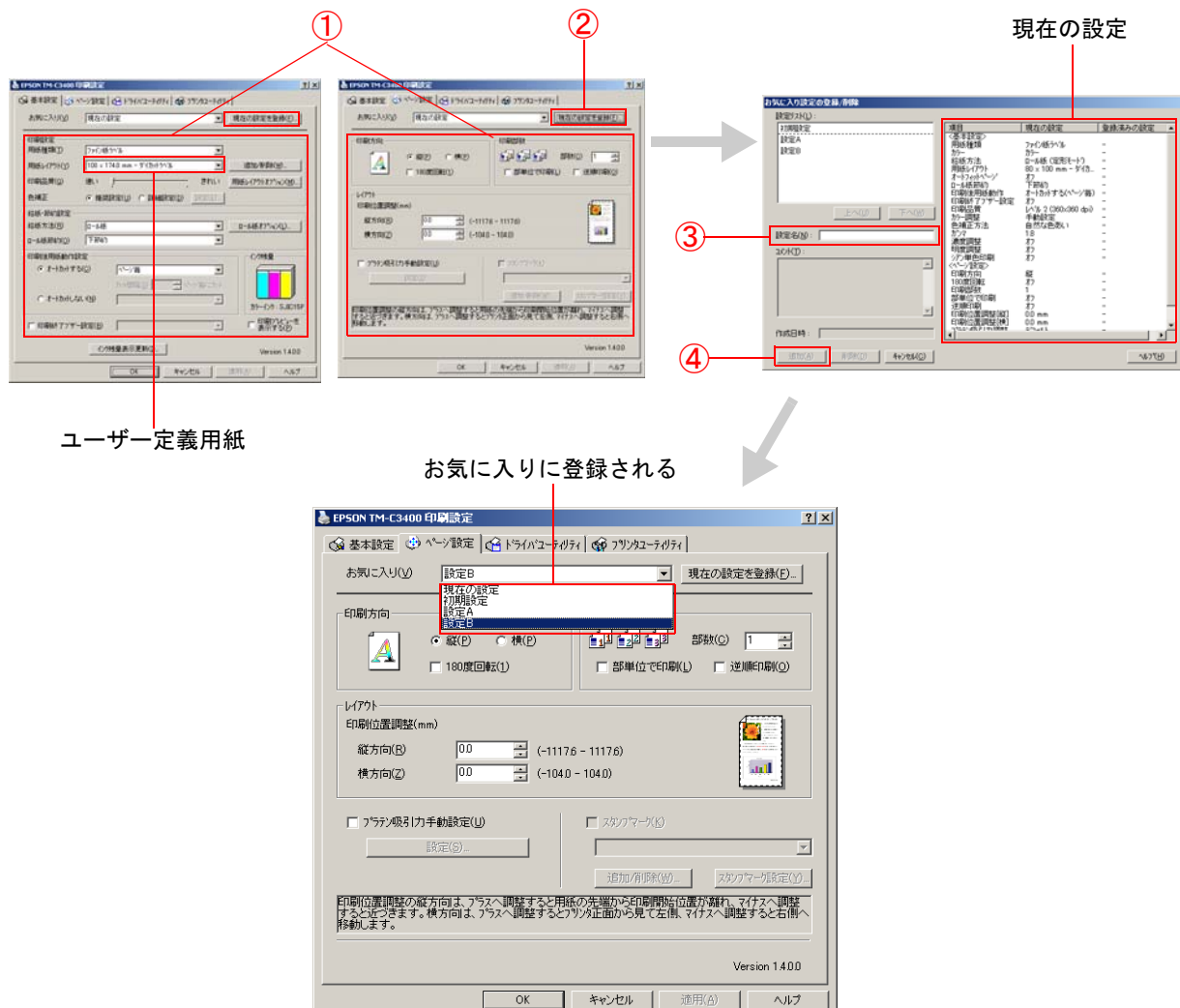
- アプリケーションから印刷する場合、「お気に入り」で登録した印刷設定を初期値で選択できます。
  そのため、印刷設定をしたら [現在の設定を登録] をクリックし、お気に入りに登録することをお勧めします。
- 「お気に入り」には、幾つもの印刷設定を登録できます。
  例えば帳票ごとに印刷設定を「お気に入り」登録すると、帳票を変更した場合、「お気に入り」の変更をするだけで印刷設定が完了します。用紙の変更に伴う様々な設定を間違えずにできます。
  (帳票を変更した場合、プリンターの用紙位置検出設定を変更する必要がある場合があります。詳細は 29 ページ「セットアップ」を参照してください。)

印刷設定を「お気に入り」に登録

1. 印刷する用紙などに合わせてプリンタードライバーを設定します。
   [基本設定] タブと [ページ設定] タブを設定します。ユーザー定義した用紙を設定する場合、[基本設定] の用紙レイアウトから選択します。

2. [現在の設定を登録] をクリックします。「お気に入り設定の登録 / 削除」画面が表示されます。
   現在の設定が右側のリストに表示されます。

3. 印刷設定名を入力します。

4. [追加] をクリックします。
   印刷設定が、「お気に入り」に登録されます。

「お気に入り」には、以下の設定があります。

- 初期設定：　プリンタードライバーインストール時の初期値です。
- 現在の設定：　[基本設定] タブと [ページ設定] タブに設定されている内容です。
  この内容は「現在の設定一覧」画面と、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面の現在の設定に表示されます。
- ユーザーが定義した設定：　ユーザーが定義した印刷設定です。

ユーザー定義情報

ユーザー定義情報には以下のものが含まれます。

- ユーザー定義用紙
- バーコードフォントの登録
- .NET 環境のフォント置き換え

ユーザー定義情報は、本製品 1 台につき 1 つ設定されます。1 台のコンピューターに複数の TM-C3400 プリンタードライバーがインストールされている場合、これらは共通で使用できます。

バーコード印刷

プリンタードライバーは、バーコードフォントを内蔵しています。アプリケーション側でバーコードを生成しなくても、バーコードを印刷できます。

バーコードフォントの設定

バーコードの印刷設定は、[ドライバユーティリティ] タブの [バーコード / 2 次元シンボル設定] で行います。

1 以下の設定を行います。

- 表示 : [バーコード] を選択します。
- フォント名 : 任意の文字列を入力します。これがバーコードフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
- タイプ : バーコードの種類を選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。以下の種類から選択できます。

UPC-A	UPC-E	JAN13(EAN)
JAN8(EAN)	Code39	ITF
Codabar	Code93	Code128
GS1-128M	GS1-128	GS1 DataBar オムニディレクショナル
GS1 DataBar トランケート	GS1 DataBar エクスパンデッド M	GS1 DataBar エクスパンデッド
GS1 DataBar リミテッド		

- 回転指定：　バーコードを回転させて印刷するときに選択します。
- Hex 入力モード：　バーコードにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。
- Composite：　コンポジットシンボル付きのバーコードを印刷するときは、チェックします。

> **参考**
> コンポジット シンボ ルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「\|」または「|\」で区切ります。データは、コンポジット シンボ ル、バーコードの順に記載し ます。
> 入力例：1234567890\|012345678905

- Quiet Zone をつける：　バーコードの左右に、バーコードの読み込みに必要な空白を作るときは、チェックします。

> **参考**
> バーコードの印刷位置は、余白の量だけ移動し ます。

- モジュール：　バーコードの細いエレメントの幅をドットで設定します。

シンボル	用紙種類	印刷品質	回転指定 (*1)	ﾊﾞｰ幅補正	上段：最小モジュール [360dpi 単位] 下段 ：最小エレメント比		
					ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
UPC-E, UPC-A, JAN13(EAN), JAN8(EAN), Code39, ITF, Codabar, Code93, Code128, GS1-128M, GS1-128, GS1 DataBar ｵﾑﾆﾃﾞｨﾚｸｼｮﾅﾙ , GS1 DataBar ﾄﾗﾝｹｰﾄ , GS1 DataBar ｴｸｽﾊﾟﾝﾃﾞｯﾄﾞ M, GS1 DataBar ｴｸｽﾊﾟﾝﾃﾞｯﾄﾞ , GS1 DataBar ﾘﾐﾃｯﾄﾞ ,	普通紙 普通紙ラベル	速い	標準 180° 回転	あり	4 dot 2.5	–	–
			90° 回転 270° 回転		6 dot 2.5	–	–
		きれい	標準 180° 回転		4 dot 2.5	–	–
			90° 回転 270° 回転		6 dot 2.5	–	–
	ファイン紙 ファイン紙ラベル 合成紙ラベル PET フィルム リストバンド	速い	標準 180° 回転		3 dot 2.7	4 dot 2.5	
			90° 回転 270° 回転		6 dot 2.5 *2	–*2	–
		きれい	標準 180° 回転		3 dot 2.7	4 dot 2.5	
			90° 回転 270° 回転		6 dot 2.5 *2	–*2	–

–：保証外

*1：回転指定は、[ページ設定] タブの [印刷方向] が〝縦〝の場合の設定です。
[印刷方向] が〝横〝の場合、以下の設定に読み替えてご使用ください。

〝標準、180° 回転〝 → 〝90° 回転、270° 回転〝
〝90° 回転、270° 回転〝 → 〝標準、180° 回転〝

*2：特定の用紙種類、バーコードの場合、以下の推奨値になります。

リストバンド、Code128 の場合 ： 5 ドットモジュール、ANSI グレード D
リストバンド、Codabar の場合 ： 4 ドットモジュール、最小エレメント比 2.5、ANSI グレード C

注意	エレメント幅を奇数の値に設定した場合、[用紙種類] や [印刷品質] を変更して解像度が変わると、印刷されるバーコードの大きさが異なってしまうことがあります。 バーコードの大きさは、[サイズ表示] ボタンで確認できます。

- バー高さ：　エレメントの高さをドットで設定します。指定したドットは、印刷されたときの実寸法で表示されます。
- バー幅を補正する：　エレメントの幅を狭くして印刷します。印刷されたバーコードがにじんで読み取れない場合に設定してください。
- HRI 文字の位置：　HRI 文字の印刷位置を指定します。印刷しないときは、[印刷しない] を選択します。

参考	タイプによっては、印刷位置の指定が限定されるものがあります。

- HRI フォント：　HRI 文字のフォントサイズを設定します。
- エレメント比：　太いエレメント幅を、細いエレメント幅に対する比率で設定します。
- キャラクタ間ギャップ：　キャラクタ間ギャップ (間隔) を、細いエレメント幅に対する比率で設定します。
- シンボル全体幅が最小となるように自動変換する：
  CODE128 の場合に選択できます。与えられたデータ文字列を表現するために必要なシンボルキャラクタ数を最小限に抑える機能です。

2 [追加] をクリックします。

設定したバーコードフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。

参考	• バーコードフォントは、30 個まで登録できます。 • フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリックすると、設定したバーコードフォントの設定を上書き保存できます。 • フォントリストのフォント名を選択し、[削除] をクリックすると、設定したバーコードフォントを削除できます。 • [テスト印刷] の入力ボックスにテキストを入力し、[印刷] をクリックすると、設定内容に従ってテスト印刷が行われます。

バーコードデータの指定方法

バーコードデータは以下を参照して指定してください。

コンポジットシンボルについて：

コンポジットコンポーネントの種類は、データの桁数に応じて自動選択されます。
(CC-C は、GS1-128 の場合だけ選択されます。)

コンポジット コンポーネント の種類	エンコード許容桁数
CC-A	1 ～ 56 桁
CC-B	1 ～ 338 桁
CC-C	1 ～ 2361 桁

HRI 文字について：

HRI 文字列がバーコードの全体幅よりも大きくなった場合、HRI 文字列の全体幅がバーコードの幅になります。

UPC-A

❏ ノーマル

- 11 ～ 12 桁のデータを指定してください。
- 1 桁目はナンバーシステムキャラクタですが、チェックはしていません。
- 11 桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 12 桁の場合、12 桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- 12 桁の場合、12 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。

UPC-E

❏ ノーマル

- データは 6 ～ 8、11 ～ 12 桁で指定してください。
- 6 桁の場合、指定されたデータはそのままで、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 7 桁の場合、2 ～ 7 桁がデータキャラクタとなり、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 8 桁の場合、2 ～ 7 桁がデータキャラクタとなり、8 桁目のデータをチェックディジットとして扱いますが、検算されません。
- 11 桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 12 桁の場合、12 桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。
- 7 桁以上の場合、1 桁目をナンバーシステムキャラクタとして処理するため、0 を指定してください。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- 8 桁の場合、8 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。
- 12 桁の場合、12 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。

JAN13(EAN)

❏ ノーマル

- 12 ～ 13 桁のデータを指定してください。
- 12 桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 13 桁の場合、13 桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- 13 桁の場合、13 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。

JAN8(EAN)

❏ ノーマル

- ７～８桁のデータを指定してください。
- ７桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- ８桁の場合、８桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- ８桁の場合、８桁目を無視してチェックディジットを自動的に付加されます。

Code39

❏ データは最大 256 桁まで指定できます。

❏ スタート・ストップコード（'*'）を両方または片方指定しなかった場合、自動的に付加されます。

ITF

❏ データは最大 256 桁まで指定できます。

❏ 奇数桁のデータを指定した場合、自動的に先頭に 0 を付加されます。

Codabar

❏ データは最大 256 桁まで指定できます。

❏ スタートコードが指定していない場合、自動的に 'A' をスタートコードとして付加されます。

❏ ストップコードが指定していない場合、自動的にスタートコードと同じものをストップコードとして付加されます。

❏ スタート・ストップコードを小文字で入力した場合、自動的に大文字に変換されます。

Code93

❏ 1 ～ 255 桁のデータを指定してください。

❏ スタートコード、2 つのチェックディジット、ストップコードは自動的に付加されます。

❏ HRI 文字の先頭には、スタートコードを示す文字 (□) を印字されます。

❏ HRI 文字の末尾には、ストップコードを示す文字 (□) を印字されます。

❏ 制御キャラクタ (00h ～ 1Fh、7Fh) の HRI 文字は、■とアルファベット 1 文字を組み合わせて印字されます。

制御キャラクタ		HRI 文字	制御キャラクタ		HRI 文字	制御キャラクタ		HRI 文字
ASCII	16 進数		ASCII	16 進数		ASCII	16 進数	
NULL	00	■ U	VT	0B	■ K	SYN	16	■ V
SOH	01	■ A	FF	0C	■ L	ETB	17	■ W
STX	02	■ B	CR	0D	■ M	CAN	18	■ X
ETX	03	■ C	SO	0E	■ N	EM	19	■ Y
EOT	04	■ D	SI	0F	■ O	SUB	1A	■ Z
ENQ	05	■ E	DLE	10	■ P	ESC	1B	■ A
ACK	06	■ F	DC1	11	■ Q	FS	1C	■ B
BEL	07	■ G	DC2	12	■ R	GS	1D	■ C
BS	08	■ H	DC3	13	■ S	RS	1E	■ D
HT	09	■ I	DC4	14	■ T	US	1F	■ E
LF	0A	■ J	NAK	15	■ U	DEL	7F	■ F

Code128

❏ 2 ～ 255 桁のデータを指定してください。

❏ 先頭の 2 桁はスタートコードで、コード選択キャラクタ（CODE A、CODE B、CODE C）のいずれかを指定してください。

❏ 特殊キャラクタは、'{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。

❏ [シンボル全体幅が最小となるように自動変換する] にチェックを付けると、Code128シンボルの全体幅が最小となるよう、自動的に変換します。この機能を使うと、コードセットを指定する必要はなく、シンボルにしたいデータを入力するだけでバーコードが印刷されます。
チェックを付けない場合は、コードセットを手動で指定する必要があります。
コードセット C を指定する場合は、生成する 2 桁の数字を ASCII 文字の 10 進数と見なし、該当する ASCII 文字を指定します。
例）　「37」:「%」と指定します。
　　　「65」:「A」と指定します。
　　　「979899」:「abc」と指定します。

❏ データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクタ	ASCII	制御キャラクタ	ASCII	制御キャラクタ	ASCII
SHIFT	{S	CODE C	{C	FNC3	{3
CODE A	{A	FNC1	{1	FNC4	{4
CODE B	{B	FNC2	{2	'{'	{{

❏ 特殊キャラクタの HRI 文字は、以下ように表現されます。

制御キャラクタ	HRI 文字
SHIFT	印字しない
CODE A/B/C	印字しない
FNC1 ～ 4	スペースを印字
制御キャラクタ（00h ～ 1Fh, 7Fh）	スペースを印字

GS1-128

❏ 2 ～ 255 桁のデータを指定してください。

❏ アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。（HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。）

❏ スタートコード（CODE A、CODE B、CODE C）、ストップコードは自動的に付加されます。

❏ スタートコードの次のシンボルキャラクタ FNC1 は自動的に付加されます。

❏ '*' を指定すると、チェックディジットを自動計算して '*' に置き換えられます。

❏ アプリケーション識別子は、連続した 2 桁の数値を指定する必要があります。正しく指定されていない場合、エラーになります。

❏ アプリケーション識別子が (01) の場合、データの 14 桁目はチェックディジットになりますが、チェックディジットが指定された場合は検算されません。14 桁目が '*' の場合、チェックディジットを自動計算して '*' に置き換えられます。

❏ 特殊キャラクタは '{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。

❏ データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
制御文字（00h ～ 1Fh および 7Fh）		スペースを印字
FNC1	{1	スペースを印字
FNC3	{3	スペースを印字
'{'	{{	{ を印字
'('	{(	(を印字
')'	{)	) を印字
'*'	{*	* を印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
チェックディジット位置	*	チェックディジットを印字

GS1-128M

- ❏ 38 ～ 66 桁のデータを指定してください。
- ❏ アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。(HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- ❏ スタートコード（CODE A、CODE B、CODE C)、ストップコードは自動的に付加されます。
- ❏ スタートコードの次のシンボルキャラクタ FNC1 は自動的に付加されます。
- ❏ アプリケーション識別子 (30) に続くデータの最後に FNC1 が存在しない場合、FNC1 自動的に付加されます。
- ❏ アプリケーション識別子 (10) または (21) に続くデータの最後に、FNC1 は不要なため、FNC1 が存在した場合はエラーになります。
- ❏ アプリケーション識別子が (01) の場合、データ部の 14 桁目はチェックディジットになりますが、チェックディジットが指定された場合、検算されません。14 桁目が '*' の場合、チェックディジットを自動計算し、'*' に置き換えられます。
- ❏ データが { で直後のデータが 1 でない場合、エラーになります。
- ❏ 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	スペースを印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
チェックディジット位置	*	チェックディジットを印字

- ❏ 以下のフォーマットに従っていない場合はエラーになります。

アプリケーション識別子	フォーマット
01	数字 14 桁
10	英数字 1 ～ 20 桁
17	数字 6 桁 (YYMMDD)
21	英数字 1 ～ 20 桁
30	数字 1 ～ 8 桁

GS1 DataBar オムニディレクショナル / GS1 DataBar トランケート / GS1 DataBar リミテッド

- ❏ 先頭のアプリケーション識別子 01 はデータに含めません。
- ❏ HRI 文字印刷時に、先頭のアプリケーション識別子 01 は、梱包識別コードの前に "(01)" と印字されます。
- ❏ チェックディジットをバーコードデータに付加する必要はありません。
- ❏ HRI 文字印刷時に、チェックディジットは商品コードの後に印字されます。
- ❏ GS1 DataBar リミテッドの場合、先頭 1 桁は '0' か '1' を指定してください。

GS1 DataBar エクスパンデッド M

- ❏ 38 ～ 66 桁（'*' を含まない数）のデータを指定してください。
- ❏ アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。（HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。）
- ❏ アプリケーション識別子 (10) あるいは (21) の前に FNC1 が存在しない場合、FNC1 が自動的に付加されます。
- ❏ アプリケーション識別子 (30) に続くデータの最後に FNC1 が存在しない場合、FNC1 が自動的に付加されます。
- ❏ アプリケーション識別子 (10) または (21) に続くデータの最後にFNC1 は不要なため、FNC1 が存在した場合、エラーになります。
- ❏ アプリケーション識別子が (01) の場合、データ部の 14 桁目はチェックディジットになりますが、チェックディジットが正しくない場合はエラーになります。
  （GS1-128 とは異なり、'*' によるチェックディジットの自動計算と付加はされません。）
- ❏ '*' は読み飛ばします。
- ❏ データが { で直後のデータが 1 でない場合、エラーになります。
- ❏ 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

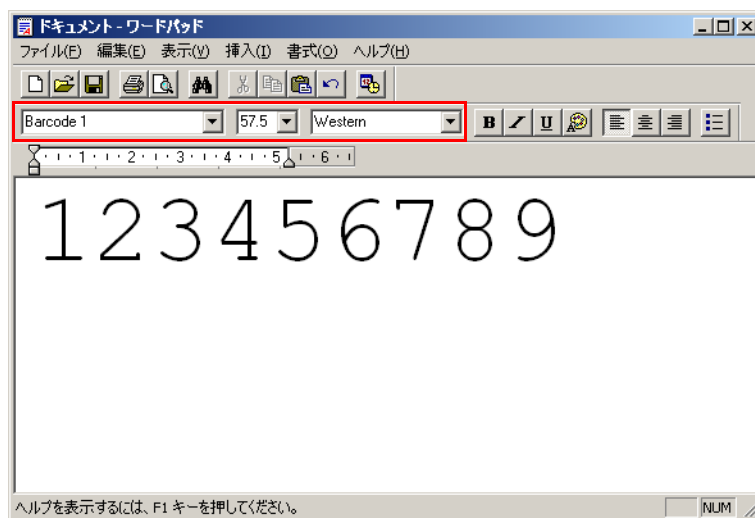
制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	印字しない
'('	{(	(を印字
')'	{)	) を印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
'*'	{*	* を印字
読み飛ばし文字	*	印字しない

GS1 DataBar エクスパンデッド

- ❏ 2 ～ 255 桁のデータを指定してください。
- ❏ アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。（HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。）
- ❏ データに必ず、すべてのアプリケーション識別子を含めてください。
- ❏ 指定されたデータから、アプリケーション識別子、左カッコ、右カッコ、'*' を削除した最初データが 01 の場合、01 の次から数えて 14 桁目をチェックディジットとしてチェックされます。正しくない場合、エラーになります。
- ❏ 01 の次からのデータが 14 桁未満の場合、チェックディジットをチェックされません。
  （GS1-128 とは異なり、文字 '*' によるチェックディジットの自動計算と付加はされません。'*' を指定した場合、'*' は無視され、以降のデータは 1 桁ずつシフトされます。）
- ❏ 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	印字しない
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
'*'	{*	エラー
読み飛ばし文字	*	印字しない

印刷方法

印刷データに、設定したバーコードフォント、指定ポイント、言語を指定し、印刷します。

注意	バーコードのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、バーコードは印刷されません。

5

バーコードをシアン単色で印刷する方法

印刷したバーコードが読み取りにくい場合、シアン単色で印刷する設定にします。

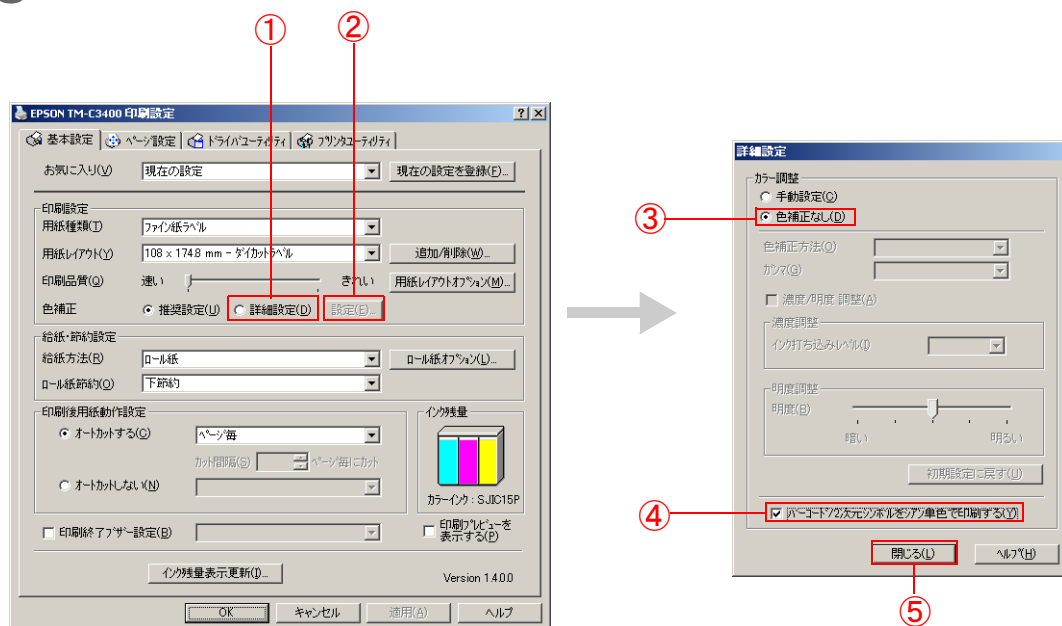
参考	お客様の使用環境によっては読み取れない場合があります。ご確認のうえご使用ください。

1 ［基本設定］タブの［印刷設定］-［色補正］を［詳細設定］に選択します。

2 ［設定］ボタンをクリックします。
「詳細設定」画面が表示されます。

3 ［色補正なし］を選択します。

4 ［バーコード／２次元シンボルをシアン単色で印刷する］にチェックします。

5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

2 次元シンボル印刷

プリンタードライバーは、2 次元シンボルフォントを内蔵しています。アプリケーション側で 2 次元シンボルを生成しなくても、2 次元シンボルを印刷できます。

2 次元シンボルフォントの設定

2 次元シンボルの印刷設定は、[ドライバユーティリティ] タブの [バーコード / 2 次元シンボル設定] で行います。

1 以下の設定を行います。

バーコード / 2 次元シンボルフォント 設定	説明
表示	[2 次元シンボル] を選択します。
フォント名	任意の文字列を入力します。これが 2 次元シンボルフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
タイプ	2 次元シンボルのタイプを選択します。 選択しタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。
回転指定	2 次元シンボルを回転させて印刷するときに選択します。
Hex 入力モード	2 次元シンボルにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。

バーコード / 2 次元シンボルフォント 設定	説明
Composite	コンポジット シンボルつきの 2 次元シンボルを印刷するときは、チェックします。 コンポジット シンボルに指定するデータと 2 次元シンボルに指定するデータは、「|」または「|\」で区切ります。データは、コンポジット シンボル、2 次元シンボルの順に記載します。 入力例：1234567890|012345678905
Quiet Zone をつける	2 次元シンボルの左右に、2 次元シンボルの読み込みに必要な空白を作るときは、チェックします。 2 次元シンボルの印刷位置は、余白の量だけ移動します。

2 選択した [タイプ] により、設定をします。

- PDF417

項目	設定内容
桁数	PDF417 の桁数を入力します。
モジュール幅	PDF417 のモジュール幅を設定します。
モジュール高さ	PDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
トランケーションシンボル	PDF417 のストップコードを省いたシンボルを作成するときは、チェックします。
エラー訂正レベル	PDF417 のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。

- QRCode

項目	設定内容
モデル	QRCode モデルを選択します。
エラー訂正レベル	QRCode のエラー訂正レベルを選択します。 シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベルL、M、Q、H の順に復元率が高くなります。
モジュール幅	QRCode モデルのセル(モジュール)の設定をします。
バージョン	QRCode のバージョンを指定します。QRCode のバージョンによって 2 次元シンボルにできる文字数が異なります。

- MaxiCode

項目	設定内容
モード	MaxiCode のモードを選択します。[モード 2]、[モード 3] を選択する場合、[Hex 入力モード] をチェックします。

- GS1 DataBar の設定

項目	設定内容
モジュール幅	GS1 DataBar のモジュール幅を設定します。
最大幅	GS1 DataBar の最大幅を設定します。

- AztecCode の設定

項目	設定内容
タイプ	AztecCode のタイプを選択します。
レイヤーの数	AztecCode のレイヤー数を指定します。 [**最小化する**]：自動的に最小のレイヤー数に最適化します。 [**サイズを指定する**]：入力ボックスで指定したレイヤー数にします。
セルのサイズ	AztecCode のセル（モジュール）のサイズを設定します。
エラー訂正領域	AztecCode のエラー訂正領域を以下のどちらかで指定します。 シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。 [**デフォルト値**]：デフォルト値は 23%+3 コードワードです。 [**パーセンテージで指定する**]：エラー訂正領域を入力ボックスに入力したパーセンテージで指定します。

- DataMatrix の設定

項目	設定内容
セルのサイズ	DataMatrix のセル（モジュール）のサイズを設定します。
セルの数	DataMatrix のセルの数を指定します。 [**最小化する**]：自動的に最小のセルの数に最適化します。 [**サイズを指定する**]：選択したサイズに設定します。

- DataMatrix（長方形）の設定

項目	設定内容
セルのサイズ	DataMatrix のセル（モジュール）のサイズを設定します。
縦方向のセルの数	DataMatrix の縦方向のセルの数を指定します。
横方向のセルの数	DataMatrix の横方向のセルの数を指定します。 [**最小化する**]：自動的に最小のセルの数に最適化します。 [**サイズを指定する**]：選択したサイズに設定します。

❏ 以下は、2 次元シンボルのモジュールの推奨値です。

- バーコード / 2 次元シンボルフォント設定の推奨値（スタック型 2 次元シンボル）

シンボル	用紙種類	印刷品質	印刷状況（*1）	モジュール高さ（*2）	最小ﾓｼﾞｭｰﾙ [360 dpi 単位]		
					ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
PDF417, GS1 DataBar ｽﾀｯｸ , GS1 DataBar ｽﾀｯｸ・ｵﾑﾆﾃﾞｨﾚｸｼｮﾅﾙ , GS1 DataBar ｴｸｽﾊﾟﾝﾃﾞｯﾄﾞ・ｽﾀｯｸ ,	普通紙 普通紙ラベル	速い	紙送りをまたがない場合	3	6 dot	-	-
			紙送りをまたぐ場合		6 dot	-	-
		きれい	紙送りをまたがない場合		6 dot	-	-
			紙送りをまたぐ場合		6 dot	-	-
	ファイン紙 ファイン紙ラベル 合成紙ラベル PET フィルム リストバンド	速い	紙送りをまたがない場合		4 dot	-	-
			紙送りをまたぐ場合		4 dot	-	-
		きれい	紙送りをまたがない場合		4 dot	-	-
			紙送りをまたぐ場合		4 dot	-	-

-：保証外

*1：2 次元シンボルが紙送りをまたぐかまたがないかは、印刷プレビュー機能の [紙送り位置表示] - [印刷プレビューに表示する] で確認できます。印刷プレビュー機能については、83 ページ「印刷プレビュー」を参照してください。

*2：PDF417 を使用する場合、指定してください。

- バーコード / 2 次元シンボルフォント設定の推奨値（マトリックス型 2 次元シンボル）

シンボル	用紙種類	印刷品質	印刷状況（*1）	最小セルサイズ [360 dpi 単位]		
				ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
QR Code, DataMatrix,	普通紙 普通紙ラベル	速い	紙送りをまたがない場合	6 dot	-	-
			紙送りをまたぐ場合	8 dot	-	-
		きれい	紙送りをまたがない場合	6 dot	-	-
			紙送りをまたぐ場合	8 dot	-	-
	ファイン紙 ファイン紙ラベル 合成紙ラベル PET フィルム リストバンド	速い	紙送りをまたがない場合	5 dot	6 dot（*2）	
			紙送りをまたぐ場合	6 dot	7 dot	-
		きれい	紙送りをまたがない場合	5 dot	6 dot（*2）	
			紙送りをまたぐ場合	6 dot	7 dot	-

-：保証外

*1：2 次元シンボルが紙送りをまたぐかまたがないかは、印刷プレビュー機能の [紙送り位置表示] - [印刷プレビューに表示する] で確認できます。印刷プレビュー機能については、83 ページ「印刷プレビュー」を参照してください。

*2：QR Code のみ確認しています。

3 [追加] をクリックします。

設定した 2 次元シンボルフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。

参考

- 2 次元シンボルフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、[削除]をクリックすると、設定した2次元シンボルフォントを削除できます。
- [テスト印刷] の入力ボックスにテキストを入力し、[印刷] をクリックすると、設定内容に従ってテスト印刷が行われます。

2次元シンボルデータの指定方法

2次元シンボルデータは以下を参照して指定してください。

参考

コンポジットシンボルとHRI文字については、65ページ「バーコードデータの指定方法」を参照してください。

PDF417

- 桁数と段数が0の場合、自動計算されます。
- 0以外を指定する場合、桁数と段数の積が928以下になるように指定してください。

QRCode

- 指定されたバージョンよってサイズが決定されます。指定されたバージョンに収まらない場合、収まるバージョンに自動的に変更されます。

MaxiCode

- モード2か3の場合のヘッダー、2次メッセージは省略可能です。
- 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

制御キャラクタ	16進数表記
SHIFT	0x7B,0x53
CODE B	0x7B,0x42
CODE C	0x7B,0x43
FNC1	0x7B,0x31
FNC2	0x7B,0x32
FNC3	0x7B,0x33
FNC4	0x7B,0x34

GS1 DataBar スタック / GS1 DataBar スタック・オムニディレクショナル

- データは13桁まで指定できます。
- データの先頭にアプリケーション識別子01を含めないでください。
- データにチェックディジットを付加する必要はありません。

GS1 DataBar エクスパンデッド・スタック

- GS1 DataBarエクスパンデッドを多段シンボルにしたものです。データの指定方法はGS1 DataBarエクスパンデッドと同じです。（詳細は70ページ「GS1 DataBarエクスパンデッド」を参照）

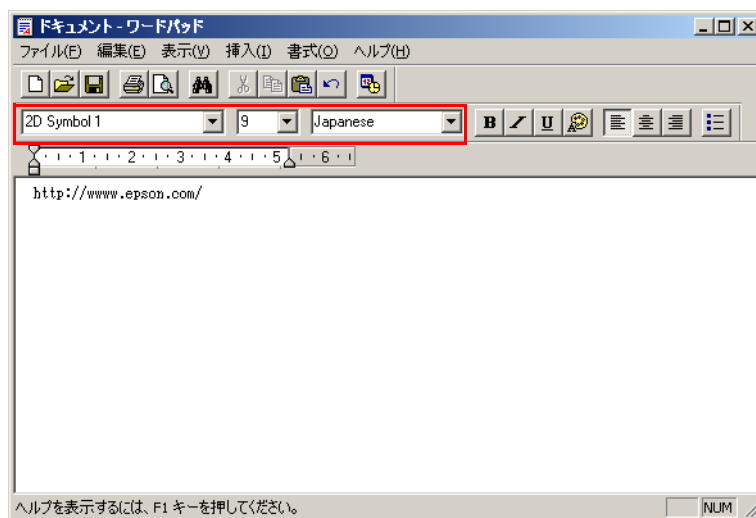
AztecCode

- フルレンジモードとコンパクトモードをサポートしています。

DataMatrix

- ECC200バージョンの正方形および長方形をサポートしています。

印刷方法

印刷データに、設定した 2 次元シンボルフォント、指定ポイント、言語を指定し、印刷します。

注意　2 次元シンボルのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、2 次元シンボルは印刷されません。

2 次元シンボルをシアン単色で印刷する方法

印刷した 2 次元シンボルが読み取りにくい場合、シアン単色で印刷する設定にします。
詳細は、72 ページ「バーコードをシアン単色で印刷する方法」を参照してください。

.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷

.NET Framework は、True Type フォントと Open Type フォントだけをサポートしているため、アプリケーションから、プリンタードライバーに登録されたバーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できません。このため、プリンタードライバーのフォント置き換え機能を使って、True Type フォントをバーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えます。これにより .NET Framework 環境のアプリケーションからでも、バーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できます。

アプリケーションの印刷データはTrueType フォント名ですが、印刷するとバーコード/2次元シンボルになります。

フォントの置き換え

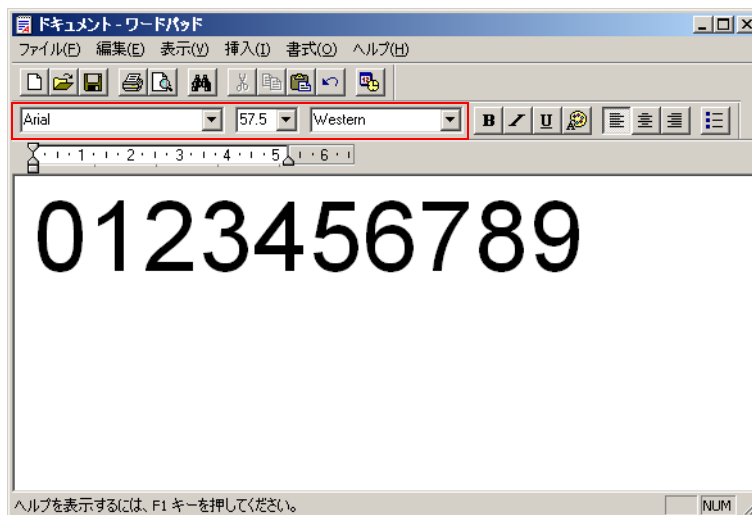
フォントの置き換えは、[ドライバユーティリティ] タブの [フォントの置き換え] で行います。

1 以下の設定を行います。

- 置き換える TrueType フォント
  *置き換え元の [TrueType フォント] を選択します。
- 置き換え先フォント
  *置き換える先のバーコード /2 次元シンボルを選択します。

2 [OK] をクリックします。
TrueType フォントが、バーコード /2 次元シンボルに置き換えられます。

バーコード /2 次元シンボルの印刷

印刷データに、バーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えた TureType フォント、指定されたポイント数 、言語を指定します。

参考

- バーコード /2 次元シンボルのポイント数は決められています。[ドライバユーティリティ]-[バーコード /2 次元シンボル設定] で確認してください。それ以外の値を指定すると、バーコード /2 次元シンボルは印刷しません。
- 置き換え元の TrueType フォントは、バーコード /2 次元シンボルの指定以外は使用できません。このフォントでほかの文字を指定しても印刷しません。そのため、置き換えフォントには印刷に使用しないフォントを選択してください。

5

プリンタードライバーの機能

プリンタードライバーには、基本設定、ページ設定、ドライバユーティリティ、プリンターユーティリティのタブがあり、それぞれのタブで各種設定、調整が行えます。

[基本設定] タブ

お気に入り

あらかじめ登録した印刷設定をリストから選択します。これが印刷時の初期値になります。[初期設定] を選択すると、プリンタードライバーをインストールしたときの設定に戻せます。

印刷設定

用紙種類、用紙レイアウト、印刷品質、色補正の設定を行います。

用紙レイアウトには、ユーザー定義用紙を登録できます。

印刷品質は「速い」「きれい」から選択できます。印刷の解像度は以下のとおりです。

用紙	印刷品質	解像度 (dpi) (横 x 縦)
普通紙 普通紙ラベル	速い	360 x 180
	きれい	360 x 360
その他の用紙	速い	360 x 360
	きれい	720 x 360

給紙・節約設定

給紙方法、ロール紙節約、ロール紙オプションの設定を行います。

印刷後用紙動作設定

印刷後のオートカット動作、紙送り動作の設定を行います。

設定の必要な場合にオートと紙送りの設定をします。設定の不要な条件 (レシート / 全面ラベルは、自動的にオートカットするなど) ではグレーアウトします。

印刷終了ブザー設定

印刷終了時のブザー設定を行います。

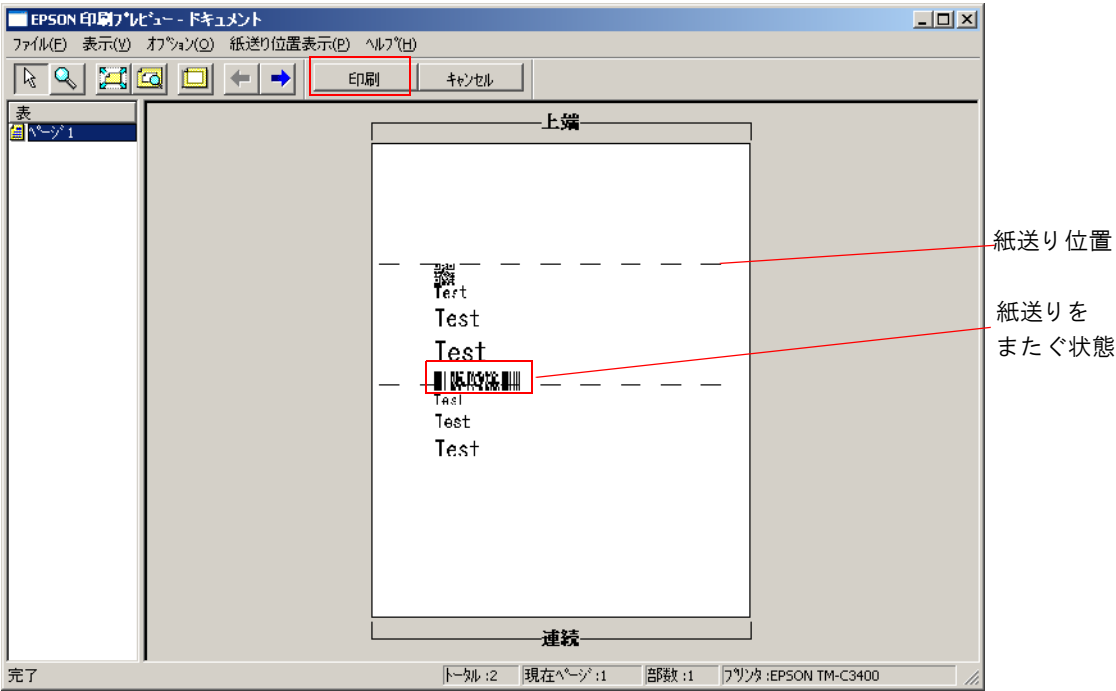
インク残量表示

インク残量が表示されます。

印刷プレビュー

チェックすると、アプリケーションから印刷したときに印刷プレビュー画面が表示され、印刷前に印刷結果のイメージを確認できます。

二次元シンボルを印刷する場合などに、紙送り位置をまたぐかどうかを確認できます。

参考	二次元シンボルの読み取り率向上のため、二次元シンボルが紙送り位置をまたがないように印刷することをお勧めします。

「紙送り位置表示」では、以下の設定ができます。

項目		説明
紙送り位置表示	紙送り位置の表示	紙送り位置を印刷プレビュー画面に表示します。 初期値は「表示」します。
	紙送り位置を印刷	紙送り位置を印刷します。 初期値は「しない」です。

5

[ページ設定] タブ

お気に入り

あらかじめ登録した印刷設定をリストから選択します。これが印刷時の初期値になります。[初期設定] を選択すると、プリンタードライバーをインストールしたときの設定に戻せます。

印刷方向

印刷方向 (縦、横、180 度回転) の設定を行います。

印刷部数

印刷部数の設定を行います。

レイアウト

印刷位置の調整を行います。

参考	[プリンタユーティリティ] タブの [印刷開始位置調整] とは異なり、印刷ジョブごとに調整する機能です。用紙の特質 (ブラックマークの色が薄いなど) に応じて調整します。

プラテン吸引力手動設定

チェックすると、[調整] が実表示になります。[調整] をクリックすると、[プラテン吸引力手動設定] 画面が表示され、プラテン吸引力を調整できます。チェックを外すと、あらかじめ設定されている初期設定値の吸引力が設定されます。すでに工場出荷時に調整されています。通常お客様に調整していただく必要はありません。

スタンプマーク

チェックすると、印刷データに画像や「重要」などのテキストを重ねて印刷できます。

参考	[基本設定] タブの [ロール紙節約] が節約なしに設定されていないと、チェックボックスがグレーアウトします。

注意	スタンプマークは印刷データの前面に印刷されるため、バーコードとスタンプマークが重なると、バーコードが読み込めなくなります。

[ドライバユーティリティ] タブ

バーコード /2 次元シンボル設定

バーコード /2 次元シンボルフォントを設定します。この設定はユーザー定義情報です。

> 参考
> バーコード印刷、2 次元シンボル印刷の操作手順は、62 ページ「バーコード印刷」、73 ページ「2 次元シンボル印刷」を参照してください。

フォントの置き換え

.NET 環境で TrueType フォントをバーコードフォント / 2 次元シンボルフォントに置き換える設定を行います。

> 参考
> .NET 環境で、バーコード / 2 次元シンボルフォントを印刷する場合に設定します。
> TrueType フォントの 1 つを、バーコード / 2 次元シンボルフォント印刷専用に指定します。

ドライバの動作設定

プリンタードライバーの動作に関する各種機能 (印刷の速度や進捗表示など) を設定できます。

EPSON ログファイルの設定

障害発生時などに迅速な解析が行えるようにログの保存方法を設定できます。

この内容については、弊社までお問い合わせください。

EPSON プリンタウィンドウ !3

印刷時に EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面が自動表示され、プリンターの現在の状態、インク残量、エラー状態などを確認できます。

> 参考
> [ドライバの動作設定] 画面の [EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] にチェックが外れていると、表示されません。

モニタリング機能の設定

プリンターのエラーが発生したときに、EPSON プリンタウィンドウ !3 が表示します。

> 参考
> [ドライバの動作設定] 画面の [EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] にチェックが外れていると、表示されません。

致命的なエラーの通知設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用していない場合でも、プリンターの致命的なエラーが発生した時に、画面を表示することができます。

> 参考
> - [ドライバの動作設定] 画面の [EPSONプリンタウィンドウ!3 を使用する] がチェックされていると、表示されません。
> - 「管理者 ./ Administrator グループのメンバ、権限の昇格を行ったユーザーおよび、Windows XP の Power User グループのメンバ」は、致命的なエラーの通知設定の変更が可能です。

設定の書き出し / 取り込み

プリンタードライバーのすべての設定をファイルとして書き出したり、取り込んだりすることができます。

5

［プリンタ ユーティリティ］タブ

この項目は、プリンターに設定を行います。

印刷動作モードの設定

印刷動作モードの設定、ドット抜け発生時にドキュメントに印刷する無効画像の登録、無効画像のテスト印刷が行えます。

印刷動作モードの設定には、以下の種類があります。

- 誤色なしモード：　紙送り方向の隣接２ドット以上、または任意の３ドット以上のドット抜けが発生した場合に、オートヘッドクリーニングを実行します。
- 誤読なしモード：　ドット抜けが発生すると、オートヘッドクリーニングを実行します。
- 高信頼性モード（再印刷実行選択）/ エコノミーモード（再印刷実行選択）：
  ドット抜けが発生すると、EPSON プリンタウィンドウ !3 が表示され、次の動作をお客様で選択できます。選択できる動作は、［印刷再開］（次のデータを印刷）と［再印刷］（オートヘッドクリーニングしてドット抜け解消後に再印刷）です。
- 高信頼性モード（無効 (Void) 画像印刷）/ エコノミーモード（無効 (Void) 画像印刷）：
  ドット抜けが発生すると、ドット抜けが発生したことを示す画像を印刷し、同じデータを再度印刷します。無効画像印刷時に用紙高さが 1 インチ以下の場合、無効画像の上端がカットされて印刷されます。

参考

- ［高信頼性モード(無効(Voide)画像印刷)］および［エコノミーモード(無効(Voide)画像印刷)］は、［ドライバユーティリティ］タブの［ドライバの動作設定］画面の［EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する］にチェックがついていないと、設定できません。
- 誤色なしモードに設定した場合、誤読となるドット抜けが発生する可能性があります。誤読となるドット抜けを発生させたくないときは、誤読なしモードまたは高信頼性モードの使用をお勧めします。

通知設定

エラー発生時のブザーのオン / オフ、インク残量が少なくなったときのプリンター状態表示ユーティリティーへの表示設定、用紙違いの通知設定を行います。

パネルボタンの設定

プリンター本体のパネルスイッチのうち、カットボタン、および紙送りボタンの有効 / 無効を設定します。

用紙位置検出設定

印刷する用紙の種類に応じて、プリンターの用紙位置検出設定をします。

注意

プリンターの設定と用紙の種類が適合しないと印刷ができず、用紙エラーが発生します。ここの調整は、145 ページ「用紙位置検出の設定」を参照してください。

用紙頭出し動作設定

電源投入時、カバークローズ時の用紙頭出しおよびオートカット動作を設定します。

センサー調整

ラベル間ギャップやブラックマークを検出するセンサーを調整します。

マニュアルヘッドクリーニング

お客様が、ヘッドクリーニングを行えます。クリーニングの結果は、ノズルチェックパターン印刷で確認できます。

> **参考**
> マニュアルヘッドクリーニングの操作手順は、146 ページ「マニュアルヘッドクリーニング」を参照してください。

ノズルチェック

プリントヘッドの目詰まりを確認するパターンを印刷します。

紙送り量調整

カット位置や印刷位置の紙送り調整をします。印刷結果のカット位置や印刷位置がずれている場合に調整します。

ギャップ調整

縦罫線やバーコードのずれと紙送りのずれを調整します。

製品に同梱されているロール紙で、調整量を確認するための機能です。工場出荷時には調整されていますので、通常お客様に調整していただく必要はありません。

印刷基準位置調整

同梱されているロール紙で、頭出し位置、打ち出し位置を調整します。工場出荷時には調整されていますので、通常お客様に調整していただく必要はありません。

動作時間の設定

データの待機時間やプラテン吸引動作の休止時間を設定します。

プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーでは以下の機能を設定できます。

プリンターの設定

- 印刷動作モードの設定
- 通知設定
- 用紙頭出し動作設定
- 用紙位置検出設定
- パネルボタンの設定
- センサー調整

プリンタードライバーの設定

- EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定
- 印刷後用紙動作設定
- リストバンドを使用する場合の設定

印刷動作モードの設定

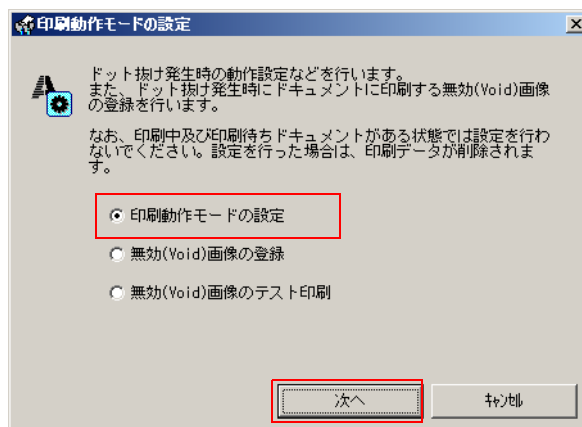
印刷動作モードの設定には以下のモードがあります。（初期設定では [誤読なしモード] に設定されています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）

- 高信頼性モード（無効（Void）画像印刷）
- 高信頼性モード（再印刷実行選択）
- エコノミーモード（無効（Void）画像印刷）
- エコノミーモード（再印刷実行選択）
- 誤読なしモード
- 誤色なしモード

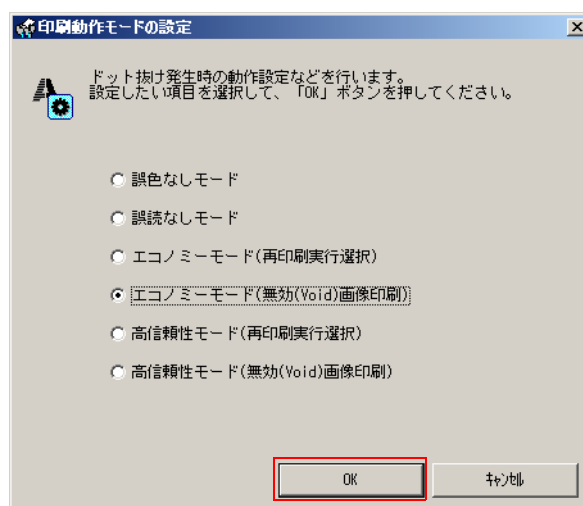
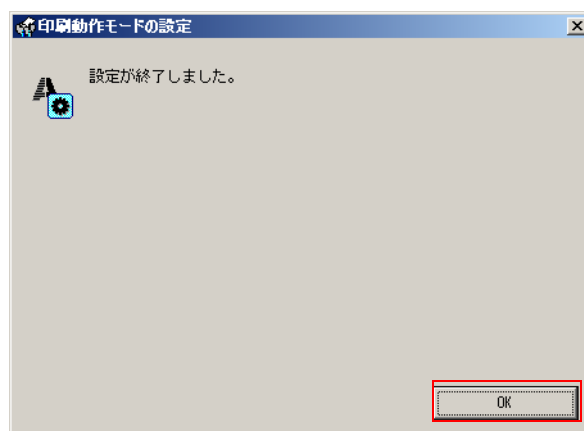
（各モードの詳細は 13 ページ「印刷動作モード」を参照してください）

モードの設定方法

1. プリンターの電源をオンにします。
2. プリンタードライバーを表示します。
   （プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください）
3. [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[印刷動作モードの設定] をクリックします。

4 「印刷動作モードの設定」画面が表示されます。[印刷動作モードの設定] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5 設定モードを選択します。モードを選択後、[次へ] ボタンをクリックします。

6 設定が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

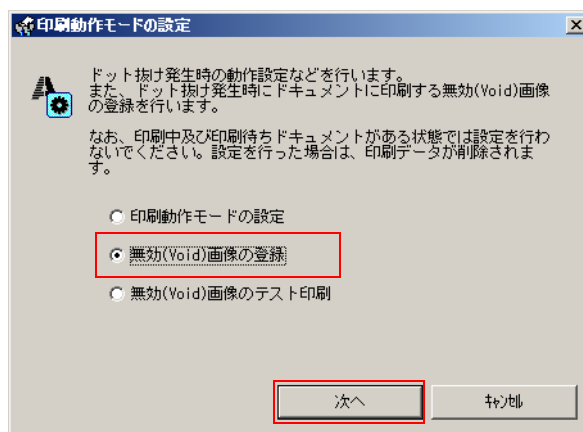
5

無効 (Void) 画像の登録

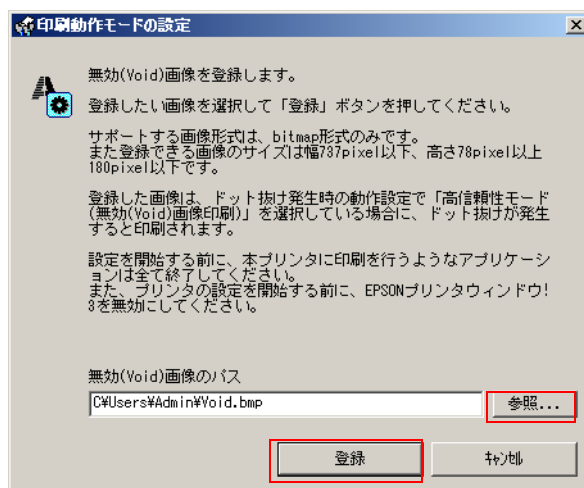
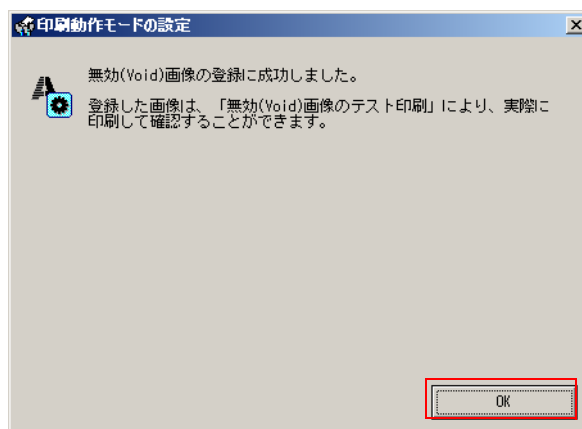
高信頼性モード (無効 (Void) 画像印刷) およびエコノミーモード (無効 (Void) 画像印刷) では、ドット抜けが発生した場合に印刷する画像を指定できます。初期設定では高さ 25.4 mm の黒ベタ印刷です。無効 (Void) 画像の変更できます。

1 プリンターの電源をオンにします。

2 プリンタードライバーを表示します。
(プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください)

3 [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[印刷動作モードの設定] をクリックします。

4 「印刷動作モードの設定」画面が表示されます。[無効 (Void) 画像の登録] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5 [参照] ボタンをクリックし、印刷する画像を選択します。[登録] ボタンをクリックし、印刷する画像を登録します。

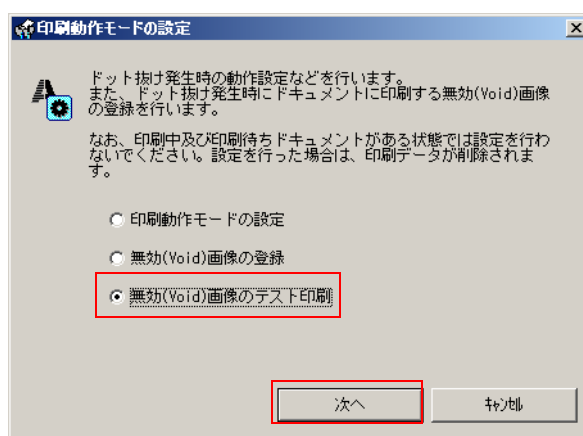
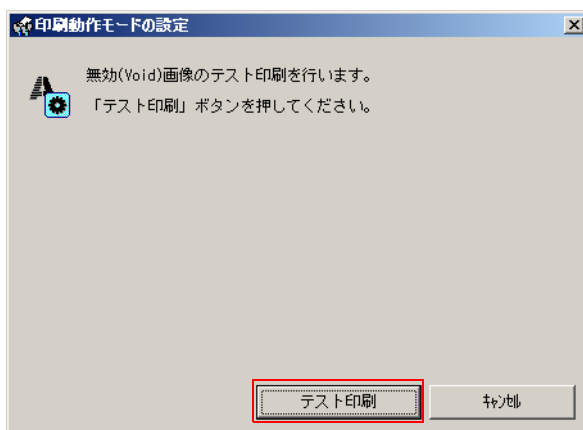
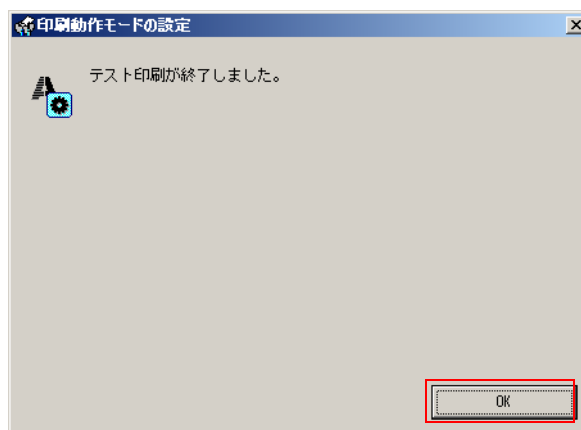
注意	無効 (Void) 画像として登録できるのは、幅 737 pixel、高さ 78 pixel 以上 180 pixel 以下のビット マップ画像です。

6 無効 (Void) 画像の登録が完了します。[OK] ボタンをクリックします。

無効 (Void) 画像のテスト 印刷

高信頼性モード (無効 (Void) 画像印刷) およびエコノミーモード (無効 (Void) 画像印刷) で、ドット抜けが発生した場合に印刷する画像をテスト印刷します。

1 プリンターの電源をオンにします。

2 プリンタードライバーを表示します。
(プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください)

3 [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[印刷動作モードの設定] をクリックします。

4 [無効 (Void) 画像のテスト印刷] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5 [テスト印刷] ボタンをクリックし、テスト印刷を開始します。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、テスト印刷せずに終了します。

6 テスト印刷が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

通知設定

以下の通知設定をします。

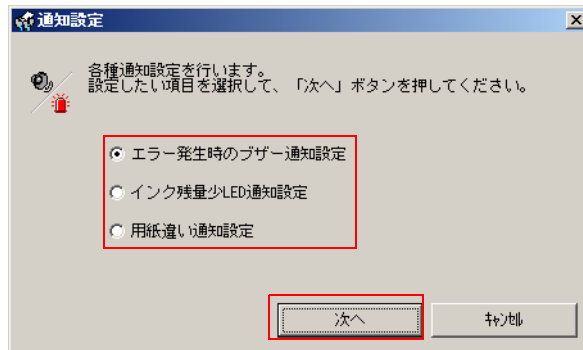
- エラー発生時のブザー通知設定
  エラーが発生したとき、ブザーを鳴らすか / 鳴らさないか設定します。(初期設定は [鳴らす] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません)
- インク残量少 LED 通知設定
  サポートしていません。
- 用紙違い通知設定
  用紙サイズエラーを検出するか設定します。エラーを検出すると、プリンター状態表示ユーティリティーに表示し、EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動している場合、エラー通知します。(初期設定は [エラー通知しない] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません)

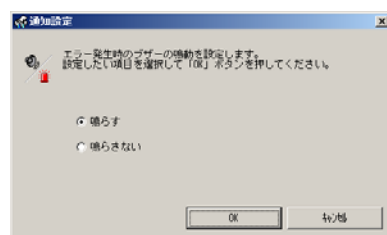
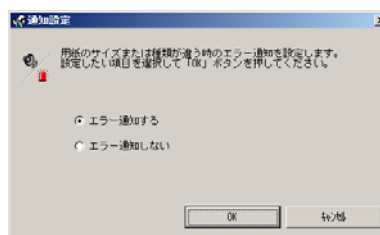
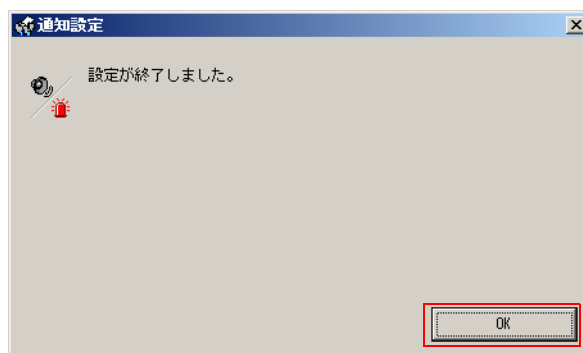
設定方法は以下のとおりです。

1 プリンターの電源をオンにします。

2 プリンタードライバーを表示します。
(プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください)

3 [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[通知設定] をクリックします。

4 「通知設定」画面が表示されます。設定する項目選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5 通知方法を設定し、[OK] ボタンをクリックします。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに画面を終了します。

エラー発生時のブザー通知設定

用紙違い通知設定

6 設定が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

用紙頭出し動作設定

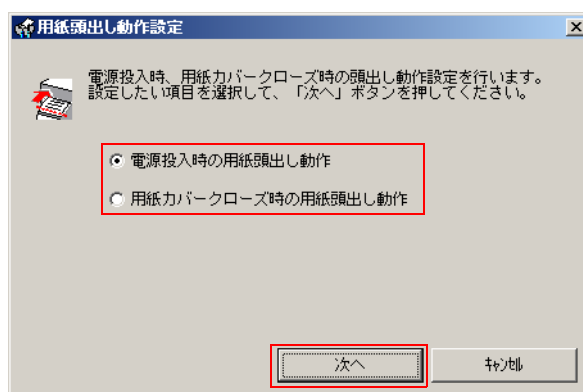
プリンターの電源オン時 / 用紙カバークローズ時の、用紙頭出し動作の設定をします。
プリンターの電源オン時 / 用紙カバークローズ時の、用紙頭出し動作には以下の種類があります。(初期設定は [用紙頭出し動作あり (カットあり)] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません)

設定	内容	電源オン	ロール紙カバー閉
用紙頭出し動作あり (カット あり)	用紙位置検出設定がブラックマーク検出 /ラベル間ギャップ検出の場合、電源投入時にブラックマーク検出器、もしくはラベル検出器により、ブラックマーク上端 /ラベル上端を検出し、頭出しをします。 位置検出なしの場合、一定量の紙送りをします。終了後にオートカットを行い、待機状態になります。	○	○
用紙頭出し動作あり (カット なし)	用紙位置検出設定がブラックマーク検出 /ラベル間ギャップ検出の場合、電源投入時にブラックマーク検出器、もしくはラベル検出器により、ブラックマーク上端 /ラベル上端を検出し、頭出しをします。 位置検出なしの場合、一定量の紙送りをします。終了後にオートカットを行わず、待機状態になります。	○	○
用紙頭出し動作なし	電源オン時に紙送りしません。	○	−

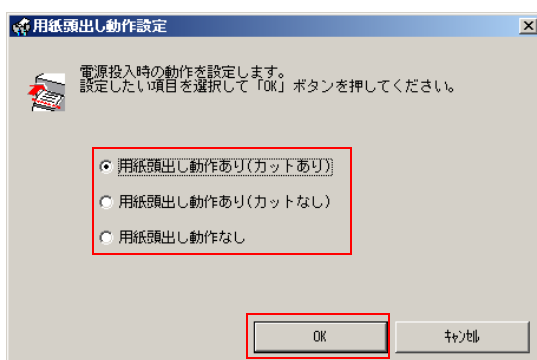
1 プリンターの電源をオンにします。

2 プリンタードライバーを表示します。
(プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください)

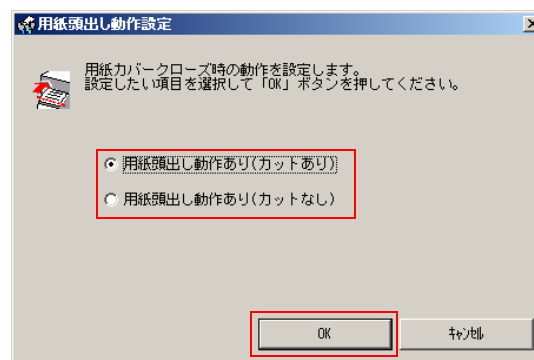
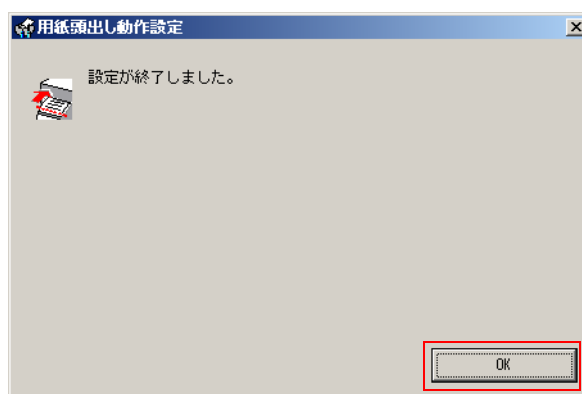
3 [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[用紙頭出し動作設定] をクリックします。

4 「用紙頭出し動作設定」画面が表示されます。設定する項目を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5 用紙頭出し動作設定を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに画面を終了します。

電源投入時の用紙頭出し動作

用紙カバークローズ時の用紙頭出し動作

6 設定が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

5

用紙位置検出

本製品は、以下の 4 種類の用紙位置検出を設定できます。
これはプリンタードライバーの [プリンタユーティリティ] ー [用紙位置検出設定] で設定します。
プリンターの用紙位置検出設定は、セルフテストで確認できます。詳細は 150 ページ「セルフテスト」を参照してください。

- 位置検出しない
  用紙の有無のみを検出します。用紙に対する位置合わせは行いません。

- ダイカットラベルのブラックマークを検出する
  ブラックマークダイカットラベルを使用する場合、ブラックマーク上端位置に対して、印刷位置、オートカット位置合わせを行います。

- 連続紙のブラックマークを検出する
  ブラックマークレシートを使用する場合、ブラックマーク上端位置に対して、印刷位置、オートカット位置合わせを行います。

- ラベル間ギャップを検出する
  ダイカットラベルを使用する場合に、ラベル上端位置に対して、印刷位置、オートカット位置合わせを行います。

注意 プリンターの設定と用紙の種類が適合しないと印刷ができず、用紙エラーが発生します。以下の表に合わせて設定してください。

<table>
<tr><th colspan="2">お客様が使用する用紙</th><th>位置検出しない</th><th>ダイカットラベルのブラックマークを検出する</th><th>連続紙のブラックマークを検出する</th><th>ラベル間ギャップを検出する</th></tr>
<tr><td rowspan="6">ロール紙</td><td>レシート</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>全面ラベル</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ダイカットラベル</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ブラックマーク
レシート</td><td>－</td><td>－</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ブラックマーク
ダイカットラベル</td><td>－</td><td>○</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>リストバンド</td><td>－</td><td>－</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ファンフォールド紙</td><td>ブラックマーク
レシート</td><td>－</td><td>－</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ブラックマーク
ダイカットラベル</td><td>－</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td></tr>
</table>

○：使用できます、ー：使用できません

パネルボタンの設定

本製品のパネルボタンの有効 / 無効を設定します。

パネルボタン	プリンターの動作	パネルボタン操作時の動作	設定
紙送りボタン	非印刷時	紙送り	有効 / 無効
	印刷中	印刷中のマニュアルヘッドクリーニング	有効 / 無効
カットボタン	-	用紙のカット	有効 / 無効

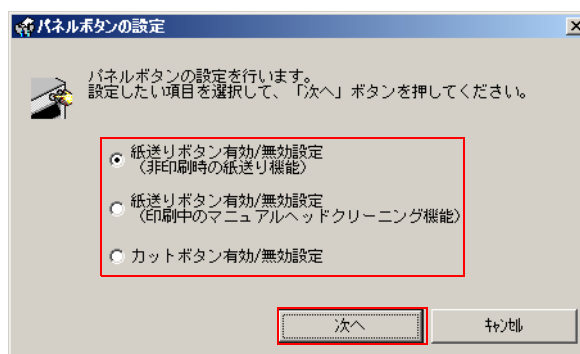
設定方法は以下のとおりです。

1 プリンターの電源をオンにします。

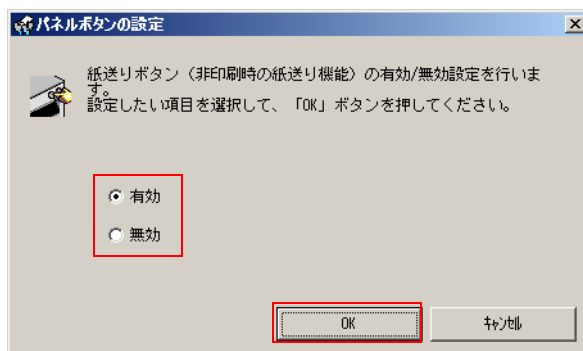
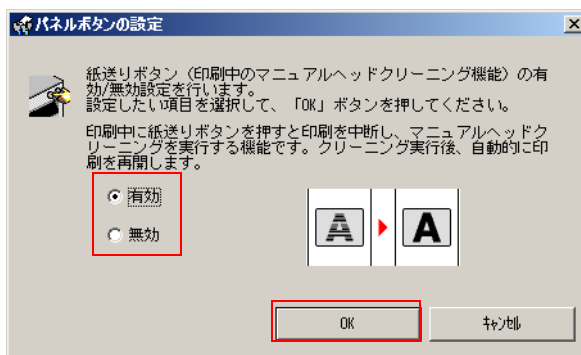
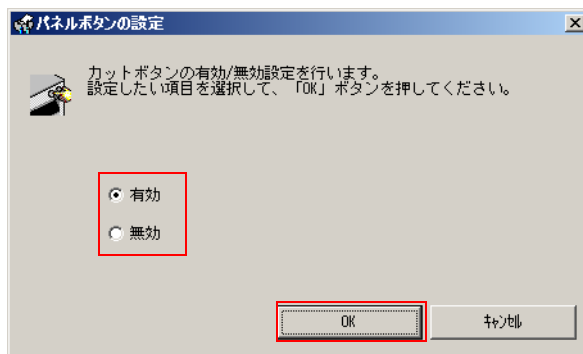
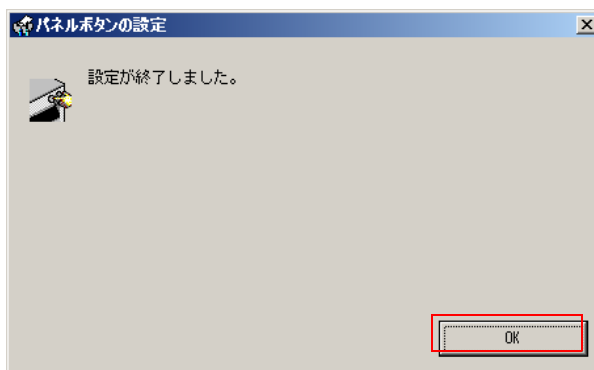
2 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください）

3 [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[パネルボタンの設定] をクリックします。

4 「パネルボタンの設定」画面が表示されます。設定する項目選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5

5 パネルボタンの有効 / 無効を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに画面を終了します。

非印刷時の紙送り設定

印刷中のマニュアルヘッドクリーニング設定

カットボタンの設定

6 設定が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

センサー調整

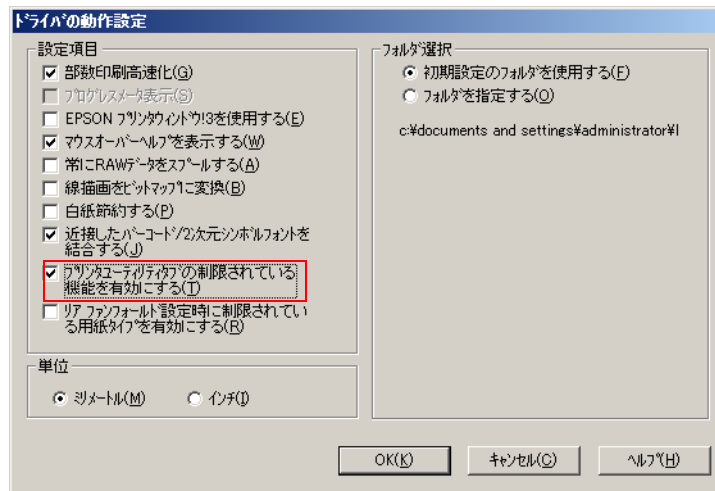
使用する用紙の、ラベル間ギャップやブラックマークセンサーを検出できないときに、センサーの閾値を調整することができます。設定方法は以下のとおりです。

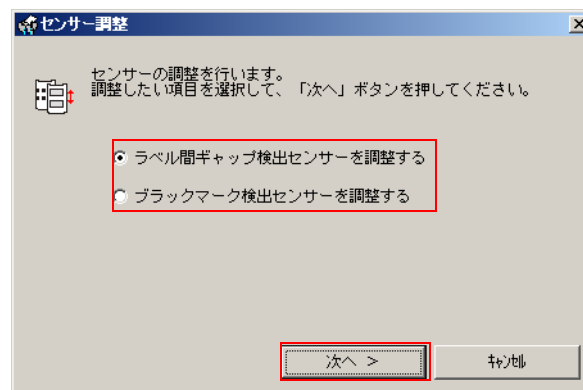
1. 設定する用紙を、プリンターにセットします。

2. プリンターの電源をオンにします。

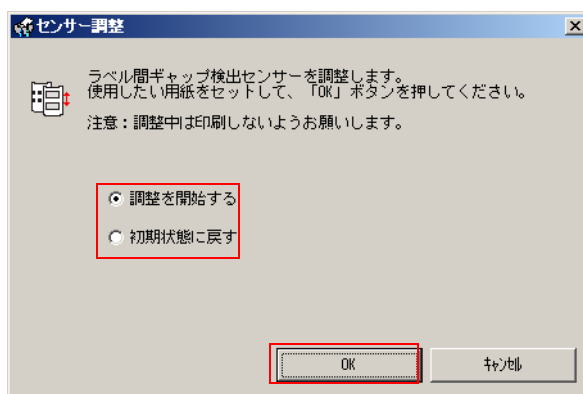
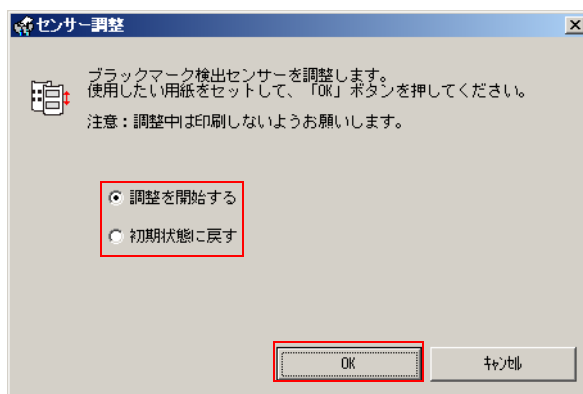
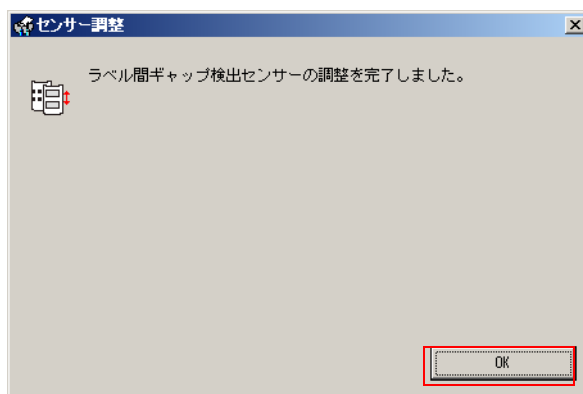
3. プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください）

4. [ドライバユーティリティ] タブを選択し、[ドライバの動作設定] をクリックします。

5. 「ドライバの動作設定」画面が表示されます。[プリンターユーティリティタブの制限されている機能を有効にする] にチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

6. [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[センサー調整] をクリックします。

7. 「センサー調整」画面が表示されます。調整するセンサーを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

8 [調整を開始する]/[初期状態に戻す] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

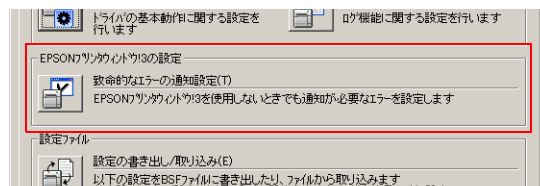
[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに画面を終了します。

ラベル間ギャップ検出センサーの調整

ブラックマーク検出センサーの調整

9 調整が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

EPSON プリンタウィンドウ!3 の設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用すると、印刷したときに用紙種類やインク残量をポップアップウィンドウで表示します。また、致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示します。

初期設定では「使用しない」に設定されています。それでも致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示させることができます。

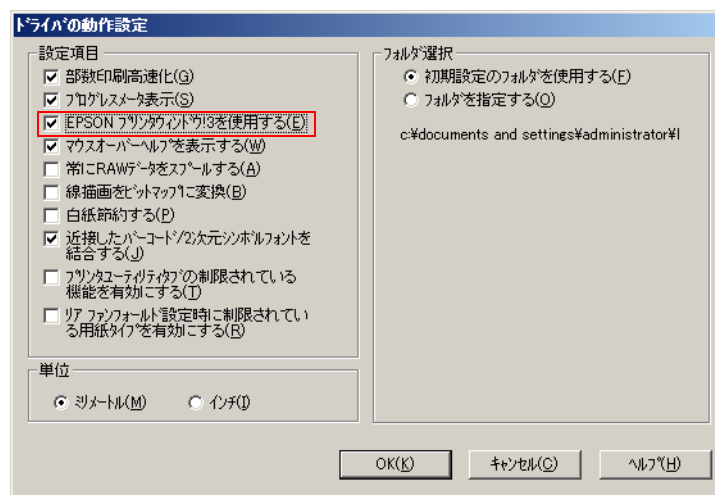
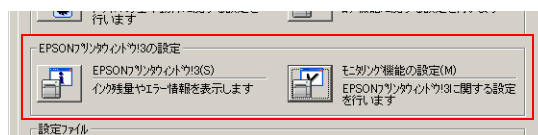
EPSON プリンタウィンドウ!3 を使用する / 使用しない

初期設定では、「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない」になっています。この場合、ドライバユーティリティの EPSON プリンタウィンドウの設定には、「致命的なエラーの通知設定」が表示されています。

「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」にする方法は以下のとおりです。

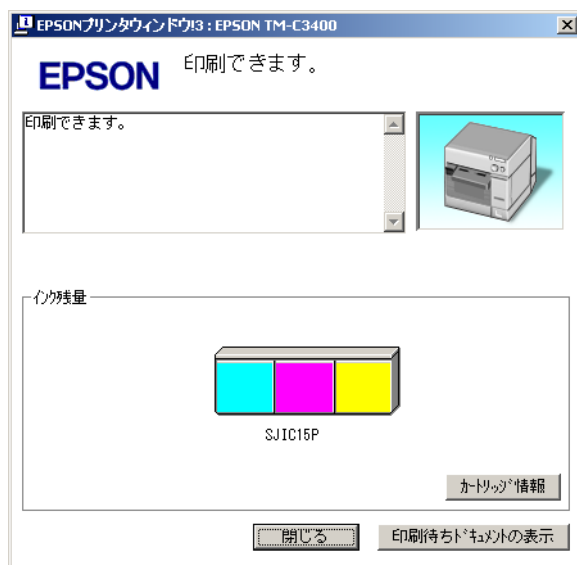
1 プリンターの電源をオンにします。

2 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください）

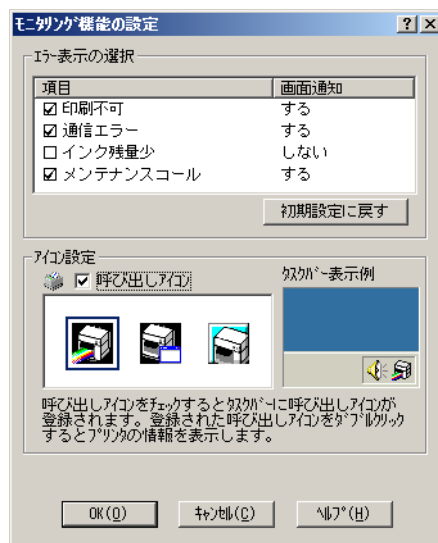
3 [ドライバユーティリティ] タブを選択し、[ドライバの動作設定] をクリックします。

4 「ドライバの動作設定」画面が表示されます。[EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] にチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

5 ドライバユーティリティ画面の「EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定」には、「EPSON プリンタウィンドウ !3」と「モニタリング機能の設定」が表示されます。

EPSON プリンタウィンドウ!3 を使用する

「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」に設定すると以下の動作をします。

- 印刷時に自動的に画面が表示され、プリンターの状態やインク残量を確認することができます。
- 印刷中のプリンターにエラーが発生すると、エラー内容が表示されます。
  印刷していないときは、プリンターがエラーになっても、EPSON プリンタウィンドウ !3 は起動しません。
- タスクトレイの「EPSON プリンタウィンドウ !3」のアイコンをクリックすると、いつでも「EPSON プリンタウィンドウ !3」を表示させることができます。
  （アイコンの表示方法は、107 ページ「アイコンの表示」を参照してください）

EPSON プリンタウィンドウ !3 表示画面

タスクトレイのアイコン

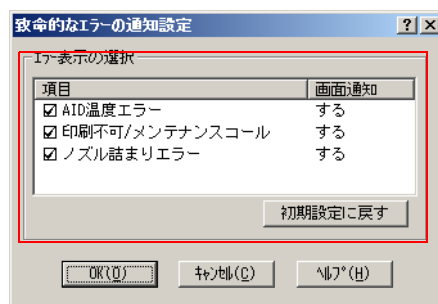
- 「モニタリング機能の設定」では、以下の設定ができます。
  エラー表示の選択
  （105 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合のエラー通知設定」を参照してください）
  「EPSON プリンタウィンドウ !3」アイコンを、タスクバーに表示させる。
  （107 ページ「アイコンの表示」を参照してください）

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合のエラー通知設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合の、エラー通知方法は以下のとおりです。

1 プリンターの電源をオンにします。

2 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください）

3 [ドライバユーティリティ]タブを選択し、[致命的なエラーの通知設定]をクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ !3 が有効の場合、[致命的なエラーの通知設定] は表示されません。（103 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない」を参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 を無効にしてください。）

4 「致命的なエラーの通知設定」画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

- AID 温度エラー：　AID 温度上昇時（初期設定：画面通知 [する]）
- 印刷不可 / メンテナンスコール：　印刷不可やメンテナンスコール発生時（初期設定：画面通知 [する]）
- ノズル詰まりエラー：　ノズルが詰まり時（初期設定：画面通知 [する]）

5

EPSON プリンタウィンドウ!3 を使用する場合のエラー通知設定

EPSON プリンタウィンドウ!3 を使用する場合の、エラー通知方法は以下のとおりです。

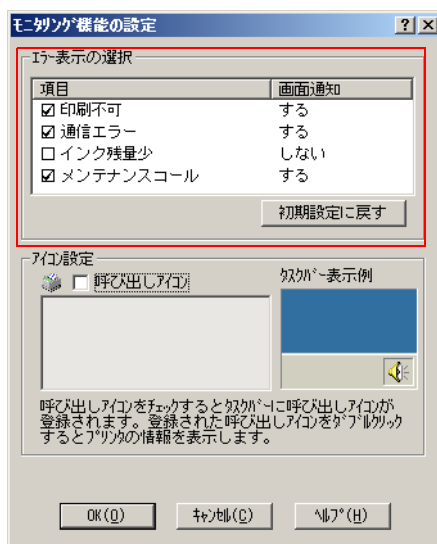
1 プリンターの電源をオンにします。

2 プリンタードライバーを表示します。

（プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください）

3 [ドライバユーティリティ] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ!3 が無効の場合、[モニタリング機能の設定] は表示されません。（103 ページ「EPSON プリンタウィンドウ!3 を使用する / 使用しない」を参照して、EPSON プリンタウィンドウ!3 を有効にしてください。）

4 「モニタリング機能の設定」画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

- 印刷不可：　用紙 / インク交換発生時（初期設定：画面通知 [する]）
- 通信エラー：　プリンターの電源オフ時（初期設定：画面通知 [しない]）
- インク残量少：　インク残量少時（初期設定：画面通知 [しない]）
- メンテナンスコール：　プリンターエラー発生時（初期設定：画面通知 [する]）

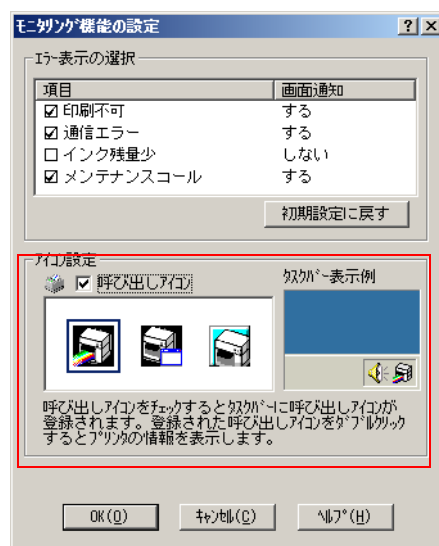
アイコンの表示

タスクトレイにアイコンを常駐させ、プリンターの状態をすぐに確認することができます。初期設定ではアイコンを表示しません。アイコンの表示方法は以下のとおりです。

1 プリンターの電源をオンにします。

2 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください）

3 [ドライバユーティリティ] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。

4 「モニタリング機能の設定」画面が表示されます。[呼び出しアイコン] をチェックし、タスクバーに表示するアイコンの種類を選択します。[OK] ボタンをクリックします。

印刷後用紙動作設定

本製品は、以下の印刷後用紙動作を設定できます。
これはプリンタードライバーの [基本設定] − [印刷後用紙動作設定] で設定します。

- オートカットする：ページ毎 / 最終ページのみ / 指定ページ毎
  印刷終了後にオートカットが可能な位置まで紙送りを行い、オートカット後に停止します。
  次の印刷開始時には、逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷動作を開始します。
- オートカットしない
  - ＊ 印刷終了位置で停止
    印刷終了後に紙送りをしないで停止しますが、1 秒以上プリンターが次の印刷データを受信しない場合、オートカットが可能な位置まで紙送りを行い停止します。オートカットは行いません。この場合、お客様がカットボタンを押して、用紙カットします。次の印刷開始時には、逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷動作を開始します。オートカットしない場合、この設定を推奨します。
    「カット位置まで移動」との違いは、複数の印刷物を連続して印刷する場合に、印刷終了までの時間が短くなります。「カット位置まで移動」は、連続して印刷データが送られている場合でも、各ジョブが終了するごとにカット位置まで移動し、また印刷開始位置まで逆戻りするため、印刷開始時間が遅くなります。
  - ＊ カット位置まで移動
    印刷終了後にオートカットが可能な位置まで紙送りを行い停止しますが、オートカットは行いません。
    この場合、お客様がカットボタンを押すことにより、用紙カットを行います。次の印刷開始時には、逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷動作を開始します。
  - ＊ ハクリ位置まで移動
    ダイカットラベル専用の設定です。印刷終了後にダイカットラベルがハクリ可能な位置まで紙送りを行い、停止します。
    この場合、お客様がカットボタンを押すことにより、用紙カットを行います。次の印刷開始時には、逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷動作を開始します。

用紙と用紙カットの方法による、「印刷後動作設定」の設定

用紙の種類と、お客様がどのように用紙カットをするかによって、「印刷後動作設定」を設定します。

お客様が使用する用紙		プリンタードライバーの設定	プリンターの動作			
		用紙カットの方法 印刷後動作設定	オートカットする	オートカットしない		
				印刷終了位置で停止	カット位置まで移動	ハクリ位置まで移動
ロール紙	レシート	プリンターがカット	○	－	－	－
	全面ラベル	プリンターがカット	○	－	－	－
	ダイカットラベル	プリンターがカット	○	－	－	－
		お客様がラベルをハクリ 台紙はカットしない	－	－	－	○
		お客様が[カットボタン]で 台紙をカット	－	○	○	－
	ブラックマーク レシート	プリンターがカット	○	－	－	－
	ブラックマーク ダイカットラベル	プリンターがカット	○	－	－	－
		お客様がラベルをハクリ 台紙はカットしない	－	－	－	○
		お客様が[カットボタン]で 台紙をカット	－	○	○	－
	リストバンド	プリンターがカット	○	－	－	－
ファンフォールド紙	ブラックマーク レシート	プリンターがカット	○	－	－	－
	ブラックマーク ダイカットラベル	プリンターがカット	○	－	－	－
		お客様がラベルをハクリ 台紙はカットしない	－	－	－	○
		お客様が[カットボタン]で 台紙をカット	－	○	○	－
		お客様が、紙のミシン目を手でカット	－	－	－	○

○：使用できます

ー：使用できません

リスト バンドを使用する場合の設定

リストバンド (WB-S1/WB-M1/WB-L1) を使用する場合、プリンタードライバーで以下を設定します。

- [用紙位置検出設定]
  これはプリンタードライバーの [プリンタユーティリティ] ー [用紙位置検出設定] で設定します。
  詳細は、145 ページ「用紙位置検出の設定」を参照してください。
- [用紙種類] と [用紙レイアウト]
  これはプリンタードライバーの [基本設定] で設定します。リストバンドの種類によって設定が異なります。
  以下を参照してください。

リスト バンドの種類	プリンタードライバーの設定 ([基本設定] タブ)	
	用紙種類	用紙レイアウト
WB-S1	ﾘｽﾄﾊﾞﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ 2	36 x 183.6mm - ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸﾚｼｰﾄ
WB-M1	ﾘｽﾄﾊﾞﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ 2	36 x 291.6mm - ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸﾚｼｰﾄ
WB-L1	ﾘｽﾄﾊﾞﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ 2	36 x 291.6mm - ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸﾚｼｰﾄ

アプリケーション開発情報

概要

本製品を使用するために以下のものを提供しています。

❏ Windows の専用プリンタードライバーを用意しています。(112 ページ参照)
プリンタードライバーには、再印刷機能を実装しています。エラー (紙なし、紙ジャム、インクドット抜けなど) が発生した場合でも、プリンタードライバーが自動的に再印刷を行うので、アプリケーションに再印刷機能を実装する必要がありません。
(プリンタードライバーの使い方の詳細は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」を参照してください)

❏ 各種ユーティリティーとユーザーズマニュアルを用意しています。(113 ページ参照)

❏ 本製品、およびプリンタードライバーを設定する API を用意しています。(117 ページ参照)

❏ TM-C3400 専用サンプルプログラムを用意しています。(123 ページ参照)
アプリケーション開発の参考にご利用ください。

注意　本製品は、弊社が提供する APD、OPOS/OPOS for .NET を使用できません。

プリンタードライバー

プリンタードライバーでは以下の機能を実装しています。アプリケーションに実装する必要はありません。

❏ バーコードフォント /2 次元シンボルフォントを実装しています。また .NET 環境の場合でも、実装されているフォント置き換え機能を使ってバーコードフォント /2 次元シンボルフォントを印刷できます。
この機能を使うには、事前にプリンタードライバーでバーコードフォント /2 次元シンボルフォントを設定する必要があります。（設定方法の詳細は、62 ページ「バーコード印刷」、73 ページ「2 次元シンボル印刷」を参照してください。）
.NET 環境の場合、フォント置き換え機能でバーコードフォント /2 次元シンボルフォントに置き換える TrueType フォントを指定します。アプリケーションからは、置き換えた TrueType フォントを指定することで、バーコード /2 次元シンボルを印刷できます。（フォント置き換え機能の詳細は、80 ページ「.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷」を参照してください。）

❏ 再印刷機能を実装しています。
印刷中にエラーが発生した場合でも、エラー発生したページから自動的に再印刷します。
再印刷する条件があります。詳細は88 ページ「印刷動作モードの設定」を参照してください。

ユーティリティーとマニュアル

本製品には、プリンタードライバーのほかに、各種ユーティリティーおよびマニュアルが用意されています。

名称	パッケージファイル名	マニュアル
プリンタードライバー	c34d32_xxxx.exe	TM-C3400-LT 詳細取扱説明書
プリンター状態表示	-	TM-C3400-LT 詳細取扱説明書
Printer Setting	c34ps_xx.exe	TM-C3400 Printer Setting ユーザーズマニュアル
サンプルプログラム	c34smp_xxj.exe c34smp_xxj.msi	使い方は、サンプルプログラムのメニューページを参照してください。

プリンター状態表示

本製品の状態を確認するユーティリティーです。詳細は、49 ページ「プリンター状態表示」を参照してください。

EPSON プリンタウィンドウ!3

プリンタードライバーをインストールすると、同時にインストールされます。プリンタードライバー上で有効にすると、画面上でインク残量やプリンターの状態を確認することができます。

Printer Setting

プリンターの設定を一括で管理できます。

本ユーティリティーを使用するには、プリンタードライバーがインストールされている必要があります。

- 変更できるプリンタードライバーの設定は、プリンターの内部メモリに保存されるものだけです。コンピューターに保存される設定は変更できません。設定できる項目は 114 ページ「プリンタードライバー / ユーティリティー」を参照してください。
- 詳細は、「TM-C3400 Printer Setting ユーザーズマニュアル」を参照してください。

サンプルプログラム

本製品を使って印刷するためのサンプルプログラム集です。

（全プログラムを VB.NET、C++ で用意。一部のプログラムは VB 6.0、C# でも用意されています）

サンプルプログラムは、初期状態でインストールされています。

[スタート]-[すべてのプログラム]-[EPSON]-[EPSON TM-C3400 Sample Program] から使用できます。

ダウンロード

各種ソフトウェアとマニュアルは、弊社ホームページからダウンロードできます。

http://www.epson.jp/support/sd/

プリンタードライバー / ユーティリティー

機能一覧

	プリンタードライバー				
	ドライバユーティリティ	プリンタユーティリティ	EPSON プリンタウィンドウ!3	プリンター状態表示	Printer Setting
設定					
プリンタードライバーの設定	○	×	×	×	×
プリンターの設定 （詳細は、115 ページ「プリンター本体の設定」参照）	×	○	×	×	○
取得					
プリンター設定の参照 / 変更 （詳細は、115 ページ「プリンター本体の設定」参照）	×	×	×	×	○
プリンターステータス・エラー情報の表示 （詳細は、116 ページ「プリンターステータス取得」参照）	×	×	○	○	×

プリンター本体の設定

設定	項目	ドライバー プリンタユーティリティー		Printer Setting	
		設定	取得	設定	取得
ギャップ調整	紙送り調整	○	×	×	×
	双方向印刷調整	○	×	×	×
印刷基準位置調整	打ち出し位置調整 (ロール紙 / ファンフォールド紙)	○	×	×	×
	印刷基準位置(ラベル間ギャップ / ブラックマーク / オート)	○	×	×	×
紙送り量調整	オート位置調整	○	×	○	○
	印刷位置調整	○	×	○	○
用紙頭出し動作設定	電源オン時頭出しモード	○	×	○	○
	ロール紙カバークローズ時頭出しモード	○	×	○	○
通知設定	ブザー有効無効設定	○	×	○	○
	用紙サイズエラー通知設定	○	×	○	○
紙送りボタン（非印刷時の紙送り機能）	紙送りボタン有効 / 無効設定	○	×	○	○
紙送りボタン（印刷中のマニュアルヘッドクリーニング機能）	紙送りボタン有効 / 無効設定	○	×	×	×
カットボタン	カットボタン有効 / 無効設定	○	×	○	○
印刷動作モードの設定	ドット抜け発生時の動作設定	○	×	○	○
	無効 (Void) 画像登録	○	×	○	○
	無効 (Void) 画像登録名の取得表示	○	×	○	○
	無効 (Void) 画像のテスト印刷	○	-	×	×
USB シリアルナンバーの設定	USB シリアルナンバー	×	×	○	○
センサー調整	ラベル間ギャップ検出センサーの調整	○	×	×	×
	ブラックマーク検出センサーの調整	○	×	×	×

プリンターステータス取得

		EPSON プリンタウィンドウ!3	プリンター状態表示
インク情報	インク色	○	○
	インク残量	○	○
エラー	通信エラー	×	○
	オート エラー	×	○
	フェータ ルエラー	×	○
	カバーオープン	×	○
	紙ジャ ムエラー	×	○
	インク交換時期	×	○
	用紙なし	×	○
	用紙サイズエラー	×	○
	廃インク オーバーフロー	×	○
	用紙認識エラー	×	○
	インクカバーオープン	×	○
	インク交換が必要	×	○
セ ルフ印字中	テスト 印刷	×	○
	無効 (Void) 画像印刷	×	○
プリ ンターの状態	ビジー	×	○
	ウェ イト	×	○
	アイド ル	×	○
ワーニング	インク交換時期	×	○
	メ ンテ ナンス時期が近い	×	○
	廃インク オーバーフローが近い	×	○
クリ ーニング状態		×	○
工場出荷状態		×	○
シャット ダウン中状態		×	○

TM-C3400-LT の API

本製品を使ったアプリケーションを開発していただくために、以下の API が提供されています。

名称	マニュアル
TM-C3400-LT ライブラリー	• TM-C3400 詳細取扱説明書 • ツール& ライブラリ リファレンス for TM-C3400-LT
EPDI for TM-C3400	EPDI for TM-C3400 リファレンスマニュアル

TM-C3400-LT ライブラリー

本製品を制御する API です。以下の制御ができます。

- プリンターの電源のオン / オフ
- タッチパネルの輝度調整
- 給紙方法の設定

詳細は、118 ページ「TM-C3400-LT ライブラリーリファレンス」を参照してください。

TM-C3400-LT ライブラリーは、初期状態でインストールされています。
< ライブラリーファイルの保存先 >
C:¥Program Files¥EPSON¥TM-C3400-LT TOOL¥TMC34LT_UTILLIB.dll

EPDI（EPSON Printer Driver Interface）for TM-C3400

プリンタードライバーを設定する API です。

弊社ホームページ（113 ページ）からダウンロードしてお使いください。

注意

以下の設定はプリンタードライバーで行ってください。EPDI for TM-C3400 ではできません。
* ドライバユーティリティ
* プリンタユーティリティ（ただし、[用紙位置検出設定] は可能）

6

TM-C3400-LT ライブラリーリファレンス

ここでは、TM-C3400-LT ライブラリーで提供している API について説明します。

TMC34LT_PrinterPowerOn

プリンターの電源をオンにします。

構文

```
int TMC34LT_PrinterPowerOn()
```

戻り値

戻り値	説明
0	成功
0 以外	エラー（OS のエラーコードが返ります。）

TMC34LT_PrinterPowerOff

プリンターの電源をオフにします。

プリンターがクリーニング中などの場合、戻り値は即座に戻りますが、電源はクリーニングなどの作業が完了した後切れます。

構文

```
int TMC34LT_PrinterPowerOff()
```

戻り値

戻り値	説明
0	成功
0 以外	エラー（OS のエラーコードが返ります。）

TMC34LT_SetBrightness

タッチパネルの輝度を設定します。

> **参考**　本 API は、本製品が稼動中のみ有効です。電源オン時にはリセットされます。

構文

```
int TMC34LT_SetBrightness(int nBrightness)
```

引数

nBrightness：　輝度値を指定します。0 ～ 255 までの値が指定できます。
0 が最も暗く、255 が最も明るくなります。

戻り値

戻り値	説明
0	成功
-1	パラメーターエラーです。適切な値を指定して再度実行してください。
上記以外	エラー（OS のエラーコードが返ります。）

6

TMC34LT_SetPrinterBin

給紙方法を設定します。

> **注意**
> 給紙方法の変更は、用紙無しの状態でロール紙カバーが閉じられ、プリンターがアイドル状態の時のみ成功します。

構文

```
int TMC34LT_SetPrinterBin(long nBin, PTSTR pMessageBuf)
```

引数

nBin： 給紙方法を指定します。

設定値	給紙方法
0	ロール紙
1	リアファンフォールド紙

pMessageBuf： エラーメッセージ格納領域を指定します。
戻り値が0以上の場合、エラーメッセージがUicodeで格納されます。

戻り値

戻り値	説明
0	成功
0以下	エラー
1	プリンター内部の部品調整が必要です。 お買い上げの販売店、またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
2	回復できないプリントヘッドのノズル詰まりを検出しました。 電源をオフにしてください。 次回の電源オン以降、印刷することはできますが、印刷結果に影響が現れる可能性があります。できるだけ速やかにお買い上げの販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
3	
5	プリンターでエラーが発生しました。(xx) 電源をオフにしてください。 その後、プリンター内部に輸送用の保護具などの異物が残っている場合は取り除き、電源を入れ直してください。 ※xxにはフェータルエラーコードが設定されます。
8	低温エラーが発生しました。 使用環境の温度が低すぎます。 温度を0℃以上40℃以下にし、電源を入れ直してください。カバーが開いています。 ロール紙カバーを閉じてください。
9	高温エラーが発生しました。 使用環境の温度が高すぎます。 温度を0℃以上40℃以下にし、電源を入れ直してください。

戻り値	説明
10	ロール紙カバーが開いています。 ロール紙カバーを閉じてください。
11	インクカートリッジカバーが開いています。 インクカートリッジカバーを閉じてください。 インクカートリッジを交換する場合は、インクカートリッジ背面に記載の交換手順に従ってください。
12	用紙が詰まりました。 ロール紙カバーを開け、詰まった用紙を取り除いたのち、ロール紙カバーを閉じてください。
13	用紙が詰まりました。 ロール紙カバーを開け、詰まった用紙を取り除いてください。 ロール紙カバーを閉じてから、ファンフォールド紙を入れ直してください。
15	インクカートリッジを交換してください。 純正品のご使用をお勧めします。
16	インクカートリッジが交換時期となったか、正しく認識できません。 インクカートリッジを交換してください。 純正品のご使用をお勧めします。
17	用紙を取り除く前に新しい用紙が入れられました。 新しく入れた用紙を一旦取り除いてください。 その後、本体内部に残っている用紙を取り除いてから、再度、新しい用紙を入れてください。
20	用紙を正しく認識できませんでした。 プリンターが対応しているラベル種類を確認し、正しい用紙を入れてください。
21	用紙サイズが合っていません。 印刷するラベルに合ったサイズの用紙を入れてください。
22	給紙方法が正しく保存されていません。 再度、給紙方法を設定し直してください。
101	用紙が入っているため、給紙方法の変更ができませんでした。 用紙を取り除いてください。
102	クリーニング中などのため、給紙方法の変更ができませんでした。 しばらくして、再度お試しください。

TMC34LT_GetPrinterBin

給紙方法を取得します。

構文

```
int TMC34LT_SetPrinterBin(long *nBin)
```

引数

long *nBin： 給紙方法を取得します。

取得値	給紙方法
0	ロール紙
1	リアファンフォールド紙

戻り値

戻り値	説明
0	成功
0 以外	エラー

サンプルプログラム

本製品を使ったアプリケーションの開発に、TM-C3400 サンプルプログラムを参照してください。

> **参考**
> サンプルプログラムは、初期状態でインストールされています。
> [スタート]-[すべてのプログラム]-[EPSON]-[EPSON TM-C3400 Sample Program] から使用できます。

❏ TM-C3400 サンプルプログラム使用条件
- ダイカットラベル (108 x 174.8 mm) を使用してください。
- プリンタードライバーの [用紙位置検出設定] を [ラベル間ギャップを検出する] に設定してください。
- TM-C3400 用サンプルプログラムは、C++、C#、VB.NET の言語で用意しています。
- 他のプリンターでは使用できません。

❏ TM-C3400 サンプルプログラムの構成
TM-C3400 サンプルプログラムの構成と開発言語は以下を参照してください。

レベル	プログラム名	サポート	説明
基本	Step1. 簡単な文字を印刷	○	初歩的な印刷プログラムです。 (言語 : C++, VB.NET)
	Step2. バーコードを印刷	○	事前にバーコードフォントを設定し、それを活用した印刷プログラムです。 (言語 : C++, VB.NET)
	Step3. ビットマップデータを印刷	○	ビットマップデータを含んだ印刷プログラムです。 (言語 : C++, C#, VB.NET)
	Step4. アプリケーションからプリンターのステータスを確認する	-	TM-C3400-LT では対応していません。
	Step5. プリンターからステータスをアプリケーションに通知	-	TM-C3400-LT では対応していません。
	基本完成	-	TM-C3400-LT では対応していません。
応用	プリンター状態の監視と印刷ジョブのコントロール	-	TM-C3400-LT では対応していません。
	Devmode を使用した、印刷設定の変更	-	TM-C3400-LT では対応していません。
	プリンターの各種情報取得	-	TM-C3400-LT では対応していません。
	印刷完了の取得	-	TM-C3400-LT では対応していません。

開発するアプリケーションの仕様

ここでは、本製品の印刷アプリケーションの開発に必要な仕様を説明しています。

印刷する文字の大きさ

ドット抜けやインク滴による文字の判別間違いを防ぐため、お客様のアプリケーションで使用できるフォントを、縦2ドット構成以上のフォント(例:Arial の場合、8 pt 以上)にしてください。

バーコード / 2 次元シンボルデータをグラフィックデータで印刷

お客様のアプリケーションでバーコード /2 次元シンボルデータをグラフィックデータで生成する場合、以下の入力解像度で用意してください。

用紙	印刷品質	入力解像度 (dpi) (横 x 縦)	画像解像度 (dpi) (横 x 縦)
普通紙 普通紙ラベル	速い	180 x 180	360 x 180
	きれい	360 x 360	360 x 360
ファイン紙 PET フィルム 合成紙ラベル	速い	360 x 360	360 x 360
	きれい	360 x 360	720 x 360

2 次元シンボルが紙送りをまたぐかまたがないかは、印刷プレビュー機能の [紙送り位置表示] - [印刷プレビューに表示する] で確認できます。印刷プレビュー機能については、83 ページ「印刷プレビュー」を参照してください。

きわめて高い信頼性、安全性が要求される場合

以下の機能を推奨します。

- プリンタードライバーの自動ノズルチェックシステムでドット抜けを検出する。(88 ページ「印刷動作モードの設定」)
- アプリケーション側でドット抜け検出パターンを作成し、目視によって検出する。
- バーコードは、アプリケーション側でチェックデジット付きバーコードを生成する。

メンテナンス

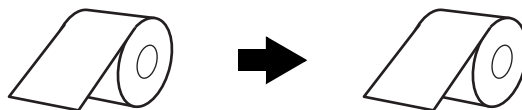
用紙の交換

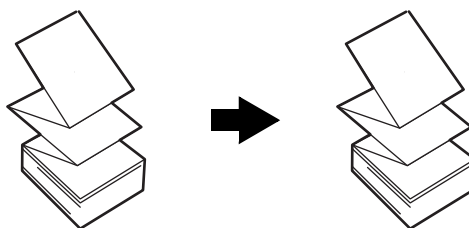
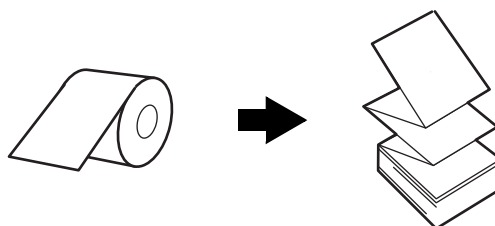
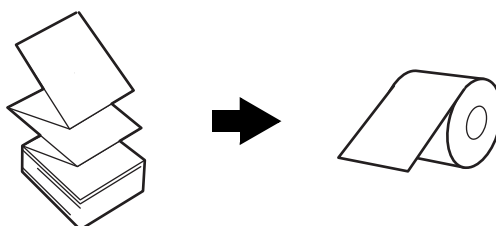
ここでは、用紙の交換方法を説明します。

用紙の交換方法は、次のように、交換前後の用紙の形状（ロール紙 / ファンフォールド紙）によって異なります。

> **注意** 種類や形状の異なる用紙に変更するときは、必ずプリンターの設定も変更してください。設定の変更方法は、145 ページ「用紙位置検出の設定」を参照してください。

■ロール紙からロール紙に交換する(126 ページ参照)

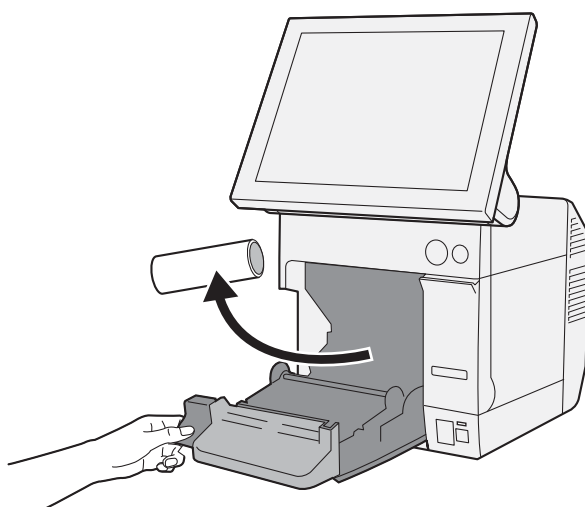
- 違う種類（ラベル、サイズなど）のロール紙に交換するとき　など

■ファンフォールド紙からファンフォールド紙に交換する(130 ページ参照)

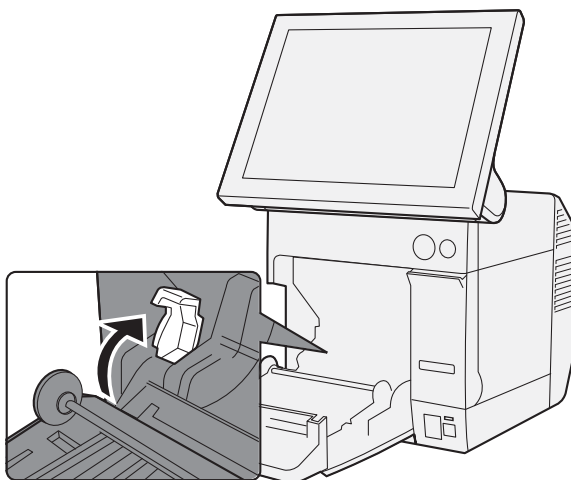
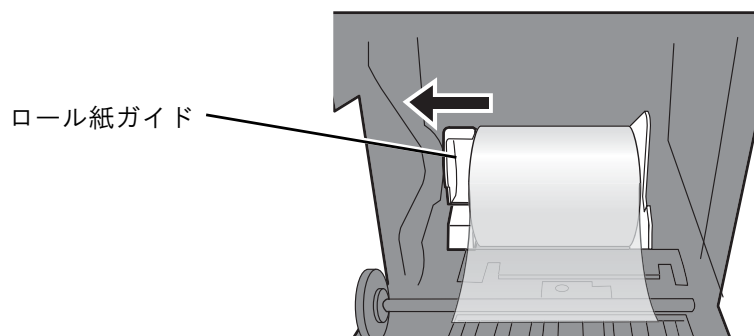
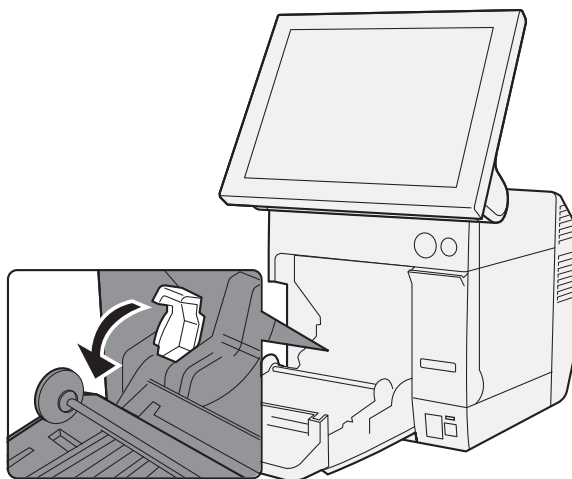
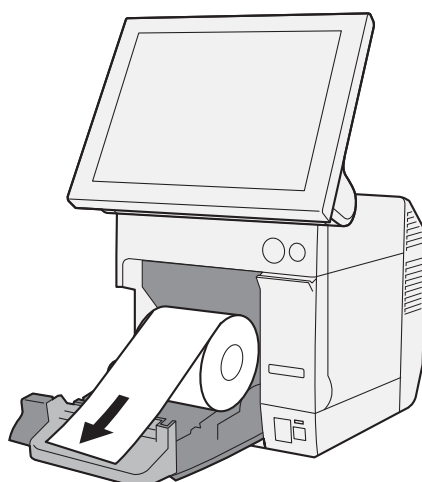
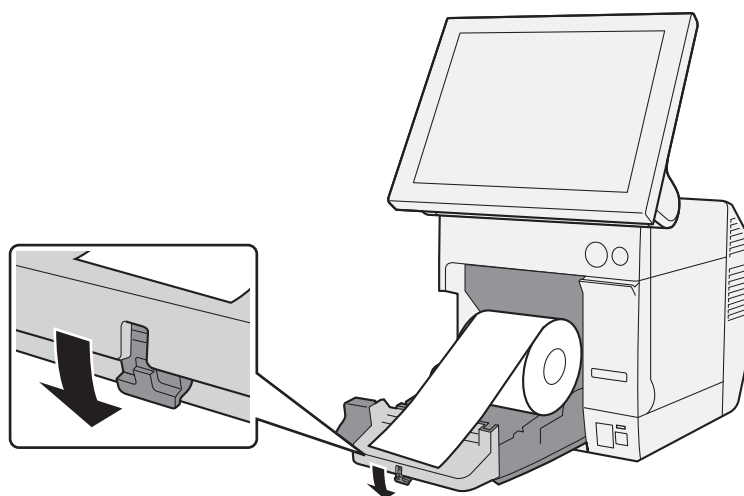
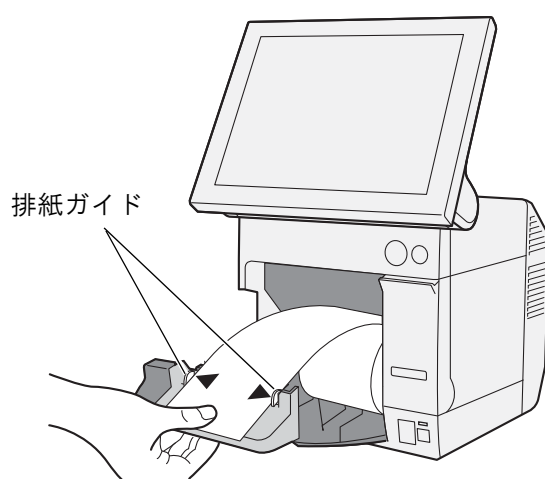
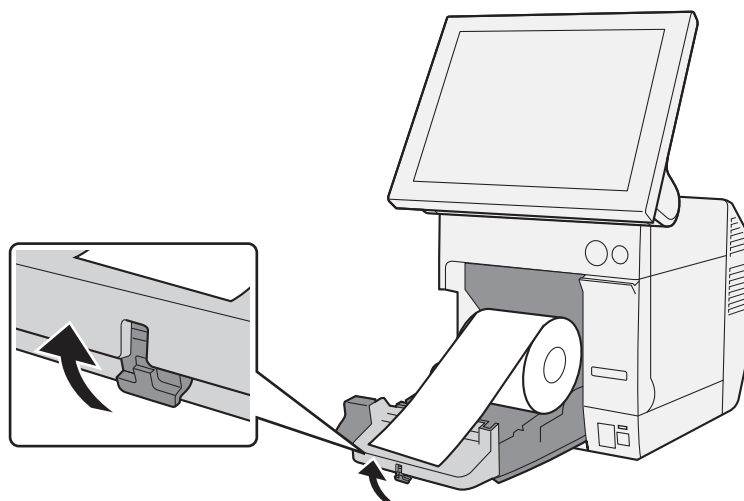
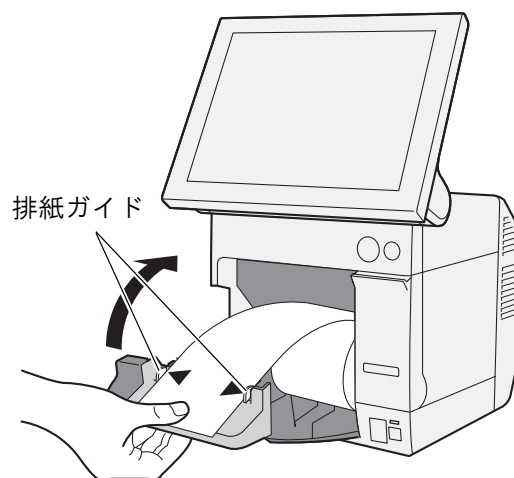
- 違う種類（ラベル、サイズなど）のファンフォールド紙に交換するとき　など

■ロール紙からファンフォールド紙に変更する(134 ページ参照)

■ファンフォールド紙からロール紙に変更する(140 ページ参照)

ロール紙からロール紙に交換する

違う種類（ラベル、サイズなど）のロール紙に交換するときなど、ロール紙からロール紙への交換は次の手順で行ってください。

注意	用紙種類（ファイン紙⇔普通紙）またはラベル種類（ダイカット ラベル⇔全面ラベル）の異なる用紙に変更するときは、プリンタードライバーを使ってプリンターの設定も変更してください。設定の変更方法は、145 ページ「用紙位置検出の設定」を参照してください。

1 本製品の電源がオンであることを確認します。

2 リリースレバーを手前に引いてロール紙カバーを開け、ロール芯を取り除きます。

参考	紙幅に変更がない場合は、手順 3 ～手順 5、手順 7 ～手順 9 はスキップできます。

3 ロール紙ガイドのロックを解除します。

4 左側のロール紙ガイドを矢印方向に押し広げ、印刷面を上にしてロール紙を投入します。

5 紙幅を調節して、ロール紙ガイドをロックします。

6 印刷面が上になるように少し引き出して、ロール紙を奥まで挿入します。

7 排紙ガイドのロックを解除します。

8 排紙ガイドをロール紙の幅に合わせます。

9 排紙ガイドをロックします。

10 ロール紙を排紙ガイドに合わせながら、ロール紙カバーを閉めます。

自動的にロール紙が送られます。

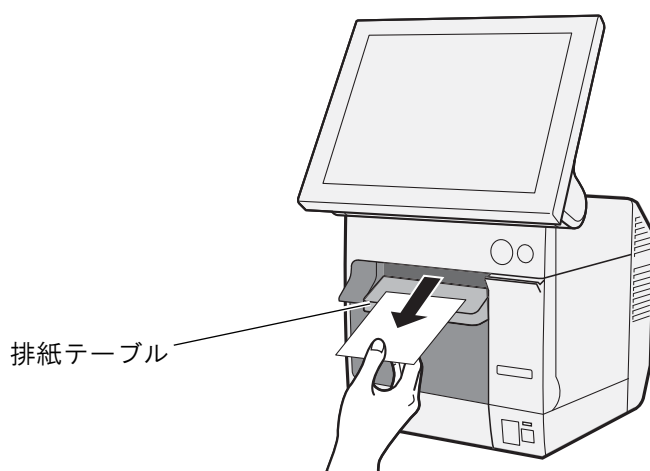
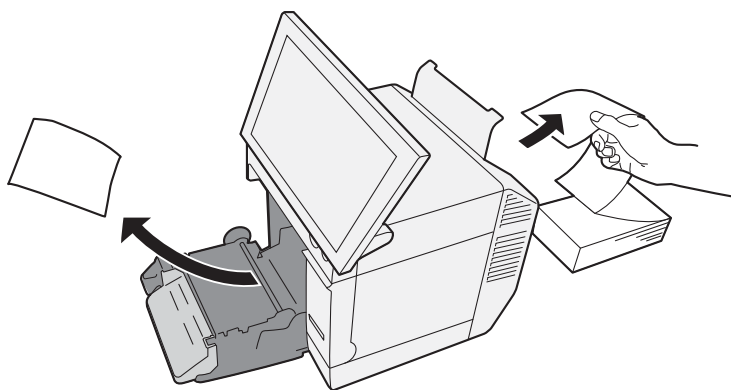
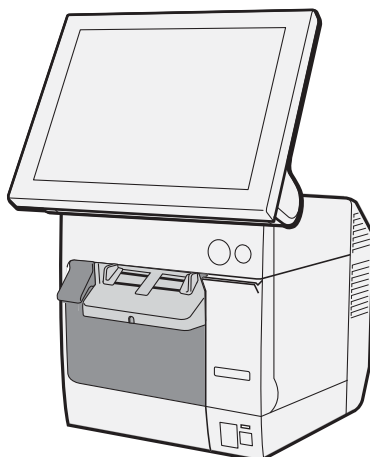
以上で、ロール紙からロール紙への交換は終わりです。

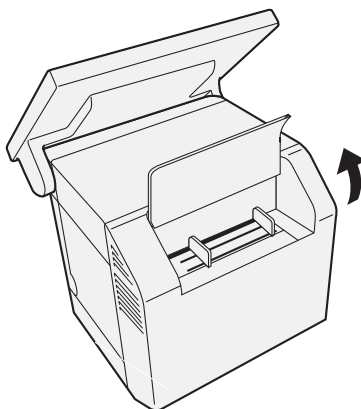
ファンフォールド紙からファンフォールド紙に交換する

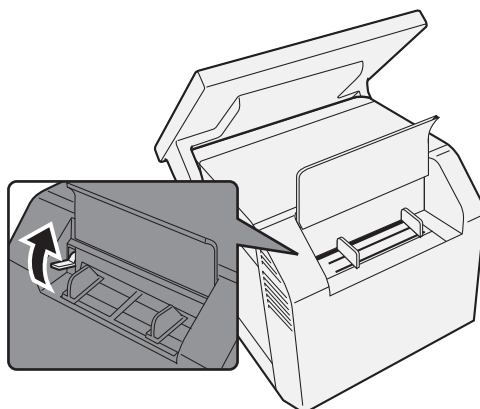
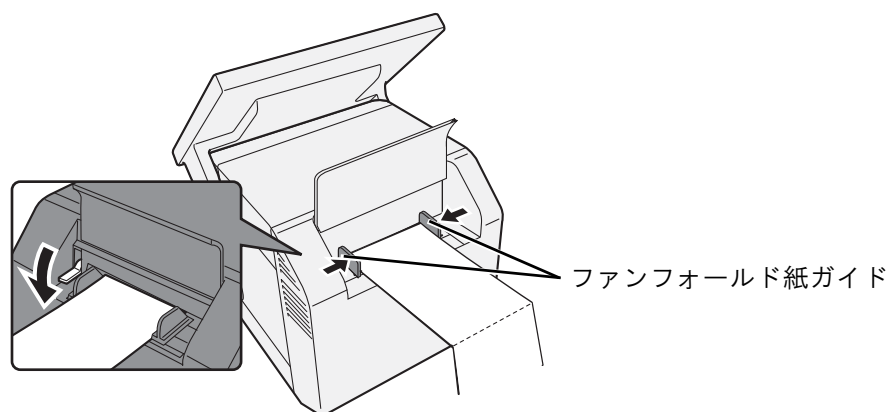
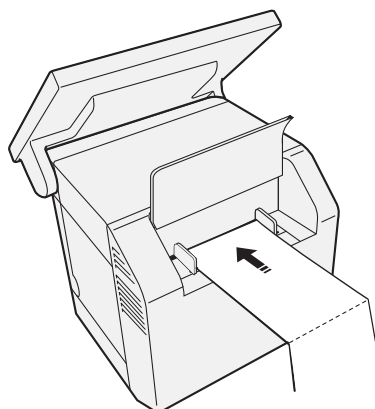
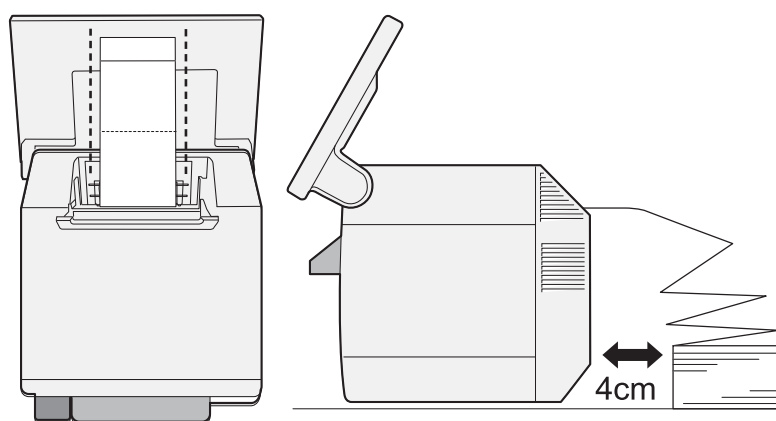
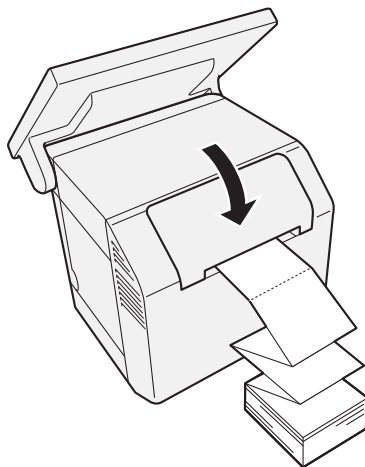
違う種類（ラベル、サイズなど）のファンフォールド紙に交換するときなど、ファンフォールド紙からファンフォールド紙への交換は次の手順で行ってください。

注意
用紙種類（ファイン紙⇔普通紙）またはラベル種類（ダイカットラベル⇔全面ラベル）の異なる用紙に変更するときは、プリンタードライバーを使ってプリンターの設定も変更してください。設定の変更方法は、145 ページ「用紙位置検出の設定」を参照してください。

1 本製品の電源がオンであることを確認します。

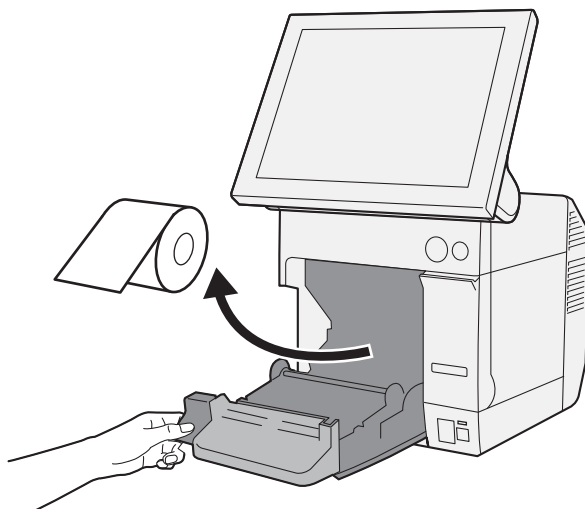
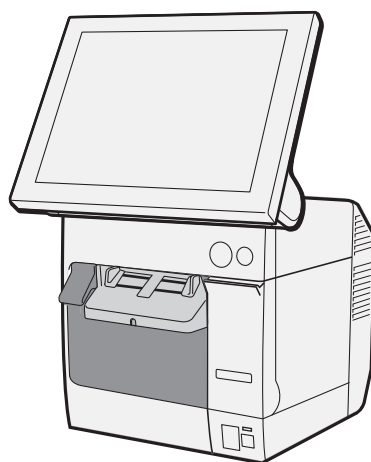
2 排紙テーブルに残った紙を取り除きます。

3 ロール紙カバーとファンフォールド紙カバーを開けて、紙を取り除きます。

4 ロール紙カバーを閉めます。

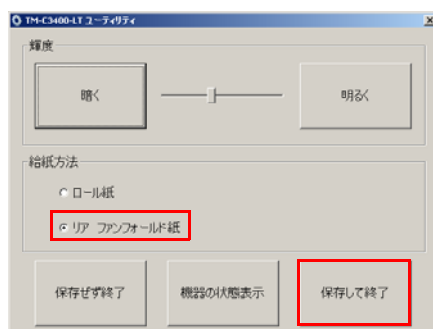
5 ファンフォールド紙カバーを開けます。

参考	紙幅に変更がない場合は、手順 6 ～手順 7 はスキップできます。

6 ファンフォールド紙ガイドのロックを解除します。

7 ファンフォールド紙ガイドをファンフォールド紙の幅に合わせ、ロックします。

8 印刷面を上にして、引き込まれるまで（約 10cm）用紙を挿入します。
自動的に用紙が送られます。

9 本製品背面から 4cm 以上離して、用紙をまっすぐに置きます。

10 ファンフォールド紙カバーを閉めます。

以上で、ファンフォールド紙からファンフォールド紙への交換は終わりです。

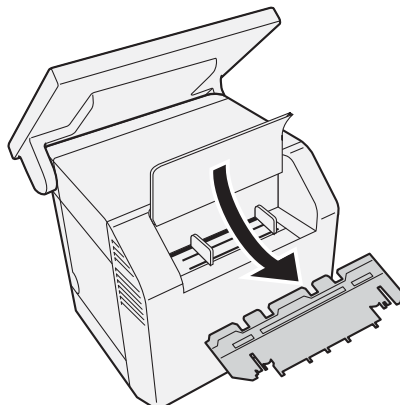
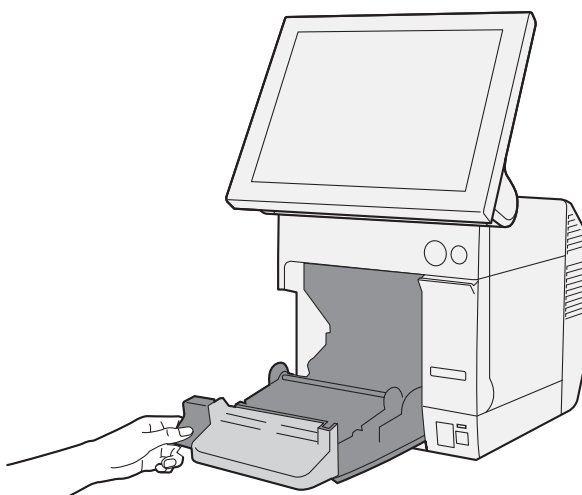
ロール紙からファンフォールド紙に変更する

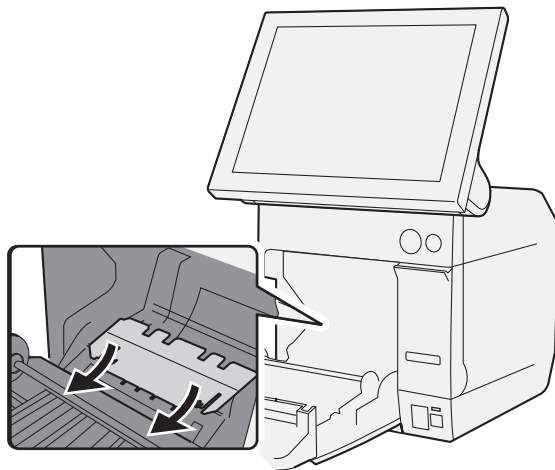
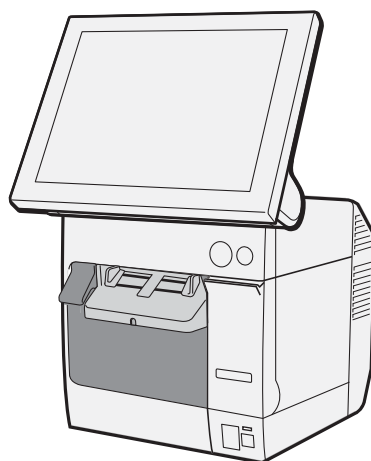
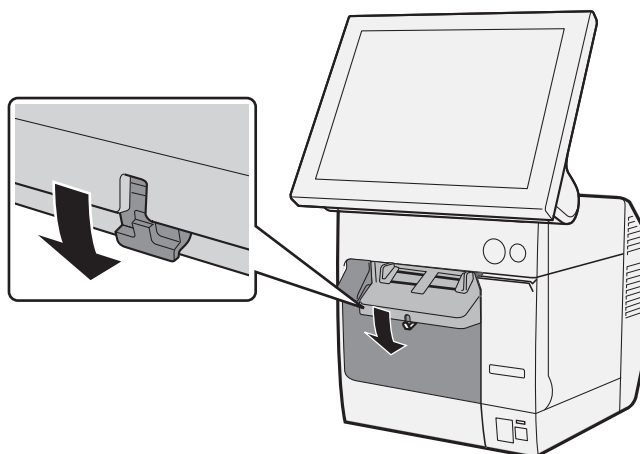
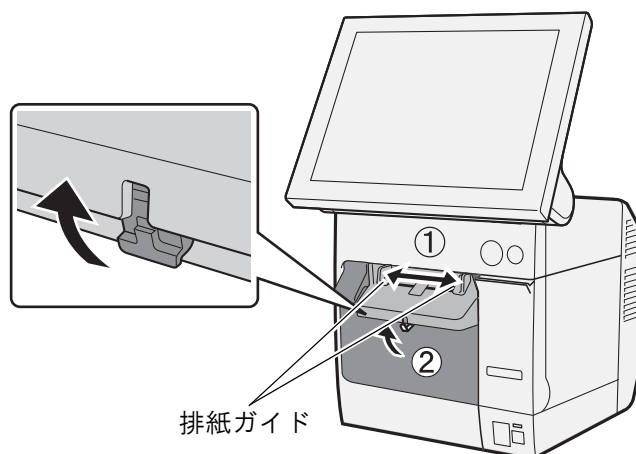
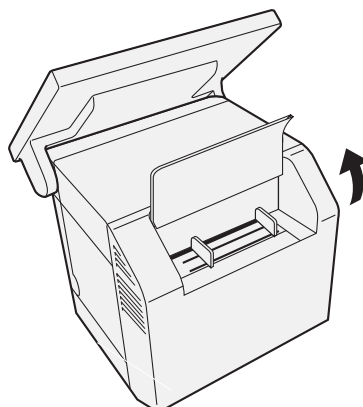
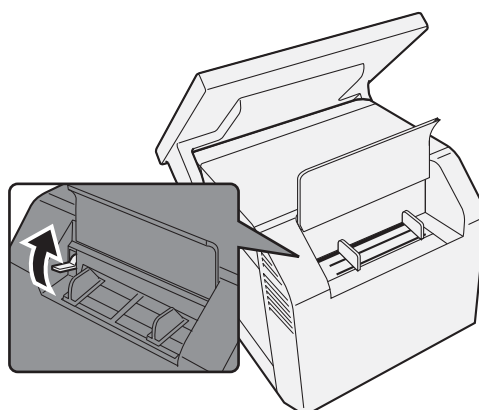
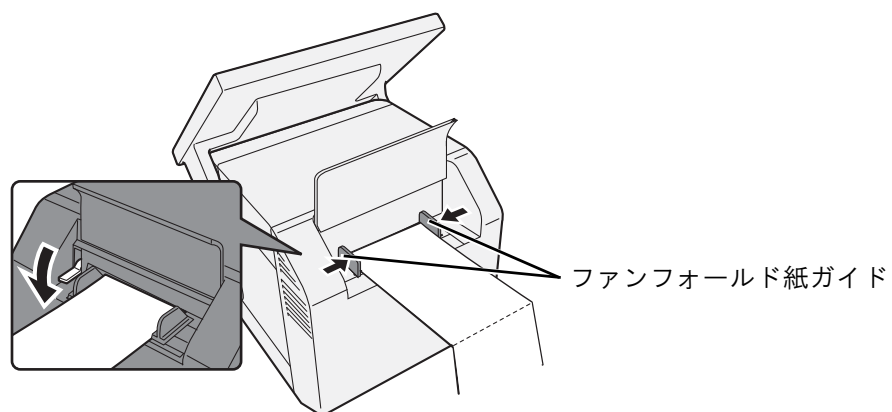
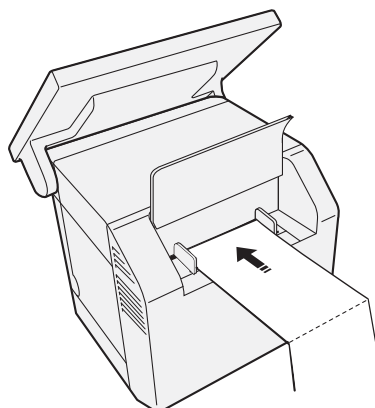
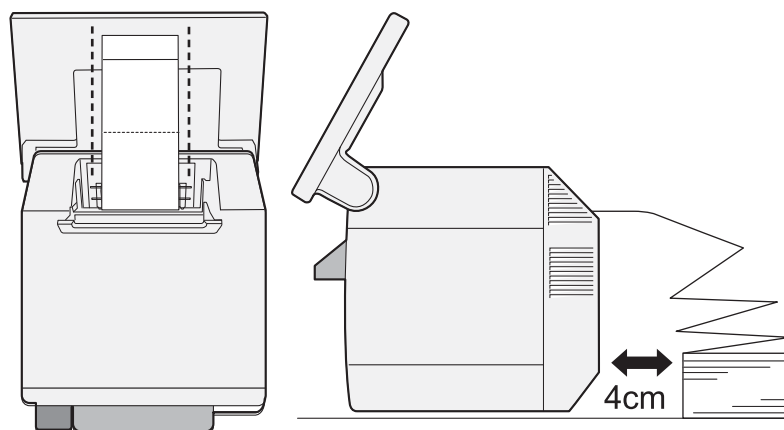
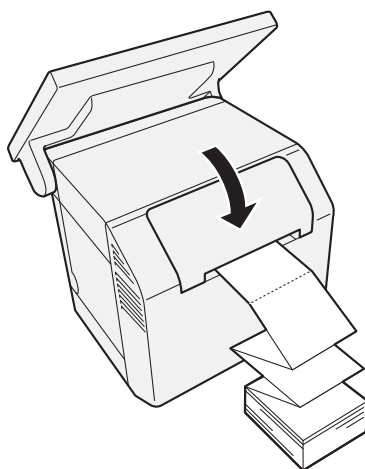
1 本製品の電源がオンであることを確認します。

2 リリースレバーを手前に引いてロール紙カバーを開け、ロール紙を取り除きます。

3 ロール紙カバーを閉めます。

4 TM-C3400LTユーティリティの［給紙方法］を［リアファンフォールド紙］に選択し、［保存して終了］を押します。

TM-C3400LT ユーティリティは、48 ページ「TM-C3400LT ユーティリティ」を参照してください。

5 プリンタードライバーの [給紙方法] と [用紙位置検出設定] を変更します。

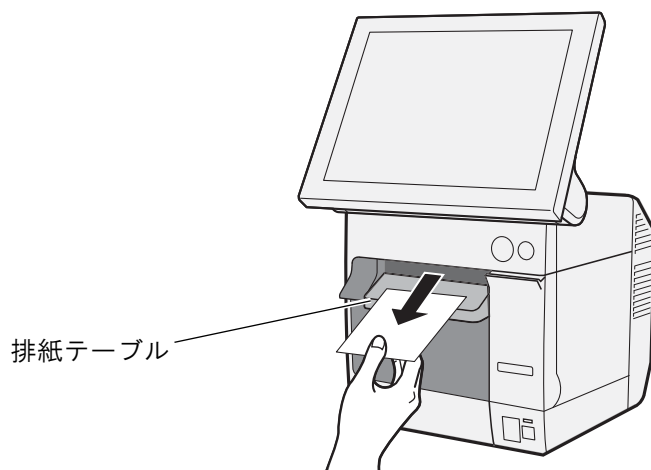
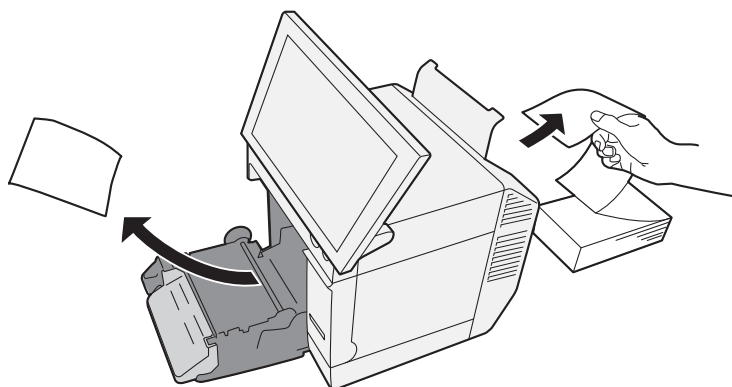
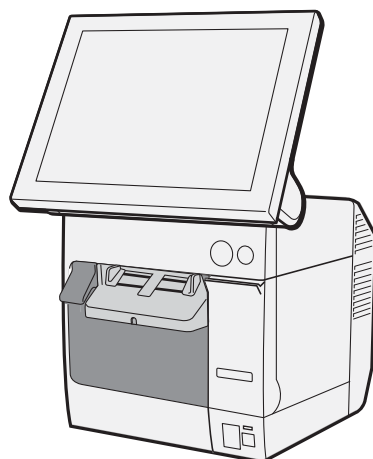
[用紙位置検出設定] の詳細は、145 ページ「用紙位置検出の設定」を参照してください。

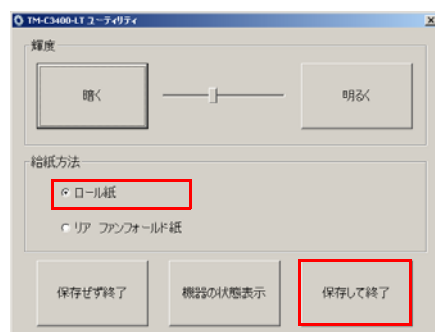
6 ファンフォールド紙カバーを開け、紙送りガイドを取り出します。

7 リリースレバーを引いて、ロール紙カバーを開けます。

8 紙送りガイドを、ロール紙カバー内側の溝に差し込んで取り付けます。

> **注意**
> ファンフォールド紙を使用する場合は、必ず紙送りガイドを取り付けてください。

9 ロール紙カバーを閉めます。

10 排紙ガイドのロックを解除します。

11 排紙ガイドを最も外側にスライドさせ（下図①)、排紙ガイドをロック（下図②）します。

12 ファンフォールド紙カバーを開けます。

13 ファンフォールド紙ガイドのロックを解除します。

14 ファンフォールド紙ガイドをファンフォールド紙の幅に合わせ、ロックします。

15 印刷面を上にして、引き込まれるまで（約 10cm）用紙を挿入します。
自動的に用紙が送られます。

16 本製品背面から 4cm 以上離して、用紙をまっすぐに置きます。

17 ファンフォールド紙カバーを閉めます。

以上で、ロール紙からファンフォールド紙への交換は終わりです。

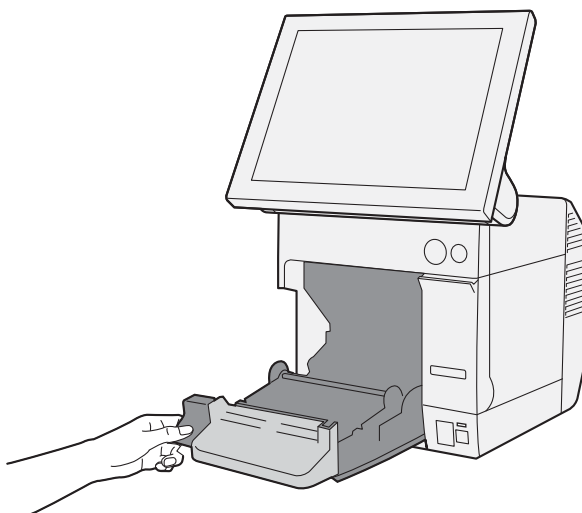
ファンフォールド紙からロール紙に変更する

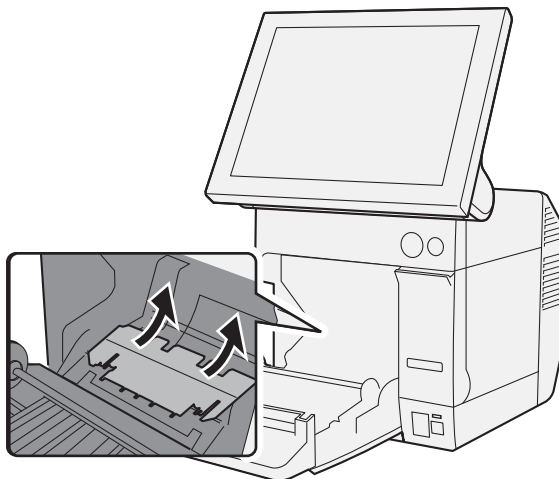
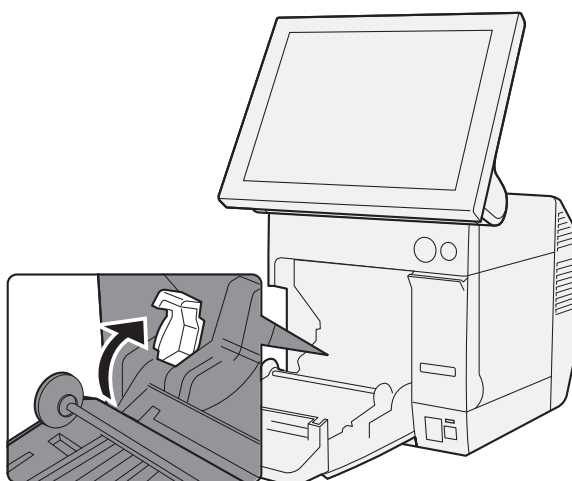
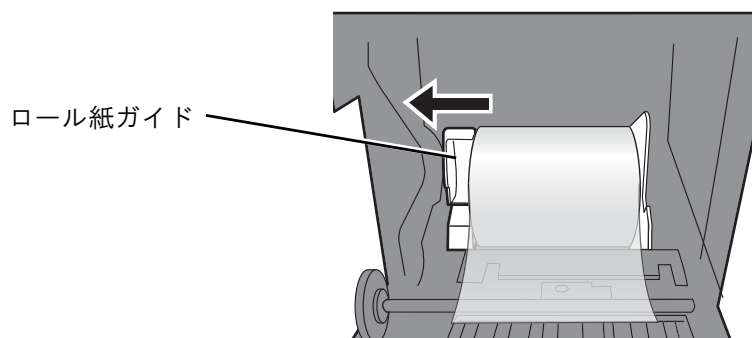
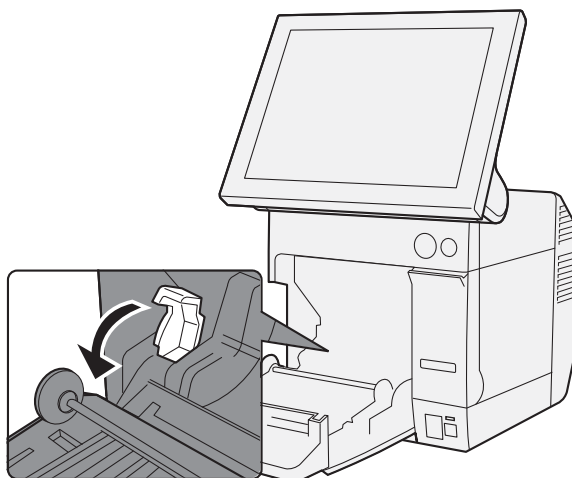
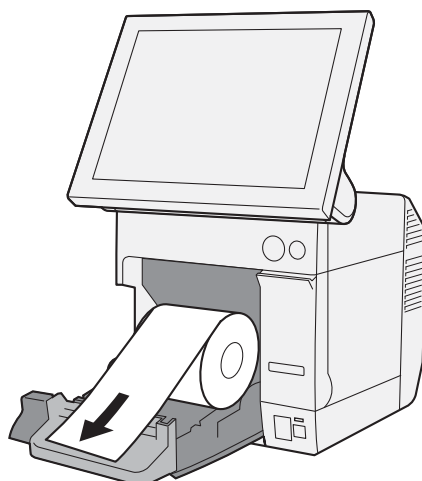
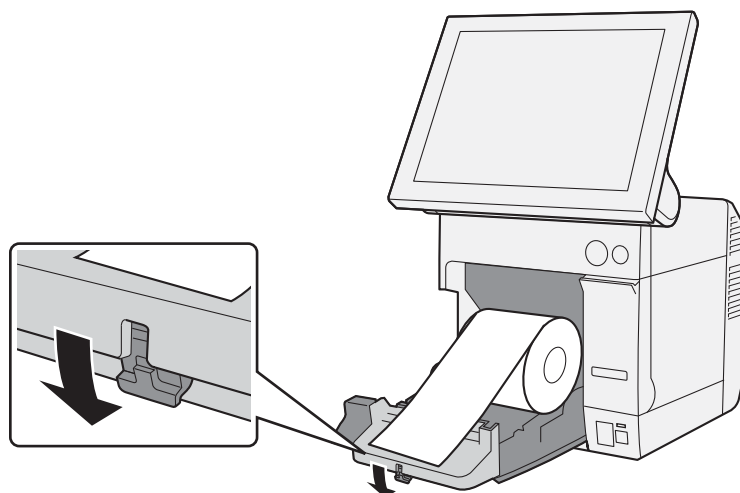
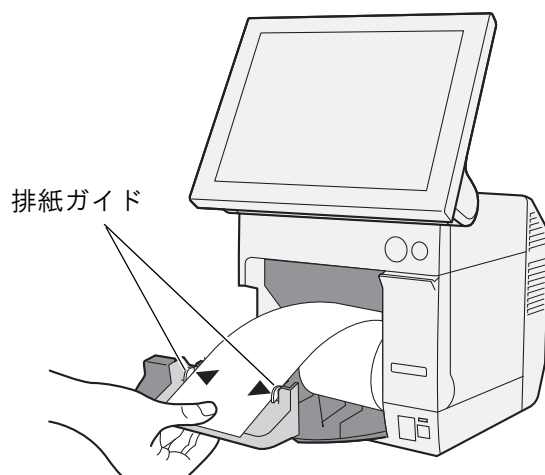
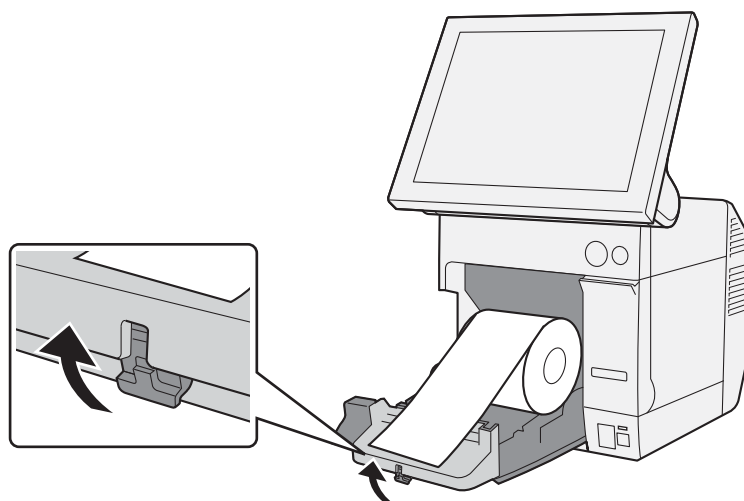
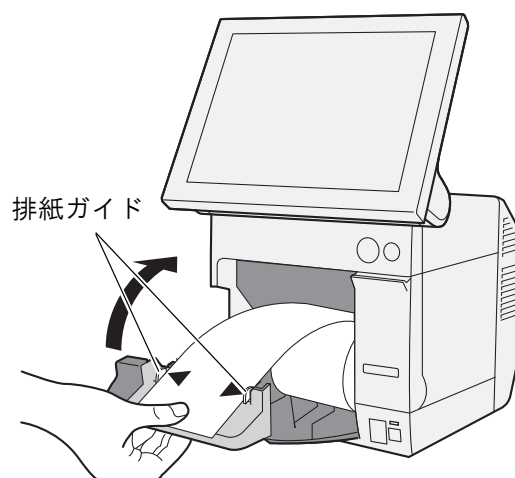
1 本製品の電源がオンであることを確認します。

2 排紙テーブルに残った紙を取り除きます。

3 ロール紙カバーとファンフォールド紙カバーを開けて、紙を取り除きます。

4 ロール紙カバーを閉めます。

5 TM-C3400LTユーティリティの[給紙方法]を[ロール紙]に選択し、[保存して終了]を押します。

TM-C3400LT ユーティリティは、48 ページ「TM-C3400LT ユーティリティ」を参照してください。

6 プリンタードライバーの [給紙方法] と [用紙位置検出設定] を変更します。

[用紙位置検出設定] の詳細は、145 ページ「用紙位置検出の設定」を参照してください。

7 リリースレバーを引いて、ロール紙カバーを開けます。

8 紙送りガイドを矢印の方向にスライドさせて、取り外します。

> **注意**
> ロール紙を使用する場合は、必ず紙送りガイドを取り外してください。

9 ロール紙ガイドのロックを解除します。

10 左側のロール紙ガイドを矢印方向に押し広げ、印刷面を上にしてロール紙を投入します。

11 紙幅を調節して、ロール紙ガイドをロックします。

12 印刷面が上になるように少し引き出して、ロール紙を奥まで挿入します。

13 排紙ガイドのロックを解除します。

14 排紙ガイドをロール紙の幅に合わせます。

15 排紙ガイドをロックします。

16 ロール紙を排紙ガイドに合わせながら、ロール紙カバーを閉めます。

自動的にロール紙が送られます。

以上で、ファンフォールド紙からロール紙への交換は終わりです。

用紙位置検出の設定

種類や形状の異なる用紙に変更する場合、用紙位置検出の設定を行う必要があります。
用紙位置検出設定に変更がない場合、本設定は必要ありません。

> **注意**　プリンターの設定と用紙の種類が適合しない場合、印刷ができず用紙エラーが発生します。以下の表に合わせて設定してください。

設定方法

以下の手順に従って、用紙位置検出設定を行ってください。

> **注意**　プリンター内に用紙が残っていると、用紙位置検出の設定が行えません。
> プリンターの電源をオンにする前に、必ずプリンター内から用紙を取り除いてください。

1. プリンターの電源をオンにします。
2. プリンター内の用紙を取り除きます。
3. プリンタードライバーを表示させます。（プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照）
4. ［プリンタユーティリティ］タブの［用紙位置検出設定］を、使用する用紙に合わせて変更します。
   98 ページ「用紙位置検出」も参照してください。

お客様が使用する用紙	用紙位置検出設定
ロール紙	
レシート / 全面ラベル / 透明台紙全面ラベル	位置検出しない
ブラックマークダイカットラベル	ダイカットラベルのブラックマークを検出する
ブラックマークレシート / リストバンド	連続紙のブラックマークを検出する
ダイカットラベル / ブラックマークダイカットラベル / 透明台紙ダイカットラベル	ラベル間ギャップを検出する
ファンフォールド紙	
ダイカットラベル（ブラックマーク付き）	ダイカットラベルのブラックマークを検出する
レシート（ブラックマーク付き）	連続紙のブラックマークを検出する
ダイカットラベル / ブラックマークダイカットラベル / 透明台紙ダイカットラベル	ラベル間ギャップを検出する

5. プリンターの電源をオフにします。

> **注意**　用紙位置検出設定の変更内容は、プリンターの電源をオフしたときにプリンターの内部メモリに保存されます。設定を有効にするため、必ずプリンターの電源をオフにしてください。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間ができたりする場合に、ヘッドクリーニングを行ってください。

本製品は自動ノズルチェック機能を搭載しており、通常は自動でヘッドのクリーニングを行います。
ただし、印刷動作モードの設定によっては、プリントヘッドの目詰まりにより、インクはあるのに印刷がかすれたり、通常とは異なる色で印刷されたりします。そのような場合、ヘッドのクリーニングを行ってください。ヘッドのクリーニングは、プリンタードライバーのプリンタユーティリティ機能から行います。

参考

- 印刷動作モードの設定は、プリンタードライバーの [プリンタユーティリティ] タブの [印刷動作モードの設定] で行います。(88 ページ「印刷動作モードの設定」参照)
- ヘッドクリーニングはインクを消費します。ヘッドクリーニングを行う前にノズルチェックを行うと、ノズルが目詰まりしていないかを確認することができ、ヘッドクリーニングによる余計なインクの消費を防ぐことができます。ノズルチェックの詳細は、148 ページ「ノズルチェック」を参照してください。

マニュアルヘッドクリーニング

マニュアルヘッドクリーニングを実行すると、プリンターがノズルの目詰まりを確認し、目詰まりしている場合は自動的にクリーニングを行います。

注意

マニュアルヘッドクリーニングにはインクを消費しますのでインク残量が少ない場合、インクエンドになる場合があります。

以下の手順に従って、クリーニングを行ってください。

1. プリンターの電源をオンにします。
2. プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。(プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」参照)
3. [**プリンタユーティリティ**] タブの [**マニュアルヘッドクリーニング**] をクリックします。
   ノズルの目詰まりを確認し、目詰まりしている場合は自動でクリーニングが行われます。クリーニングは最大で 5 回繰り返されます。
4. ノズルチェックを実行して、クリーニング結果を確認します。

印刷中のマニュアルヘッドクリーニング

印刷中に印刷がかすれたり通常とは異なる色で印刷された場合に、紙送りボタンを押すことで印刷中にマニュアルヘッドクリーニングをすることができます。この機能は出荷時には無効に設定されているので、プリンタードライバーでパネルボタンの設定を変更する必要があります。(99 ページ「パネルボタンの設定」参照)

注意

- 印刷中に紙送りボタンを押してもマニュアルヘッドクリーニングが始まらない場合は、数秒後に再度紙送りボタンを押してください。
- この機能は、BSF ファイルや PrinterSetting の設定ファイルで他のプリンターにコピーすることはできません。プリンター毎に設定する必要があります。

ノズルチェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、インクはあるのに印刷がかすれたり、通常とは異なる色で印刷されたりします。

本製品は自動ノズルチェック機能を搭載しており、通常は自動でプリントヘッドのクリーニングを行います。ただし、印刷動作モードの設定によっては、ノズルが目詰まりすることがあります。

ノズルチェックを行うと、パターンが印刷され、そのパターンを見てノズルが目詰まりしていないかを確認できます。

> **注意**
> ノズルチェックを始める前に、必ず本製品に同梱されていたラベルロール紙をセットしてください。同梱のラベルロール紙以外の用紙をセットした状態では、ノズルチェックが行えません。用紙の交換方法は、125 ページ「用紙の交換」を参照してください。

ノズルチェックの方法は以下のとおりです。

1. プリンターの電源をオンにします。
2. 長さ 90 mm 以上のダイカットラベル、レシート、または全面ラベルをセットします。
3. プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。（プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」参照）
4. [プリンタユーティリティ]タブの[用紙位置検出設定]をクリックし、用紙に合わせて用紙位置検出設定をします。
5. [ノズルチェック] をクリックします。
6. [印刷] をクリックします。
7. 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。
   目詰まりしている場合は、マニュアルヘッドクリーニングを実行してください。

ギャップ調整

縦罫線やバーコードのずれと紙送りのずれを調整します。工場出荷時には調整されていますので、通常お客様に調整していただく必要はありません。

プリントヘッドが右から左へ移動するときの印刷位置と、左から右へ移動するときの印刷位置がずれると、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になることがあります。また、紙送り量が正しく調整されていないと、白いスジが入ったように印刷されたり、重なって印刷されることがあります。そのような場合は、ギャップ調整を行ってください。

注意	ギャップ調整を始める前に、必ず本製品に同梱されていたラベルロール紙をセットしてください。同梱のラベルロール紙以外の用紙をセットした状態では、ギャップ調整が行えません。用紙の交換方法は、125 ページ「用紙の交換」を参照してください。
参考	画像などを印刷した場合、2 ～ 3cm 間隔の白スジ（白く見える線）または黒スジ（画像の重なり）が印刷されることがあります。ギャップ調整で軽減できますが、完全になくすことはできません。

ギャップ調整の操作手順

以下の手順に従って、ギャップ調整を行ってください。

1. プリンターの電源をオンにします。
2. プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。（プリンタードライバーの表示方法は、57 ページ「プリンタードライバーの使い方」参照）
3. [ドライバユーティリティ] タブの [ドライバの動作設定] をクリックします。
4. 「ドライバの動作設定」画面が表示されます。[プリンタユーティリティタブの制限されている機能を有効にする] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。
5. [プリンタユーティリティ] タブの [ギャップ調整] をクリックします。

以降は、画面の指示に従って操作してください。

7

セルフテスト

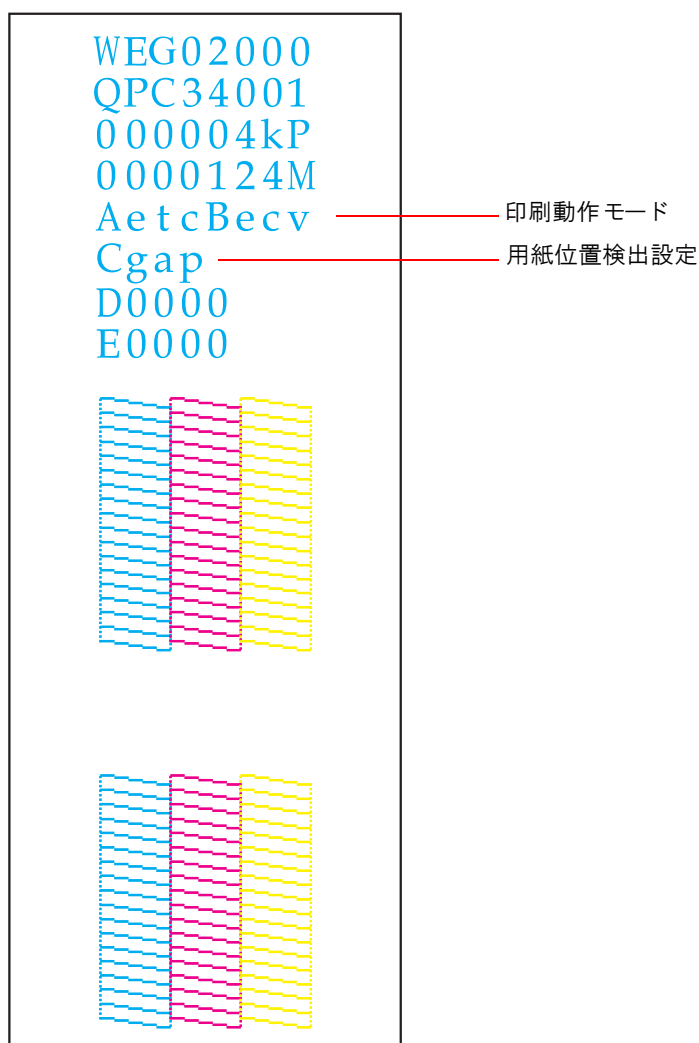
セルフテストを行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないか確認できます。また、ファームウェアのバージョン、印刷動作モード、用紙位置検出設定を確認できます。

セルフテストの方法は以下のとおりです。

1 長さ 90 mm 以上のダイカットラベル、レシート、または全面ラベルをセットします。

2 [プリンター電源 オン / オフ] ツールを起動し、「オフ」 になっていることを確認します。

3 紙送りボタンを押しながら [プリンター電源 オン / オフ] ツールの「オン」をクリックします。

以下のテストパターンが印刷されます。

ステータス		説明
印刷動作モード	Aamc Boff	誤色なし
	Aamr Boff	誤読なし
	Ahrr Boff	高信頼性モード（再印刷実行選択）
	Ahrv Boff	高信頼性モード（無効 (Void) 画像印刷）
	Aect Becr	エコノミーモード（再印刷実行選択）
	Aect Becv	エコノミーモード（無効 (Void) 画像印刷）
用紙位置検出設定	Cnod	位置検出しない
	Cbmd	ダイカットラベルのブラックマークを検出する
	Cbmc	連続紙のブラックマークを検出する
	Cgap	ラベル間ギャップを検出する

オートカッターのお手入れ

オートカッターの固定刃にラベル紙の粘着剤が付着して、紙が切れにくくなることがあります。そのような場合には、以下の手順でオートカッターのクリーニングを行ってください。

⚠注意	**オートカッターの固定刃に直接指で触れないでください。** けがを するおそ れが あり ま す。

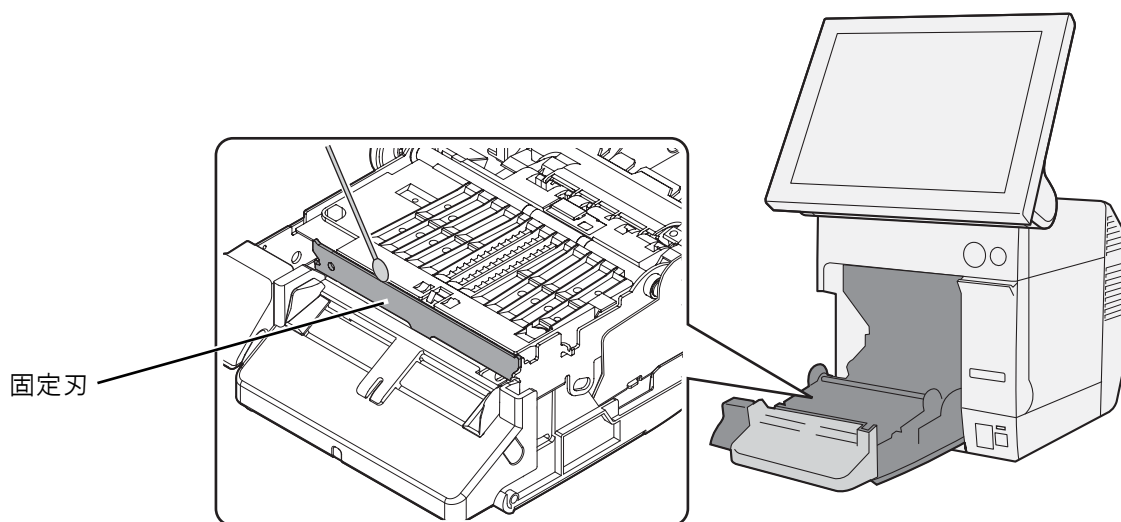
1 電源をオフにします。

電源をオフにする方法は、19 ページ「電源オフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 ロール紙カバーまたはファンフォールド紙カバーを開けて、用紙を取り除きます。

4 オートカッターの固定刃に付着した粘着物を、綿棒などで取り除きます。

必要に応じて、綿棒にアルコールを含ませてください。

外装面のお手入れ

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法でお手入れをしてください。

1 電源をオフにします。
電源をオフにする方法は、19 ページ「電源オフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 柔らかい布を使って、ホコリや汚れを払います。
外装面の汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。最後に、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ります。

注意

- 本製品の内部に水気が入らないように、カバーを閉じた状態で拭いてください。内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。本製品の表面や内部が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。本製品の表面を傷付けるおそれがあります。

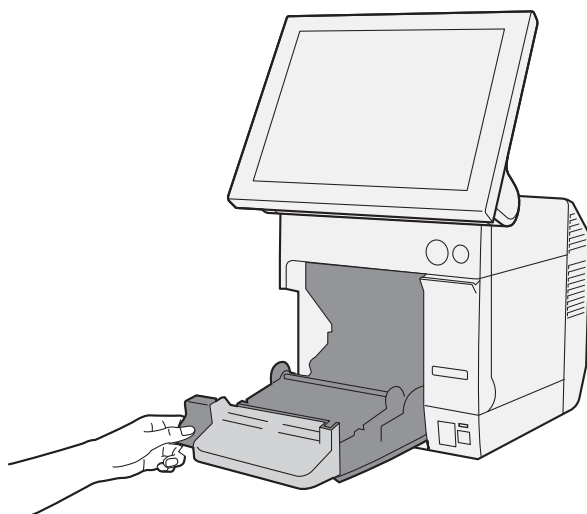
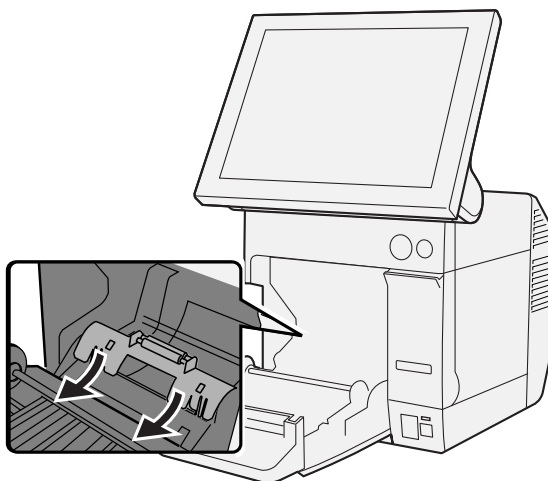
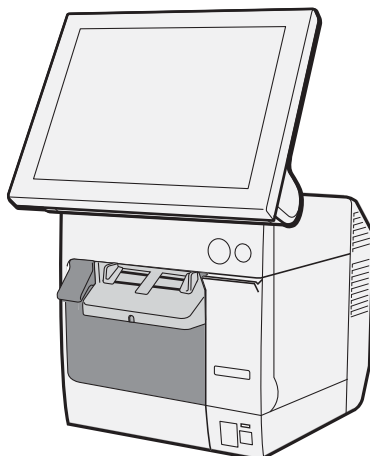
4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

リスト バンド専用アタッチメント の取り付け / 取り外し

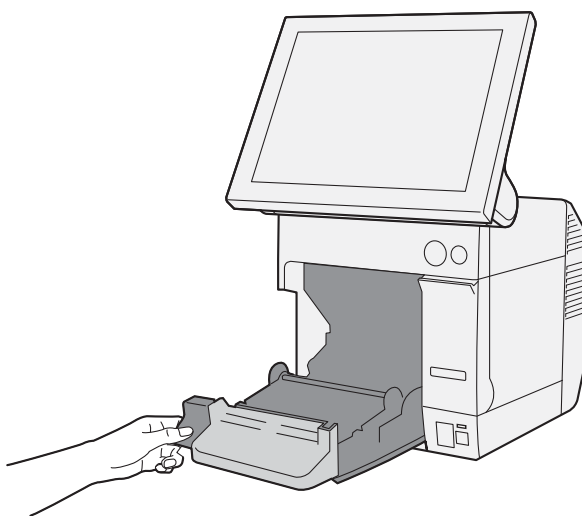
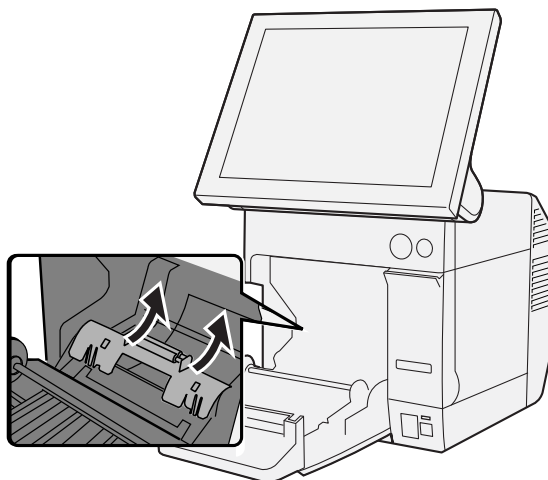
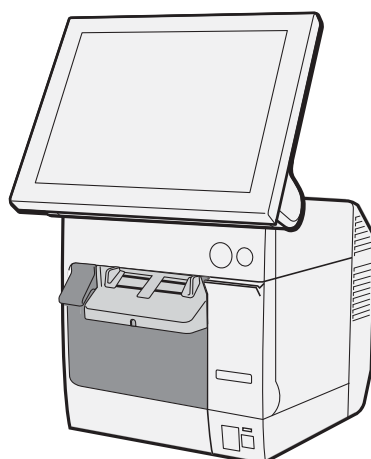
リストバンド (WB-L1/WB-M1/WB-S1) を使用する場合、リストバンド専用アタッチメント (OT-WA34) を取り付けます。

取り付け

以下の手順で取り付けてください。

1 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。

2 リストバンド専用アタッチメントを、ロール紙カバーの内側の溝に差し込んで取り付けます。

3 ロール紙カバーを閉めます。

取り外し

以下の手順で取り外してください。

1 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。

2 リストバンド専用アタッチメント(OT-WA34)を矢印の方向にスライドさせて、取り外します。

3 ロール紙カバーを閉めます。

輸送時の処置

プリンターを輸送する場合、以下の手順に従ってください。

輸送するときは、インクカートリッジを取り付けたままの状態で、移動、輸送してください。
インクカートリッジを取り外したままプリンターを放置すると、プリントヘッドが乾燥し、目詰まりするおそれがあります。

1. 電源をオフにします。
2. 電源ランプが消灯したことを確認します。
3. 用紙を取り除きます。
4. 上下方向を維持したまま梱包します。

プリンタードライバー / プリンターの設定の管理

ここでは、プリンタードライバー / プリンターを管理するために必要な情報について説明します。

プリンタードライバーの機能

TM-C3400 プリンタードライバーには、以下の機能があります。

❏ 印刷

❏ プリンタードライバーの設定

- 印刷設定
- お気に入り設定
- ユーザー定義情報の設定
- ドライバーの動作設定
- EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定

❏ プリンタードライバー設定の保存 / 取り込み
印刷設定、お気に入り設定、ユーザー定義情報、プリンタードライバーの動作設定を BSF ファイル (拡張子 .BSF) に書き出せます。BSF ファイルから設定を取り込んで、プリンタードライバー設定することもできます。

注意	BSF ファイルの書き出しは、現在の設定から行ってください。標準の設定から行うと、プリンタードライバーの画面の内容と異なる内容が書き出されます。 現在の設定： プリンタードライバーのプロパティ -[全般]-[印刷設定]-[ドライバユーティリティ] -[設定の書き出し / 取り込み] 標準の設定： プリンタードライバーのプロパティ -[詳細設定]-[標準の設定]-[ドライバユーティリティ] -[設定の書き出し / 取り込み]

❏ プリンターの設定

- 印刷するための設定
- メンテナンス用の設定
- 別ツールの Printer Setting では、プリンター設定用ファイルの書き出しや、取り込みができます。

プリンタードライバーのバージョンアップ

プリンタードライバーをバージョンアップすると、プリンタードライバーの初期値の設定になり、既存の設定が消えてしまいます。そのため、以下の手順で対応をしてください。

1. プリンタードライバーの既存の設定を BSF ファイルに保存します。（158 ページ）

2. プリンタードライバーをバージョンアップします。新しいプリンタードライバーをインストールします。

参考 最新のプリンタードライバーは、弊社ホームページよりダウンロードしてください。（113 ページ）

3. プリンタードライバーに BSF ファイルの設定を取り込みます。（158 ページ）

参考 事前に BSF ファイルを保存した場合、プリンタードライバーのバージョンアップ後、再度 BSF ファイルを取り込んでください。（158 ページ）

プリンタードライバー設定の保存先

プリンタードライバーの設定項目のうち、ファイル保存できる項目を記します。

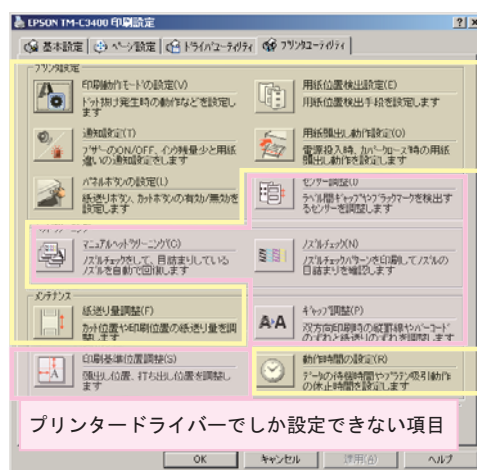
プリンターの設定

プリンターの設定をするのは、以下の場合です。

- 印刷用紙の種類を変更した場合
  用紙位置検出設定が必要になります。（145 ページ「用紙位置検出の設定」参照してください）
- プリンターのメンテナンスが必要な場合
  ヘッドのクリーニング、ギャップの調整など

プリンターの設定は、プリンタードライバーと Printer Setting で設定します。設定できる項目が異なります。

項目	プリンタードライバー	Printer Setting
コンピューターに Printer Setting のインストール	不要	必要
プリンターの設定を参照する	×	○
プリンターに設定を行う	○	○
印字位置の微調整、ヘッドクリーニングを行う	○	×
プリンターの設定を、設定ファイルに保存する	×	○
設定ファイルから設定を読み込む	×	○
プリンターの設定を他の本製品にコピーする	×	○
複数のプリンターに同じ設定を行う	×	○
無効（Void）画像の選択	○	○
無効（Void）画像ファイルの指定	×	○

プリンタードライバーと Printer Setting の設定項目

プリンタードライバー　　　　Printer Setting

＊パネルボタンの設定の、印刷中のマニュアルヘッド
クリーニング設定は Printer Setting では設定できません。

24 時間連続稼動されるお客様へ

24 時間連続稼動は製品の寿命を縮めますのでお勧めできません。特にハードディスクについては仕様外の使用方法となります。やむを得ず 24 時間連続稼動をされる場合には以下の手順を参考にアイドル時にモーターの回転を止めてください。

参考　モーターを止めても 24 時間連続稼動を保証するものではありません。

ハードディスクのモーター停止の設定

ハードディスクのモーター停止をするには、HDD Power Down Timer の設定と Windows Update の設定を行います。以下の条件の場合、ハードディスクのモーター停止の設定を行っても、モーターは停止しません。

- ハードディスクが待機（アイドル）状態にならない運用を、アプリケーションが行っている場合。
- HDD Power Down Timerを1時間以上に設定すると、Windowsがタイマーの同期を取るためにハードディスクへのアクセスを定期的に行うため、ハードディスクのモーターは停止しません。

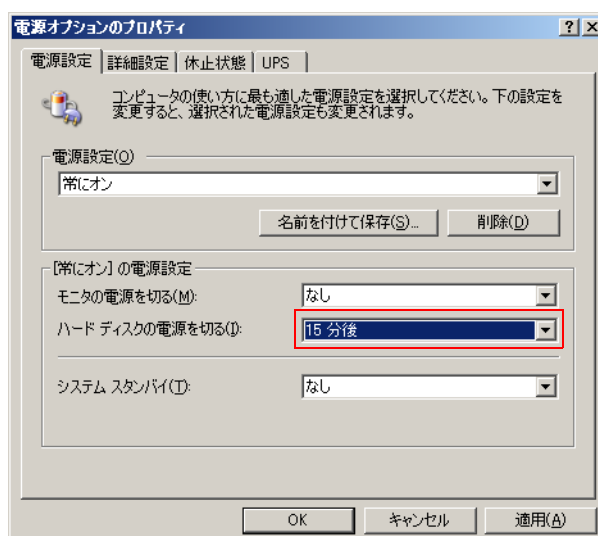
HDD Power Down Timer の設定

このタイマーを設定すると、ハードディスクへのアクセス状態を監視して、設定した時間アクセスがない場合はハードディスクのモーターを停止します。

セットアップ（29 ページ）/ リカバリー直後は [なし] に設定されていて、モーターが停止しない設定になっていなっているので、以下の設定を行ってください。

1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択します。

2 " 電源オプション " を起動し、[電源設定] タブを選択します。

3 [ハードディスクの電源を切る] を設定します。[OK] ボタンをクリックします。

参考　設定した間隔内にハードディスクへのアクセスがある場合はモーターが止りません。

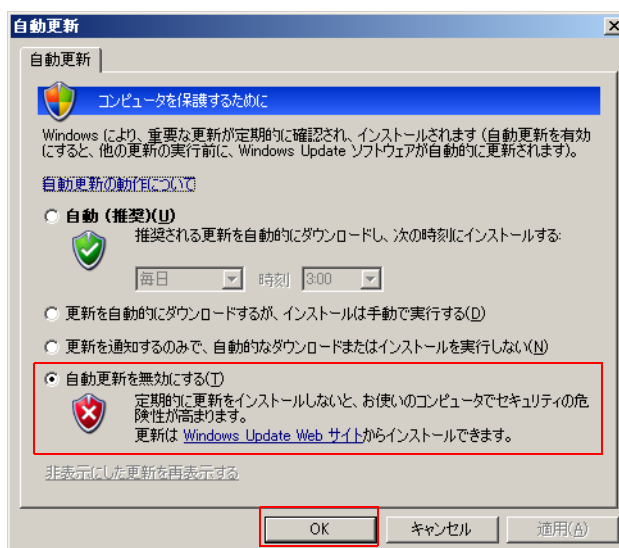
Windows Update の設定

Windows Update（自動更新）が設定されていると、HDD に定期的にアクセスが発生してアイドル状態にならないため、この機能を無効に変更します。

セットアップ（29 ページ）/ リカバリー直後は自動更新は設定されていません。ログオンユーザーを追加した場合、Administrator 権限で設定した状態を継承します。そのため、Windows Update（自動更新）にしている場合のみ、以下の手順で無効にしてください。

1 ［スタート］-［コントロールパネル］を選択します。

2 〃自動更新〃を起動します。

3 ［自動更新を無効にする］を選択します。[OK] ボタンをクリックします。

制限事項

用紙

- 全面ラベルを使用する場合、印刷が終了するたびに出力された用紙を取り除いてください。用紙が取り除かれない場合、出力された用紙の一部が切り取られたり、エラーが発生したりします。
- 全面ラベル紙をカットすると、カッター刃に粘着物が付着して切れ味が鈍くなる場合があります。その場合、カッター刃をクリーニングしてください。詳細は、152 ページ「オートカッターのお手入れ」を参照してください。

印刷

- 印刷した後にプリンターの電源をオフ / オンすると、次の印刷までに時間がかかることがあります。
- インクカートリッジは 3 色のインクで構成されています。特定の色を指定して印刷を行った場合でも、印刷動作やプリントヘッドを良好な状態に保つためにすべてのインクを使用します。1 色でもインク残量値が限界に達するとプリンターは印字を停止します。
- インク充てん後に本体を傾けて衝撃を与えると、印刷色がおかしくなることがあります。インク充てん後に本体を移動した場合、テスト印刷等で印刷色を確認してください。
  印刷色が正常でない場合、ヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニング方法は、146 ページ「マニュアルヘッドクリーニング」を参照してください。
- 画像等の印刷をした場合、印刷結果に約 1 インチ間隔の白スジ（白く見える線）または黒スジ（画像の重なり）が発生する場合があります。「プリンタユーティリティ」タブの「ギャップ調整」-「紙送り調整」で軽減できますが、完全に目立たなくすることはできません。
- 画像等の印刷をした場合、印刷結果に約 1 インチ間隔で色調の変化が現れることがあります。

付録

トラブルと対処法

参考
- エラーが発生すると、画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。
- 処置した後もエラーが続くときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は、本書の裏表紙に記載しています。お問い合わせの際は、本製品の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

電源オン / オフのトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
電源が入らない (電源ランプが点灯しない)	**電源ボタンを少し長めに押してください。**
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれたりしていないかを確認してください。
	テーブルタップなどを使用していませんか？ 電源プラグは直接壁のコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電源はきていますか？ 他の電化製品の電源プラグを差し込んで、電源が入るかを確認してください。
電源が切れない	**電源ボタンでは電源をオフにできないように設定されていませんか？** Windows のシャットダウンを行ってください。 それでも電源をオフにできない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、もう一度電源を入れて、必ず電源ボタン(または Windows のシャットダウン)で電源をオフにしてください。そのまま放置すると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする可能性があります。

画面操作のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
タッチパネルを触っても反応がない	**次のように処置してください。** 画面にタッチしても本製品が反応しない場合は、次の処置を行ってください。 1. 1 分待ってからタッチパネルに触れます。 2. それでも反応しない場合、電源プラグをコンセントから抜き、10 秒待ちます。 3. 電源プラグをコンセントに差し、電源をオンにします。

きれいに印刷されない

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
・かすれる ・スジや線が入る ・ぼやける ・文章や線がガタガタになる ・色合いがおかしい ・印刷されない色がある ・印刷にムラがある ・モザイクがかかったように印刷される ・印刷の目が粗い（ギザギザしている） ・白いスジが入ったように印刷される ・重なって印刷される	**プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？** ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認し、目詰まりしていたらヘッドクリーニングを行ってください。 詳細は、以下を参照してください。 ・148 ページ「ノズルチェック」 ・146 ページ「ヘッドクリーニング」
	インクカートリッジは、推奨品（エプソン純正品）をお使いですか？ 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
	古くなったインクカートリッジを使用していませんか？ 古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が低下します。インクカートリッジの使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載されています。
	プリントヘッドのギャップにズレがありませんか？ 本製品は、高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときもインクを吐出しますが、まれに右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になったりする場合があります。ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレを確認・調整してください。 詳細は、149 ページ「ギャップ調整」を参照してください。
	紙送り量は正しく調整されていますか？ 紙送り量が多く設定されているために白いスジが入ったように印刷されたり、紙送り量が少ないために重なって印刷されたりする場合があります。ギャップ調整機能を使って、紙送り量を確認・調整してください。 詳細は、149 ページ「ギャップ調整」を参照してください。

用紙がきれいにカットされない

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
用紙がきれいにカットされない	**オートカッターが汚れていませんか？** オートカッターの固定刃が汚れていたら、クリーニングを行ってください。 詳細は、152 ページ「オートカッターのお手入れ」を参照してください。

バーコードが読めない

症状／トラブル状態	確認／対処方法
バーコードが読み取れない	**バーコードリーダーは正しく接続されていますか？** バーコードリーダーが本製品背面の USB コネクターに正しく接続されているか確認してください。 詳細は、31 ページ「ケーブルの接続」を参照してください。
	バーコードリーダーは指定のものを使用していますか？ バーコードリーダーは、必ず下記のものをご使用ください。 • CINO F460
	印刷データにバーコードのグラフィックデータが含まれている場合、バーコードは縮小されていませんか？ バーコードが縮小されていると、線がかすれたり空白が潰れて正しく読み取れないことがあります。
	バーコードが読み取りにくいですか？ バーコードをシアン単色で印刷してください。 詳細は、72 ページ「バーコードをシアン単色で印刷する方法」を参照してください。

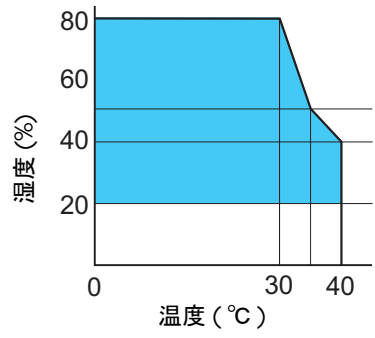
製品仕様

基本仕様

項目		内容
CPU		Intel® AtomE640 1.0GHz
メ インメ モリー		1GB
チッ プセッ ト		Intel® EG20T
BIOS		TMI-A 1.01
OS		Microsoft® Windows Embedded POS Ready 2009
表示機能	LCD	12.1 型　TFT 液晶
		256K 色（約 26 万色）
	タッ チパネ ル	抵抗膜方式
補助記憶装置	HDD	SATA 250GB HDD 内蔵
インターフェイス	LAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TX
	USB*	前面：USB2.0（High/Full/Low speed）Type A × 2 背面：USB2.0（High/Full/Low speed）Type A × 3
	サウンド	外部ライン出力
インクカート リッジ (型番：SJIC15P）		3 色 CMY 一体型専用インクカート リッジ
電源		AC100V ～ 240V/50Hz ～ 60Hz
消費電力	動作時	平均約 51.6W、最大 62.3W
	待機時	平均 26.7W
	電源オフ時	平均 1.5W
温度 / 湿度 （詳細は 171 ページ「環境仕様」を参照）	動作時	0 ℃～ 40 ℃、20%RH ～ 80%RH (非結露)
	保存時 （インク充てん状態）	-20 ℃～ 40 ℃、20%RH ～ 80%RH (非結露) • -20 ℃の場合：120H 以内 • 0 ℃～ 30 ℃の場合：6 ヶ月以内 • 40 ℃の場合：1 ヶ月以内
外形寸法 (タッ チパネ ル水平時)		300mm(幅) x 312mm(奥行き) x 345mm(高さ)
質量 (インクカート リッジ、用紙、AC ケーブ ルは除く)		約 15.4kg

*: 下記オプション品および動作確認品のみ使用可
- EPSON DM-S162-062
- CINO F460

印刷仕様

項目		内容	
印刷方式		シリアルインクジェットドットマトリクス方式 3 色仕様カラー印刷	
印刷方向		双方向印刷	
紙送り方式		フリクションフィードによる正逆方向送り	
用紙幅	ロール紙	連続紙	30mm ～ 108mm
		全面ラベル紙（台紙）	30mm ～ 112mm
		ダイカットラベル紙（台紙）	30mm ～ 112mm
	ファンフォールド紙	連続紙	50mm ～ 108mm
		ダイカットラベル紙（台紙）	50mm ～ 112mm
印刷可能領域幅		最大 104mm、最大 1474 ポジション（360dpi）	
印刷速度* （入力解像度：180 × 180dpi、 画像解像度：360 × 180dpi）		ラベル幅 50mm：99mm/s ラベル幅 72mm：85mm/s ラベル幅 80mm：80mm/s ラベル幅 100mm：71mm/s	
バーコード バーコード識別率：　ANSI ランク D （弊社基準による）		UPC-A、UPC-E、JAN 8 (EAN 8)、JAN 13 (EAN 13)、Code 39、ITF、Codabar、Code 93、Code 128、GS1-128、 GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded	
2 次元コード		PDF417、QR コード、Maxi Code、GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Expanded Stacked、DataMatrix、Aztec Code	

dpi：25.4mm あたりのドット数（dots per inch）
*：印字品質：速い、用紙種類：普通紙の場合

信頼性

MTBF	製品全体	47500 時間
	各構成基板	17 万時間
	プリンター	75000 時間
MCBF(プリンター)		980 万パス
プリンター寿命	印刷ヘッド	60 億ショット /ノズル
	紙送り機構	150 万ページまたは以下の紙送り長さに達するまでのページ数 • 普通紙：150 km • ファイン紙：75 km • PET フィルム：50 km • 普通紙全面ラベル：100 km • ファイン紙全面ラベル：50 km • 合成紙全面ラベル：10 km • 普通紙ダイカットラベル：150 km • ファイン紙ダイカットラベル：150 km • 合成紙ダイカットラベル：50 km • リストバンド (WB-S1/WB-M1/WB-L1)：30km
	オートカッター機構	• 普通紙：150 万カット • ファイン紙：75 万カット • PET フィルム：50 万カット • 普通紙全面ラベル:75万カット (カッター固定刃クリーニングで+25万カット) • ファイン紙全面ラベル：50 万カット • 合成紙全面ラベル：10 万カット • 普通紙ダイカットラベル台紙：150 万カット • ファイン紙ダイカットラベル台紙：150 万カット • 合成紙ダイカットラベル台紙：50 万カット • リストバンド (WB-S1/WB-M1/WB-L1)：20 万カット
	キャリッジ機構	600 万パス (キャリッジ 300 万往復) 2000 万パスでメンテナンスを要求（プリンター停止）
ファン (回転数 30% 低下までの時間)	システムファン	50000 時間 (ファン周囲温度 25°C)
	システム電源ファン	
	プリンター電源ファン	
HDD		5 年、または累計 2 万時間の電源オン (24 時間連続使用の場合は保証対象外)
LCD バックライト (輝度が半減するまでの時間)		30000 時間以上 (25 ± 2°C)
タッチパネル		打点耐久性 : 1000 万回以上 (ポリアセタールペン (先端 R0.8) を使用し、筆圧荷重 2.45 N{250 gf} にて、同一箇所を打点する。)

環境仕様

項目		仕様
温度 ／湿度	動作時	0 ～ 40°C、20 ～ 80%RH 非結露
	保管時	出荷梱包状態 (インク非充てん) : -20 ～ 60°C、5 ～ 85%RH 非結露 -20°C または 60°C の場合 120 時間以内 インク充てん状態 : -20 ～ 40°C、20 ～ 80%RH 非結露 -20°C の場合 120 時間以内 0 ～ 30°C の場合 6 ヶ月以内 40°C の場合 1 ヶ月以内
気圧 (標高)	使用時	850 ～ 1060 hPa (標高 0 ～ 1500 m 相当)
	非使用時 (輸送を含む)	850 ～ 1060 hPa (標高 0 ～ 1500 m 相当)
騒音	動作時 (オートカット動作を含む)	約 54 dB (ANSI Bystander position) 弊社評価条件によります。

用紙仕様

本製品で使用可能な用紙は以下のとおりです。

注意 指定紙以外の用紙を使用する場合、紙送り精度／バーコード認識率／印刷品質の低下、紙ジャムが発生することがあります。

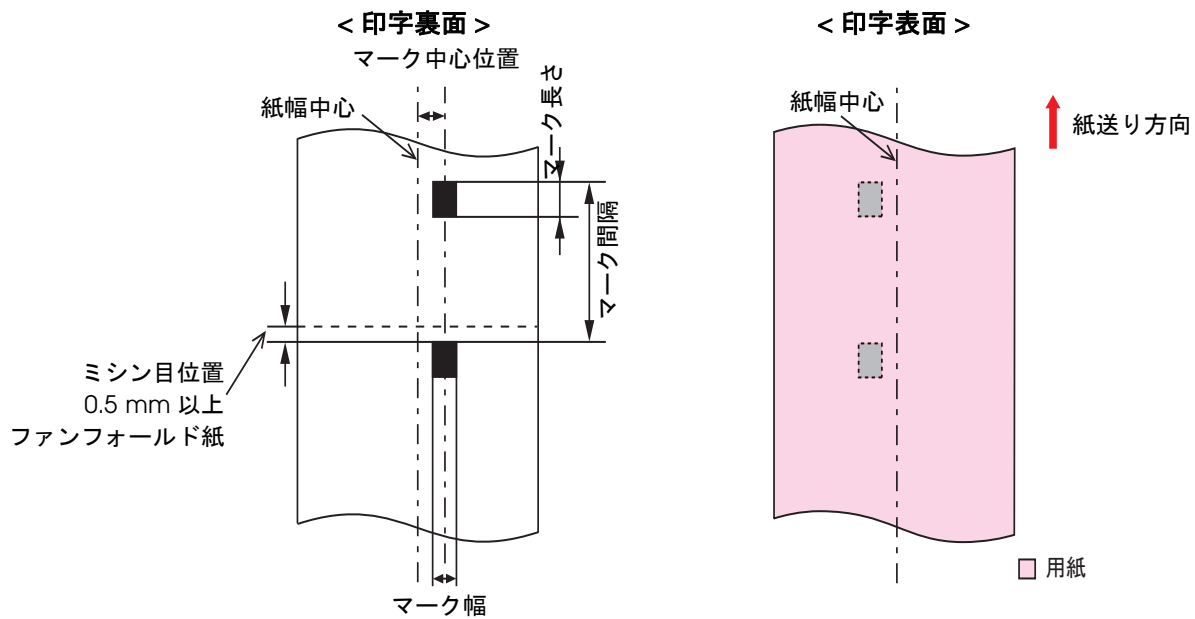
用紙タイプ	用紙種類	給紙方法（形状）	幅
レシート （連続紙）	普通紙 ファイン紙 PET フィルム	ロール紙	30 ～ 108 mm （用紙幅）
ブラックマークレシート （ブラックマーク付き連続紙）	普通紙 ファイン紙 PET フィルム	ロール紙	30 ～ 108 mm （用紙幅）
ブラックマークレシート （ブラックマーク付き連続紙）	普通紙 ファイン紙 PET フィルム	ファンフォールド紙	50 ～ 108 mm （用紙幅）
全面ラベル	普通紙ラベル ファイン紙ラベル 合成紙ラベル	ロール紙	25.4 ～ 108 mm （ラベル幅）
ダイカットラベル	普通紙ラベル ファイン紙ラベル 合成紙ラベル	ロール紙	25.4 ～ 108 mm （ラベル幅）
ブラックマークダイカットラベル （ブラックマーク付きダイカットラベル）	普通紙ラベル ファイン紙ラベル	ロール紙	25.4 ～ 108 mm （ラベル幅）
ブラックマークダイカットラベル （ブラックマーク付きダイカットラベル）	普通紙ラベル ファイン紙ラベル	ファンフォールド紙	46 ～ 108 mm （ラベル幅）
ブラックマークレシート （ブラックマーク付き連続紙）	リストバンド	ロール紙	36 mm （用紙幅）

レシート

連続紙です。

用紙種類	普通紙、ファイン紙、PET フィルム
形状	ロール紙
紙幅	30 ～ 108 mm
レシート 長さ	15 ～ 1117.6 mm
紙厚	0.085 ～ 0.151 mm
巻芯	外径：44.1 mm
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

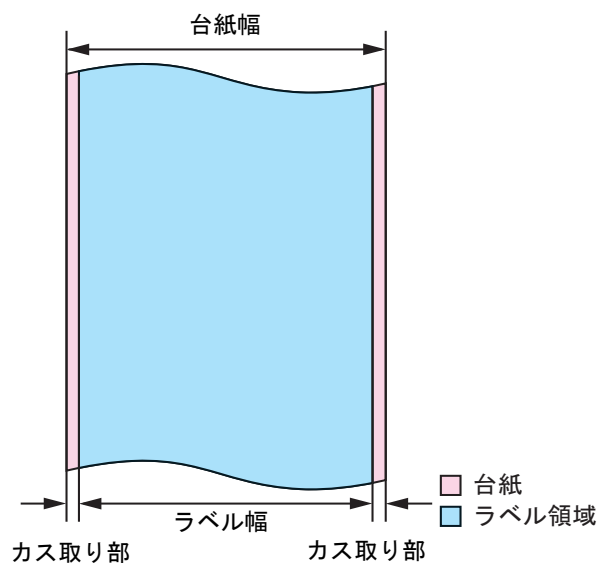
ブラックマークレシート

用紙種類	普通紙、ファイン紙、PET フィ ルム
形状	ロー ル紙
紙幅	30 ～ 108 mm
レシート 長さ	15 ～ 1117.6 mm
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 1117.6 mm
紙厚	0.085 ～ 0.151 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

用紙種類	普通紙、ファイン紙、PET フィルム
形状	ファンフォールド紙
紙幅	50 ～ 108 mm
レシート長さ	15 ～ 304.8 mm
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 304.8 mm
紙厚	0.119 ～ 0.151 mm
ミシン目間隔	203.2 ～ 304.8 mm
ミシン目形状	普通紙 : 1 mm アンカット、5 mm カット ファイン紙 : 1 mm アンカット、5 mm カット PET フィルム : 0.6 mm アンカット、8.4 mm カット
折り数	500 折り以下

注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ファンフォールド紙は、ブラックマークがミシン目から 0.5 mm 以上離れているものを使用してください。
- 用紙を逆方向から挿入しても使用できるようにするには、どちらの方向から挿入しても、ブラックマークがミシン目に対して同じ位置にくるように（ブラックマークセンサで検出できる位置に）してください。

全面ラベル

用紙種類	普通紙ラベル、ファイン紙ラベル、合成紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	15 ～ 1117.6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
紙厚	0.128 ～ 0.195 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

ダイカット ラベル

用紙種類	普通紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	25.4 ～ 1117.6 mm （ラベル長さが 25.4 mm 未満のラベルを使用したい場合、ブラックマークダイカット ラベルを参照してください。）
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
紙厚	0.128
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意

穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

用紙種類	ファイン紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	25.4 ～ 1117.6 mm （ラベル長さが 25.4 mm 未満のラベルを使用したい場合、ブラックマークダイカットラベルを参照してください。）
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
紙厚	0.145 mm
巻芯	外径：56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

用紙種類	合成紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	巻芯が 44.1 mm 以上の場合：50.8 ～ 1117.6 mm 巻芯が 56.8 mm 以上の場合：32 ～ 1117.6 mm （上記未満のラベル長さのラベルを使用したい場合、ブラックマークダイカットラベルを参照してください。）
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
紙厚	0.195 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

ブラックマークダイカット ラベル

用紙種類	普通紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	25.4 ～ 1117.6 mm (ラベル長さが 15 ～ 25.4 mm 未満の場合、「左右端のみカス取りされている用紙」を使用してください。)
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 1117.6 mm
紙厚	0.128 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ダイカットラベルへのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。

用紙種類	ファイン紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	25.4 ～ 1117.6 mm (ラベル長さが 15 ～ 25.4 mm 未満の場合、「左右端のみカス取りされている用紙」を使用してください。)
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 1117.6 mm
紙厚	0.145 mm
巻芯	外径：56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

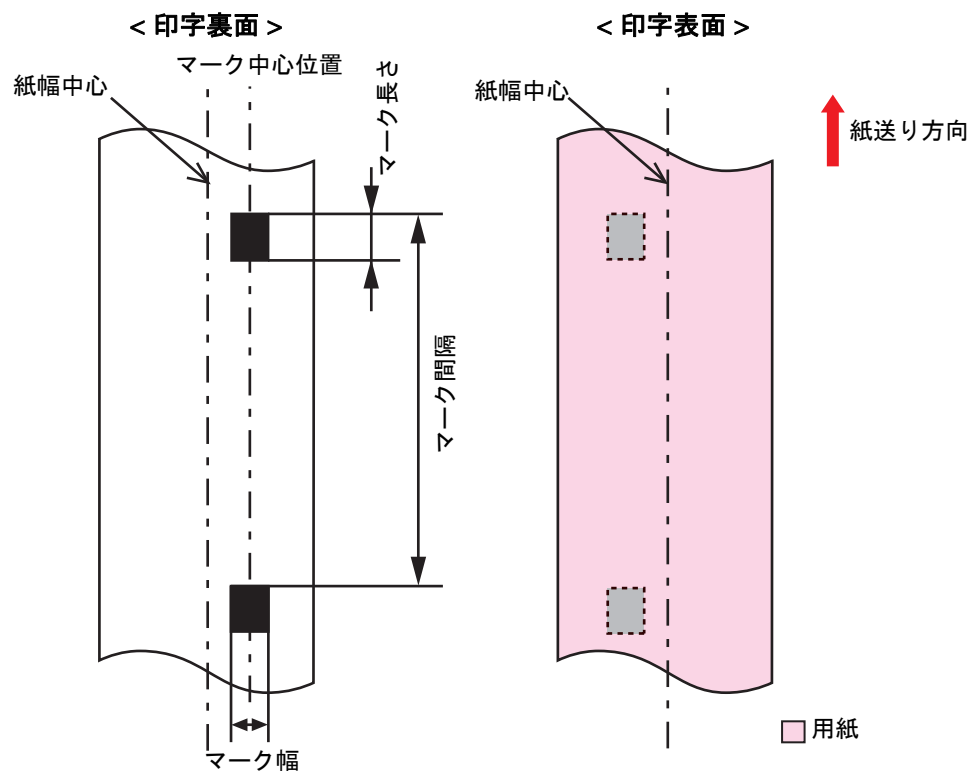
注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ダイカットラベルへのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。

用紙種類	普通紙ラベル、ファイン紙ラベル
形状	ファンフォールド紙
台紙幅	50 ～ 112 mm
ラベル幅	46 ～ 108 mm
ラベル長さ	15 ～ 301.8 mm
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 304.8 mm
紙厚	0.145 ～ 0.161 mm
ミシン目間隔	203.2 ～ 304.8 mm
ミシン目形状	普通紙ラベル　: 1 mm アンカット、5 mm カット ファイン紙ラベル : 1 mm アンカット、5 mm カット
折り数	500 折り以下

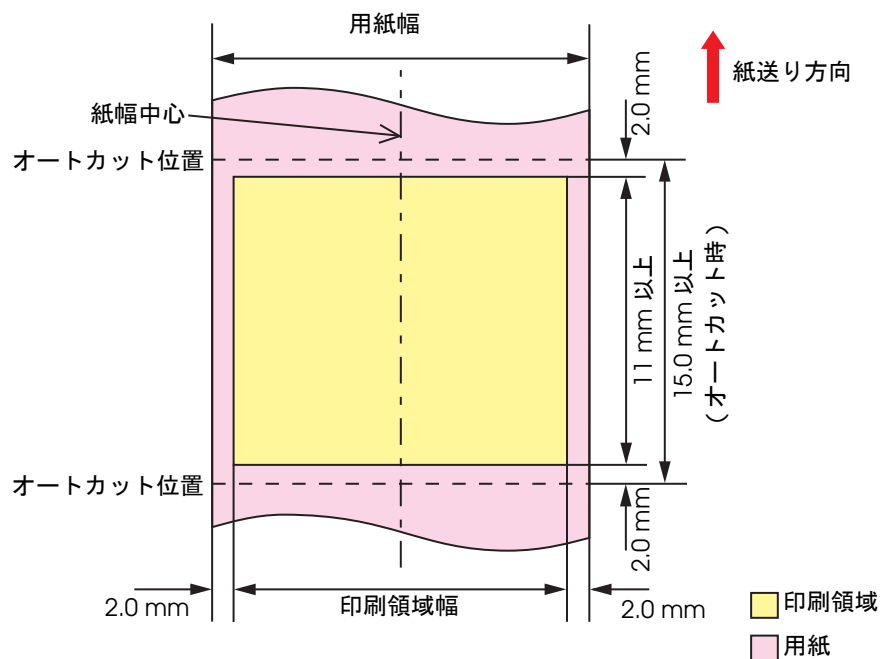
注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ダイカットラベルへのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。
- ファンフォールド紙は、ブラックマークがミシン目から 2 mm 以上離れているものを使用してください。
- 用紙を逆方向から挿入しても使用できるようにするには、どちらの方向から挿入しても、ブラックマークがミシン目に対して同じ位置にくるように（ブラックマークセンサで検出できる位置に）してください

リスト バンド

用紙種類		リスト バンド
指定専用紙		WB-S1、WB-M1、WB-L1
形状		ロール紙
紙幅		36 mm
ブラックマーク幅		13 mm 以上
ブラックマーク長さ		5 mm 以上
ブラックマーク中心位置		8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	WB-S1	184.1 mm
	WB-M1	292.1 mm
	WB-L1	292.1 mm
紙厚		0.2 mm
巻芯		外径：56.8 mm 以上
外径		最大 101.6 mm
巻き方向		印字面が外側
穴、切り欠き		穴径：2.5 mm 以下

印刷位置とカット位置

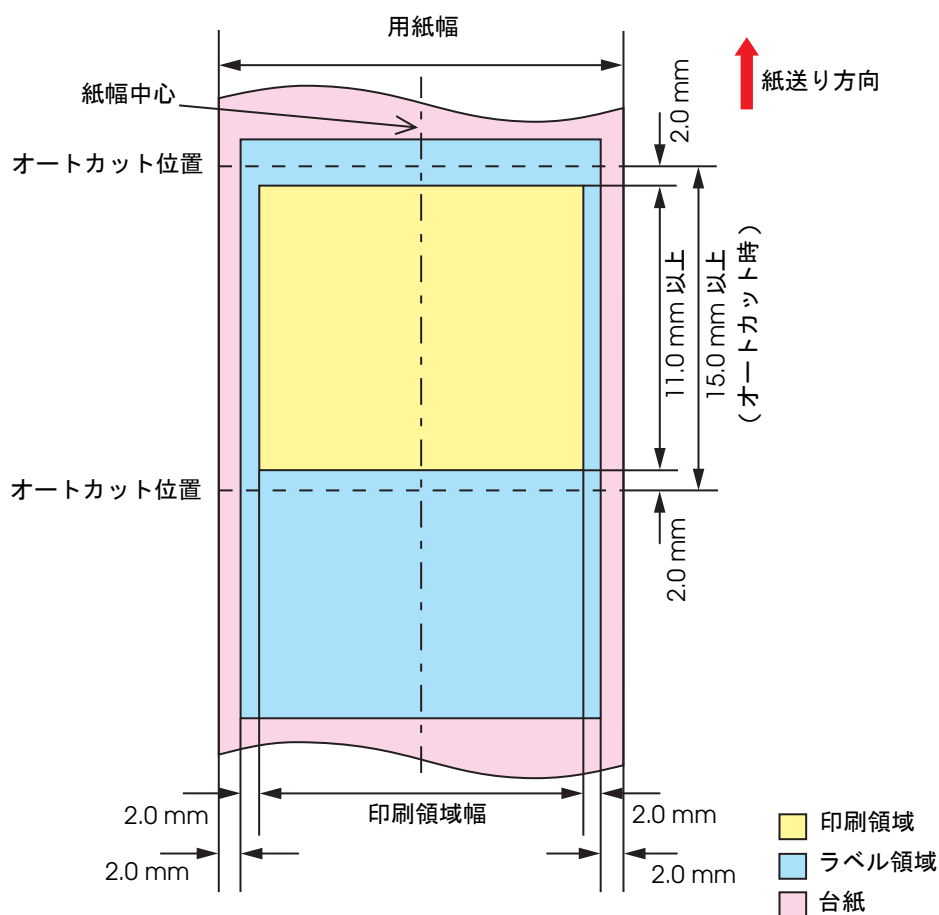
レシート・ロール紙

上余白：　2.0 mm（中心値）

左右余白：2.0 mm（中心値）

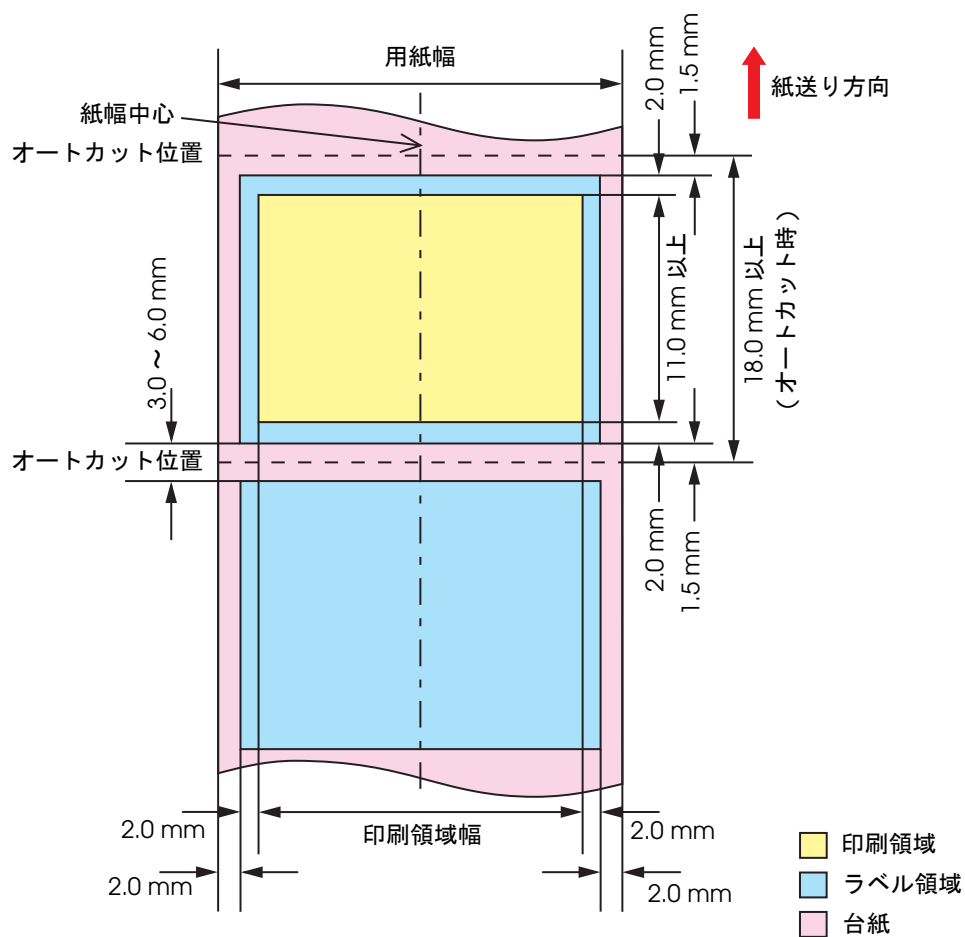
下端余白：2.0 mm（中心値）

注意	ロール紙オプションが長尺モードの場合、印刷ジョブの最初のページに上余白が設けられますが、ページ間には余白は存在しません。印刷ジョブの最終ページに下余白が設けられます。

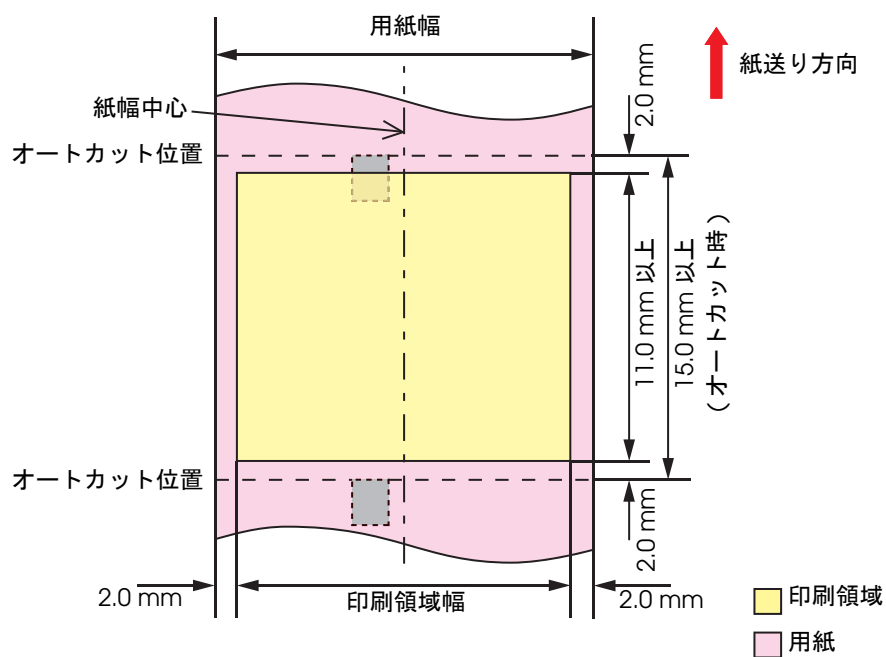
全面ラベル ロール紙

上余白（ラベル内）：　2.0 mm（中心値）
左右余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）
下端余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）

注意　ロール紙オプションが長尺モードの場合、印刷ジョブの最初のページに上余白が設けられますが、ページ間には余白は存在しません。印刷ジョブの最終ページに下余白が設けられます。

ダイカット ラベル・ロール紙

上余白（ラベル内）：　2.0 mm（中心値）
左右余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）
下端余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）

ブラックマークレシート・ロール紙

上余白：　2.0 mm（中心値）

左右余白：2.0 mm（中心値）

下端余白：2.0 mm（中心値）

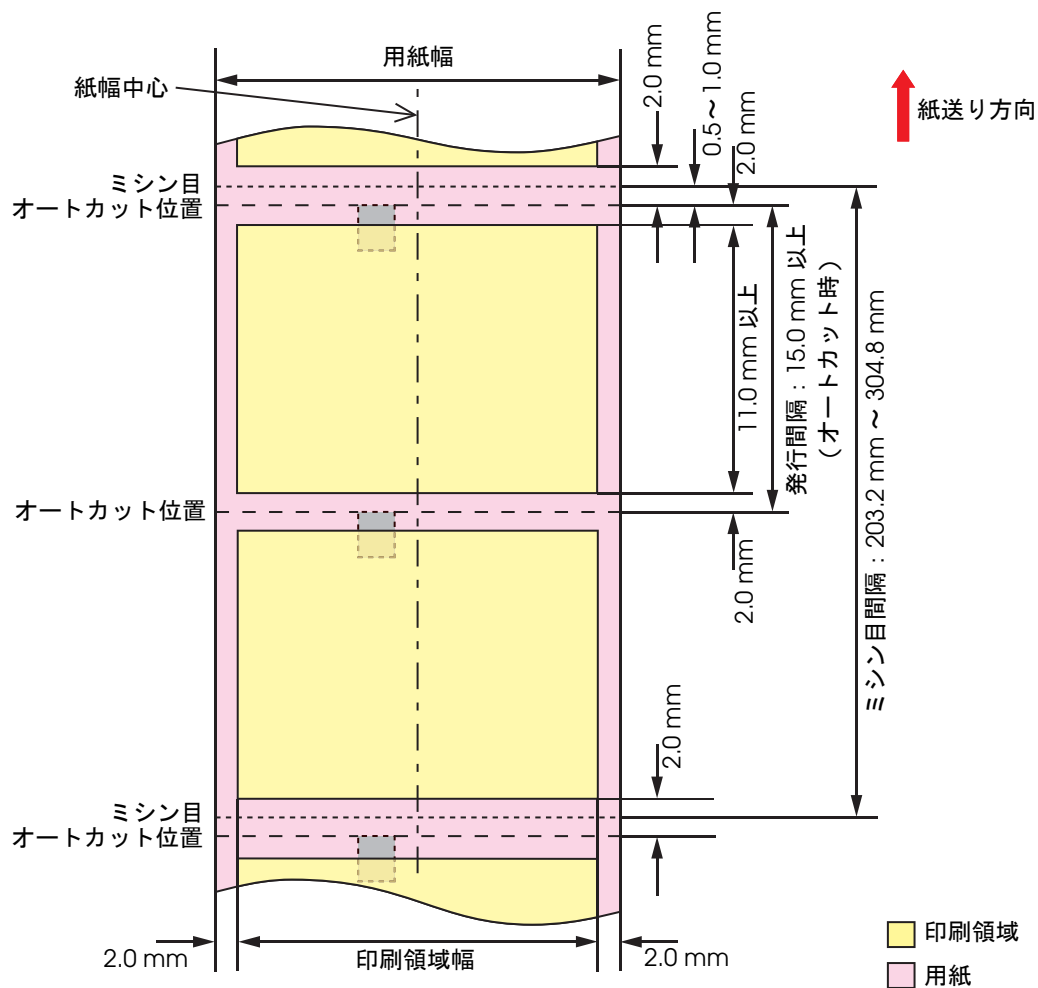
ブラックマークレシート・ファンフォールド紙

上余白：　2.0 mm（中心値）

左右余白：2.0 mm（中心値）

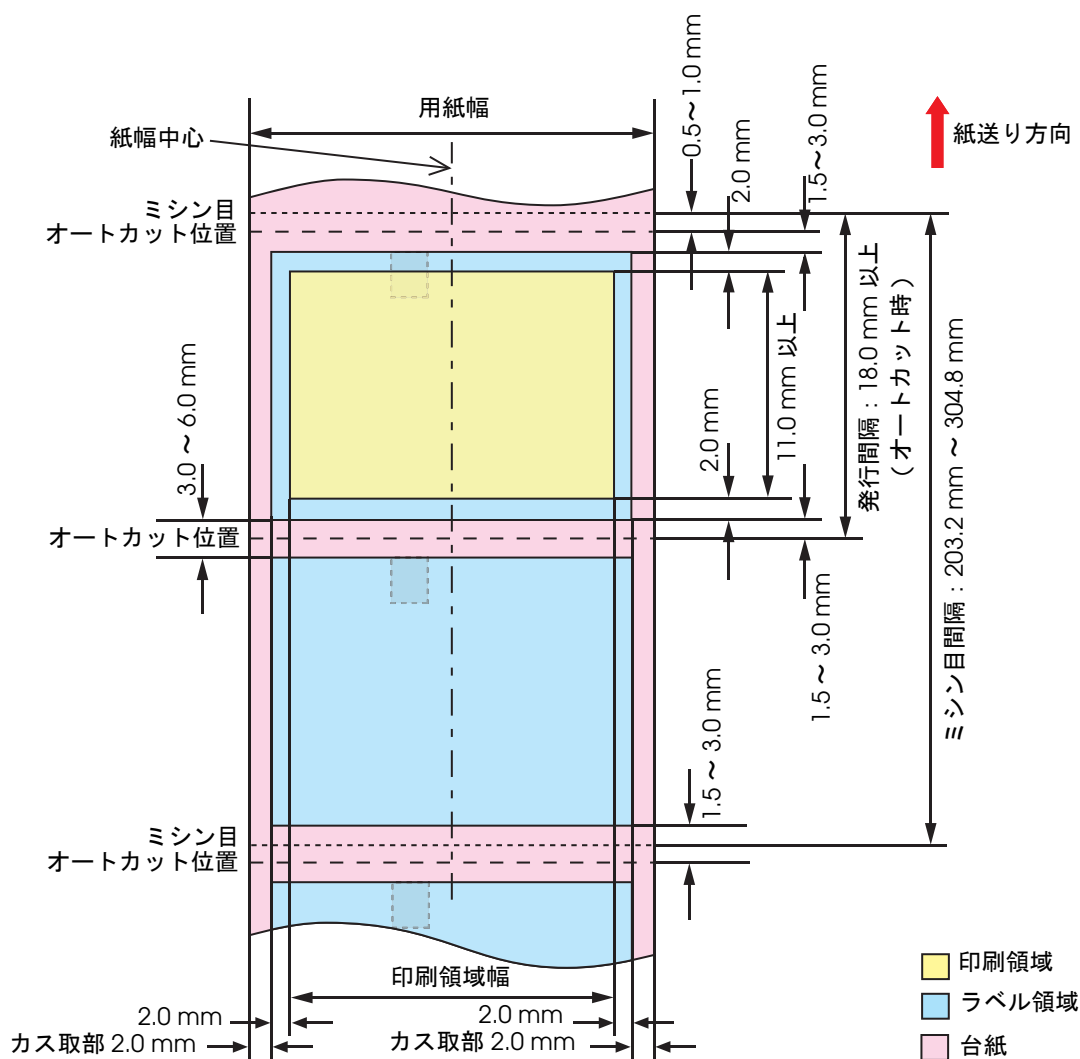
下端余白：2.0 mm（中心値）

ブラックマークダイカット ラベル ロール紙

上余白（ラベル内）： 2.0 mm（中心値）
左右余白（ラベル内）： 2.0 mm（中心値）
下端余白（ラベル内）： 2.0 mm（中心値）

ブラックマークダイカット ラベル・ファンフォールド紙

上余白（ラベル内）：　2.0 mm（中心値）

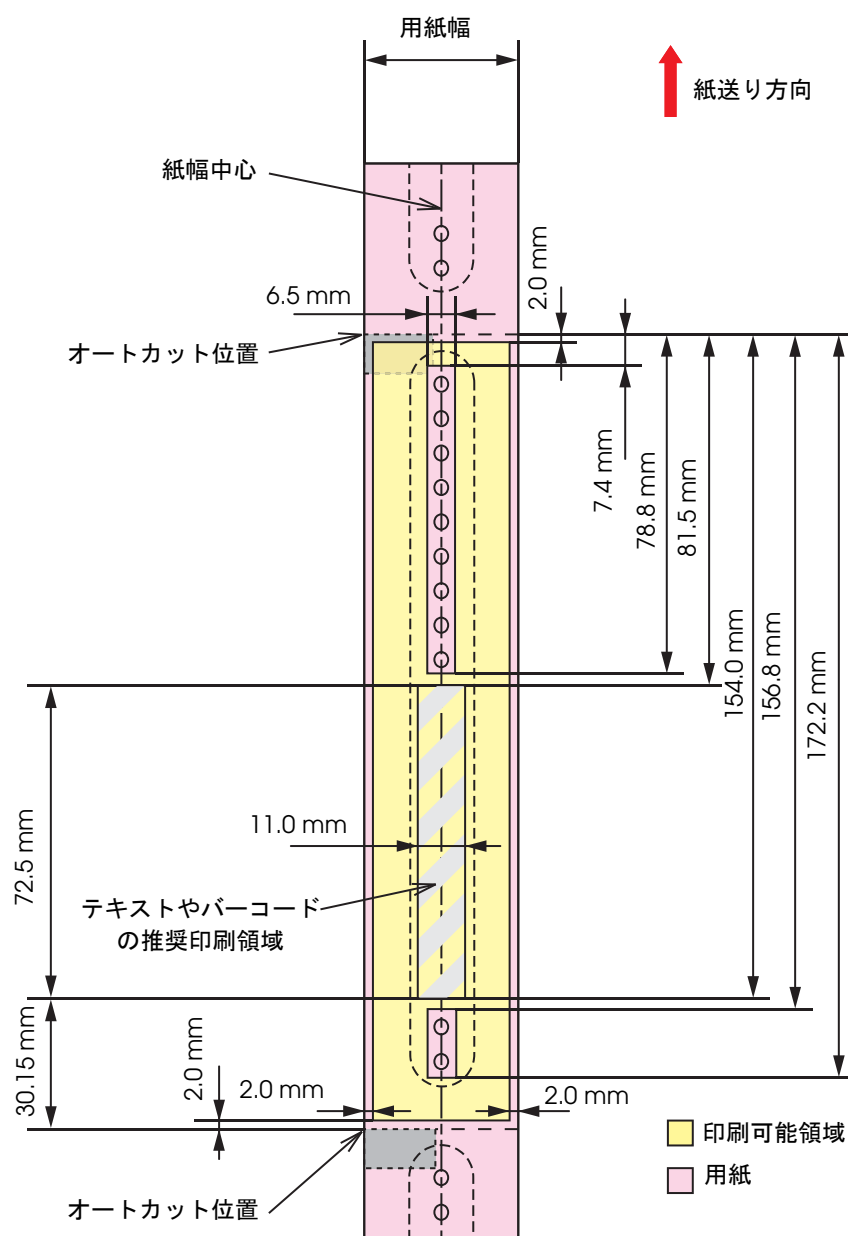
左右余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）

下端余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）

注意

- ミシン目間隔は、発行間隔の整数倍になるようにしてください。
- ミシン目と印字領域の重なりによる印字の乱れ、またはミシン目とオートカッター位置の重なりによるカッター寿命の低下を防ぐため、裏面にブラックマークのある用紙を使用し、用紙の位置合わせを行ってください。

リストバンド・ロール紙（WB-S1）

上余白：　2.0 mm（中心値）
左右余白：2.0 mm（中心値）
下端余白：2.0 mm（中心値）

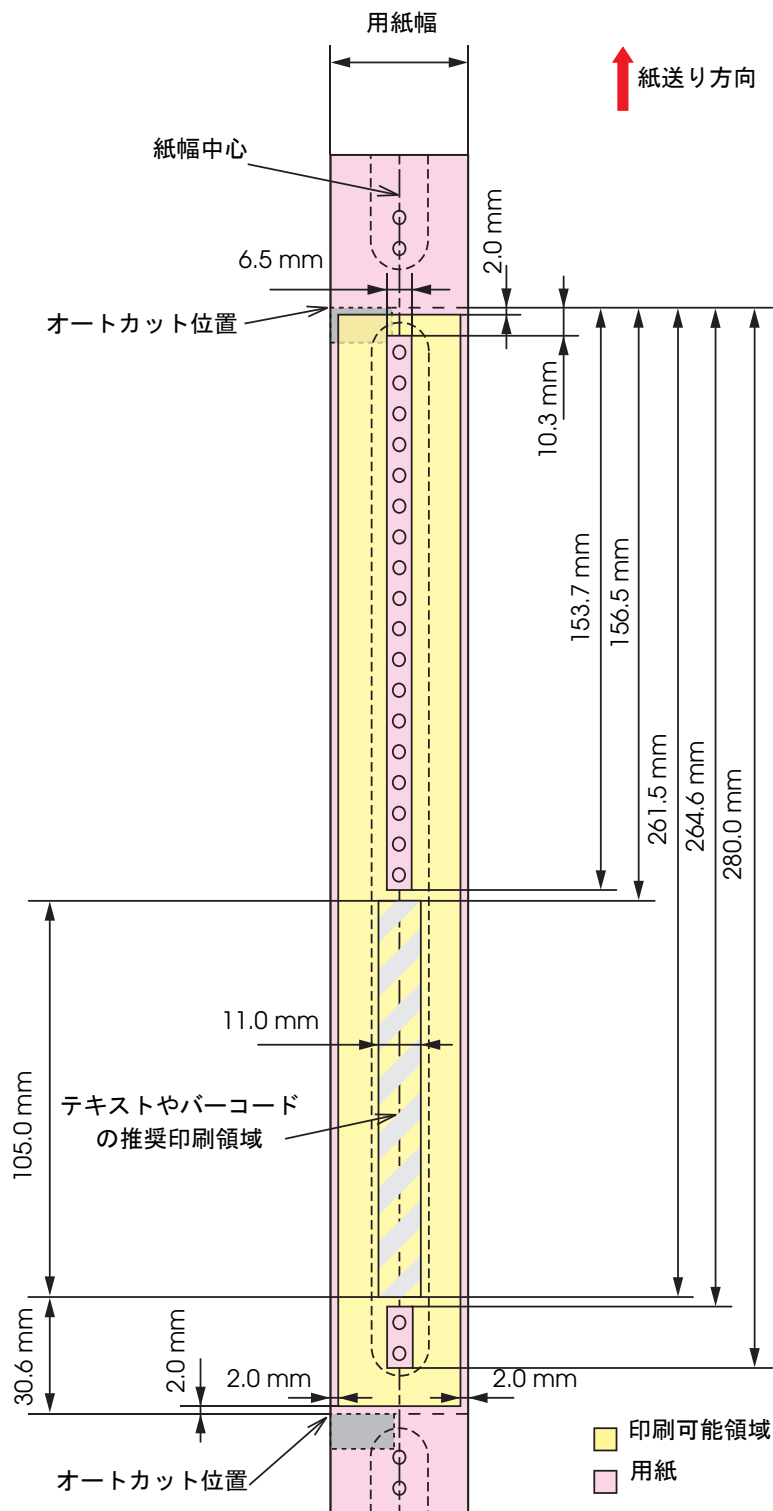
注意

スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。

リストバンド・ロール紙（WB-M1）

上余白：　2.0 mm（中心値）

左右余白：2.0 mm（中心値）

下端余白：2.0 mm（中心値）

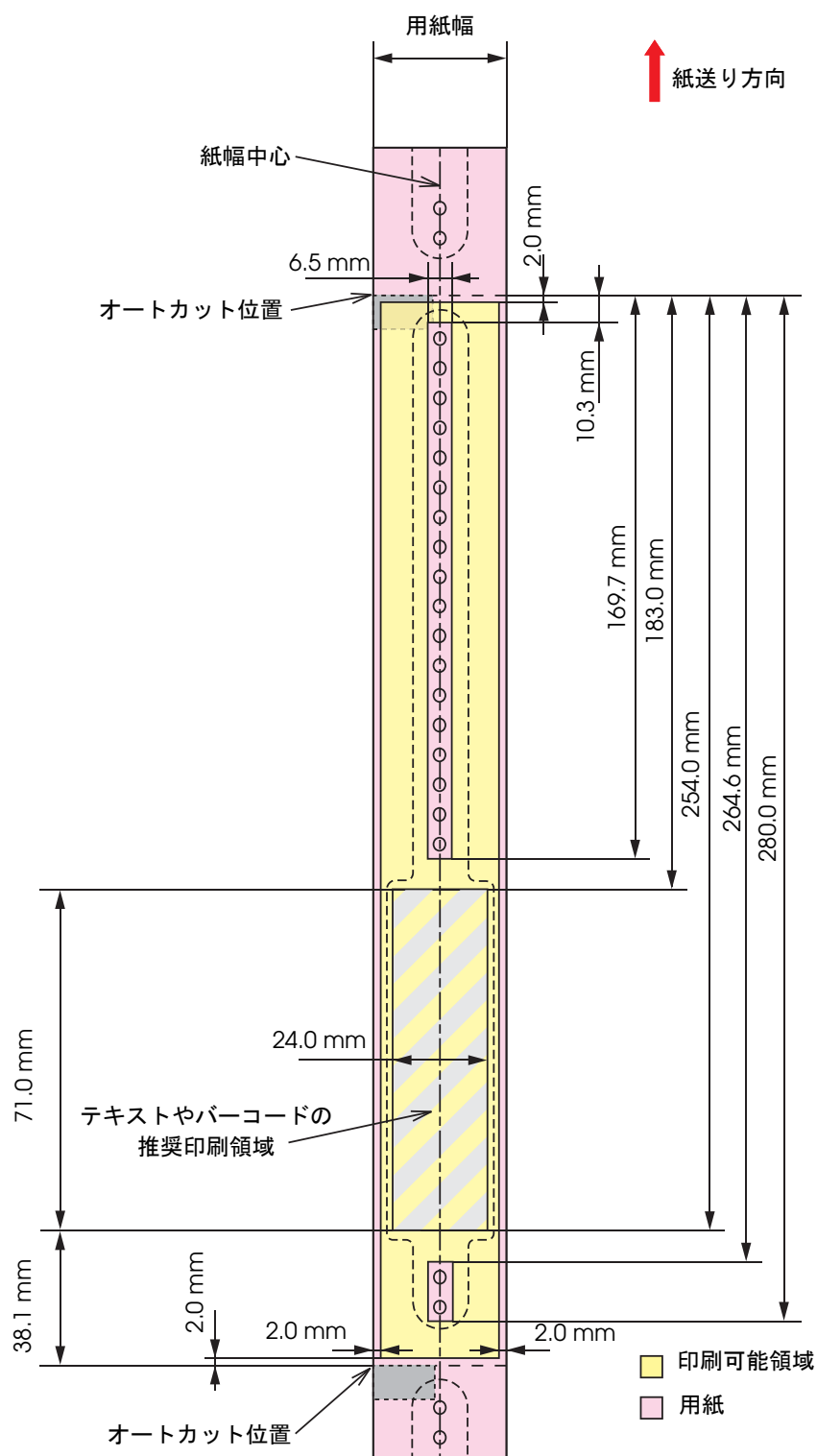
注意

スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。

リスト バンド・ロール紙（WB-L1）

上余白：　2.0 mm（中心値）

左右余白：2.0 mm（中心値）

下端余白：2.0 mm（中心値）

注意

スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。

排紙トレイ

ブラックマーク レシート	用紙種類	普通紙、ファイン紙、PET フィルム
	用紙形状	ファンフォールド紙
	用紙サイズ	幅 76 ～ 105 mm ×長さ 54 ～ 148 mm
	紙厚	0.119 ～ 0.151 mm
ブラックマーク ダイカットラベル	用紙種類	普通紙、ファイン紙
	用紙形状	ファンフォールド紙
	用紙サイズ	幅 76 ～ 105 mm ×長さ 54 ～ 148 mm
	紙厚	0.145 ～ 0.161 mm

注意

- ロール紙の場合、複数枚保持できません。
- 用紙や印刷の状態により，完全には用紙を保持できない場合があります。

インクカートリッジ

型番		SJIC15P
形態		3 色インク一体型専用インクカートリッジ
インク色		シアン、マゼンタ、イエロー
インク種		顔料インク
有効期限		プリンター装着後 6 ヶ月、使用期間を含め製造日から 2 年
保存温度	個体輸送時	-20 ～ 60 ℃ (60 ℃の場合、5 日以内)
	個装保存時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃の場合、1 ヶ月以内)
	本体装着時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃の場合、1 ヶ月以内)

消耗品

本製品で使用可能な消耗品の紹介をします。以下の記載内容は 2011 年 12 月現在のものです。

用紙

本製品で使用可能な用紙はエプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp/ >

インクカートリッジ

本製品で使用可能なインクカートリッジは、SJIC15P（3 色 CMY 一体型インクカートリッジ）です。製品の販売代理店でお買い求めください。

インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のインクカートリッジのご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制　－注意－

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
(2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4)運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正･変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6)エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。